

市民・事業者アンケート調査結果

1. 調査の目的

第3次印西市環境基本計画の策定に当たり、市民や事業者の環境問題に対する考え方や取組状況、市への要望などを把握し、同計画に反映させることを目的に実施しました。

2. アンケート調査概要

アンケート調査の概要を以下に示します。

アンケート調査概要

	市民アンケート	事業者アンケート
対象	・住民基本台帳登録者 2,000 人 ※住民基本台帳から無作為抽出	・事業者 200 事業所 ※データベースをもとに無作為抽出
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・属性 ・市内の環境への満足度 ・市内の環境への保全、対策の重要度 ・市内で残したい環境(自由記述) ・市内で改善したい環境(自由記述) ・市が重点的に取組むべき環境保全施策 ・普段行う環境行動 ・日常生活における環境配慮への支障 ・市内で行われる環境事業への関心 ・環境事業に参加しない理由 ・参加したい環境事業または自然観察会(自由記述) ・里山環境保全のための取組み ・SDGs の認知度 ・関心のある SDGs の目標 ・適応の認知度 ・気候変動影響の現状 ・優先して取組むべき適応策 ・環境に関する情報提供 ・海洋プラスチック問題に関連する取組み ・食品ロスに関連する取組み ・環境づくりへの意見・要望(自由記述) 	<ul style="list-style-type: none"> ・属性 ・市内の環境への満足度 ・市内の環境への保全、対策の重要度 ・市が重点的に取組むべき環境保全施策 ・環境保全対策のため期待する行政施策 ・実践している環境行動 ・環境保全対策を進める上での障害 ・市民・事業者の連携による環境づくり活動 ・参加したいと思わない理由 ・SDGs の認知度 ・関心のある SDGs の目標 ・適応の認知度 ・気候変動影響の現状 ・優先して取組むべき適応策 ・環境に関する情報提供 ・環境づくりへの意見・要望(自由記述)
調査方法	直接郵送法(回答は郵送又は Web を選択)	直接郵送法
実施時期	令和 2 年 8 月 21 日(金)～9 月 15 日(火)	
送付資料	・依頼文 ・調査票	
回収率	45.0%(郵送 80.5%、Web19.5%)	49.0%

2.1 市民意識調査の結果

市民意識調査結果を以下に示します。なお、集計結果は端数処理の関係により合計が 100%とならないことがあります。

居住地域区分を、新市街地(NT 中央、NT 印西牧の原、印旛日本医大)、市街地・集落混在(木下・大森、小林、六合)、集落(永治、船穂、草深、宗像、本郷、埜原)に分け、居住地区としています。

問1 市民の属性について

あなたご自身の性別についてお尋ねします。

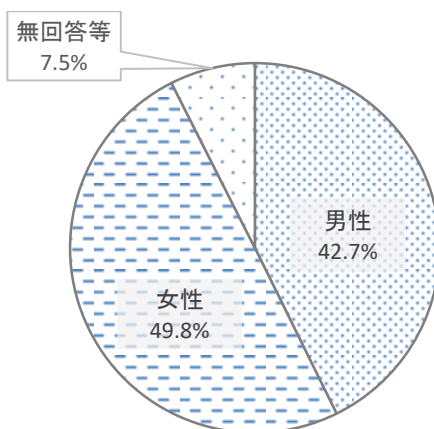
あてはまる番号をそれぞれ 1 つ選んで○で囲んでください。

1. 男性

2. 女性

・回答者の性別は、女性が 49.8%、男性が 42.7%でした。

回答数 832



あなたご自身の年齢についてお尋ねします。

あてはまる番号をそれぞれ 1 つ選んで○で囲んでください。

1. 18~19 歳

5. 50~59 歳

2. 20~29 歳

6. 60~69 歳

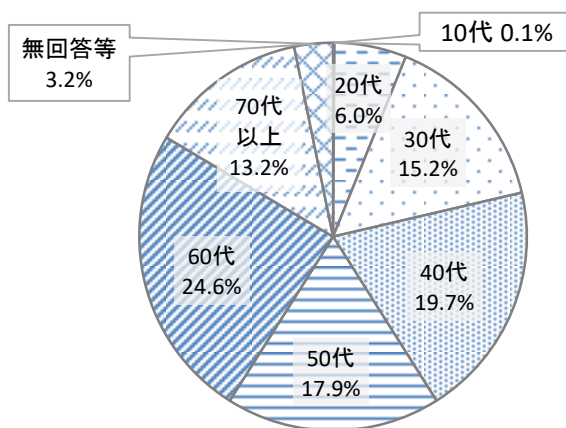
3. 30~39 歳

7. 70~79 歳

4. 40~49 歳

・回答者の年齢層は、60代が多く、全体の 24.6%を占めました。

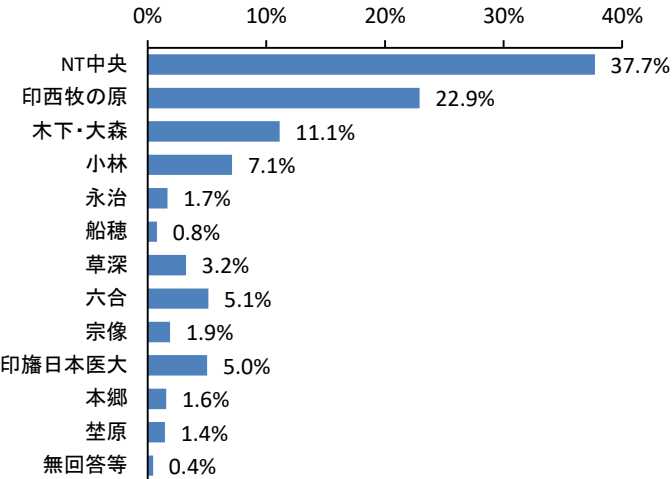
回答数 870



あなたご自身の居住地についてお尋ねします。
 あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

1. NT中央	7. 草深
2. 印西牧の原	8. 六合
3. 木下・大森	9. 宗像
4. 小林	10. 印旛日本医大
5. 永治	11. 本郷
6. 船穂	12. 埜原

・回答者の居住地は人口分布に概ね比例した結果となり、千葉ニュータウン地区が多い結果となりました。
 回答数 895

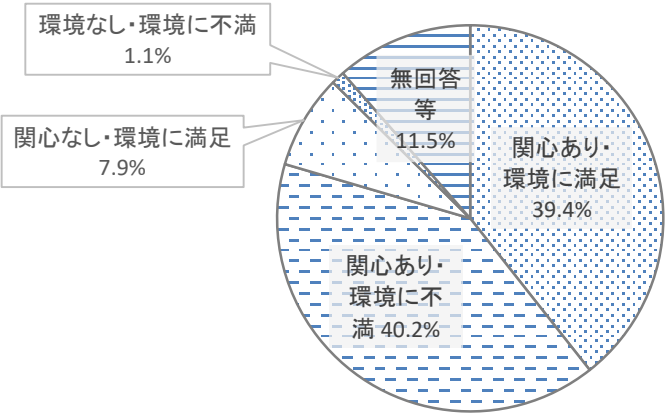


あなたご自身の環境への関心・満足についてお尋ねします。
 あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

1. 関心あり・環境に満足	3. 関心なし・環境に満足
2. 関心あり・環境に不満	4. 関心なし・環境に不満

・「環境問題に関心がある」と答えた人の割合は 79.6%と高い結果でしたが、その中で市内の環境に満足してないと回答した人は 40.2%で、満足している人(39.4%)をわずかに上回りました。環境問題に関心がないと回答した人も含めると、市内の環境に「満足している」人は 47.3%、「満足していない」人は 41.3%で、満足している人の割合が高い結果でした。

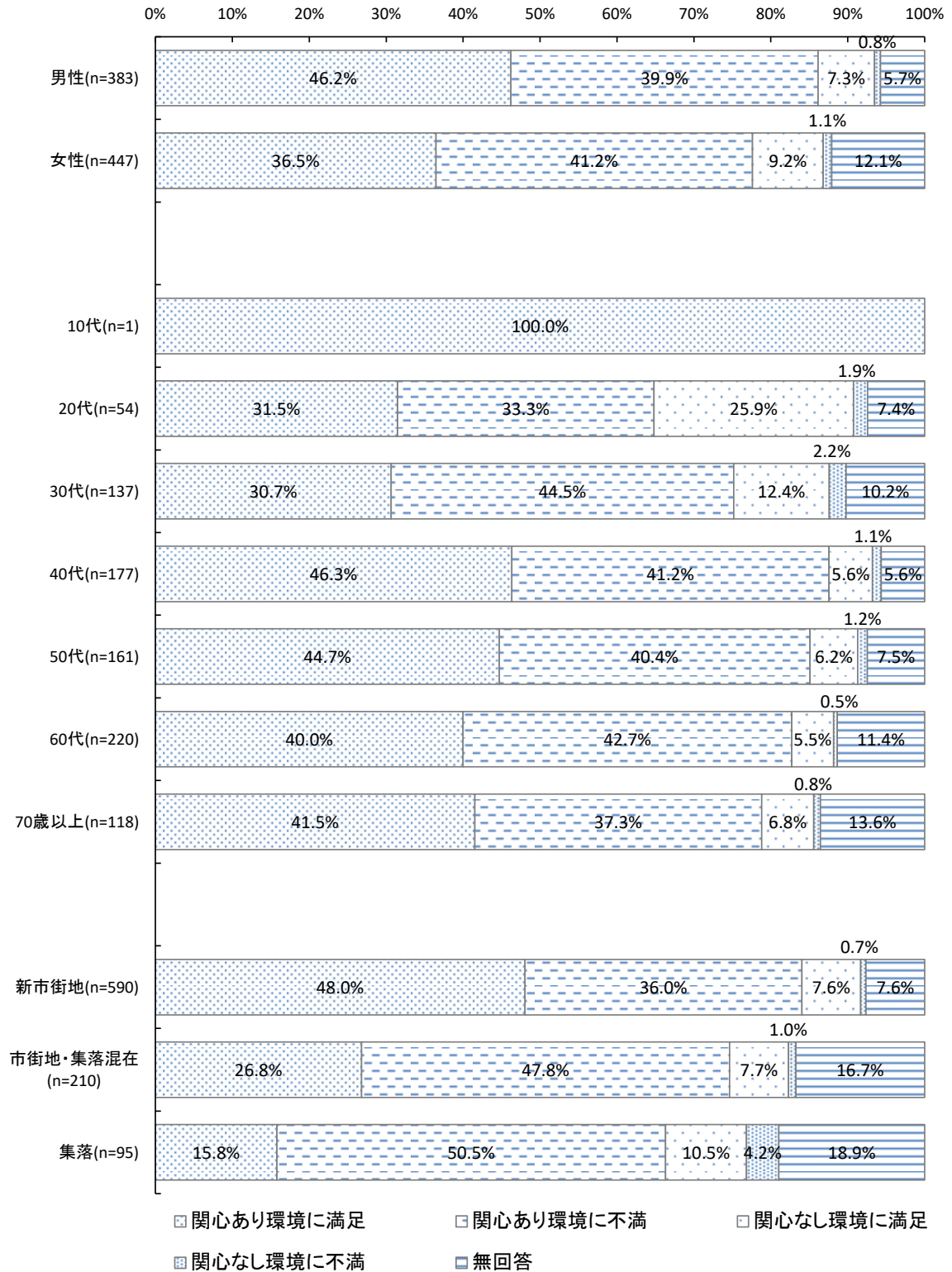
回答数 796



【性別・年齢別・居住区別集計】

年齢別では、40代以上の年代で環境に関心がある人が多い傾向が見られました。

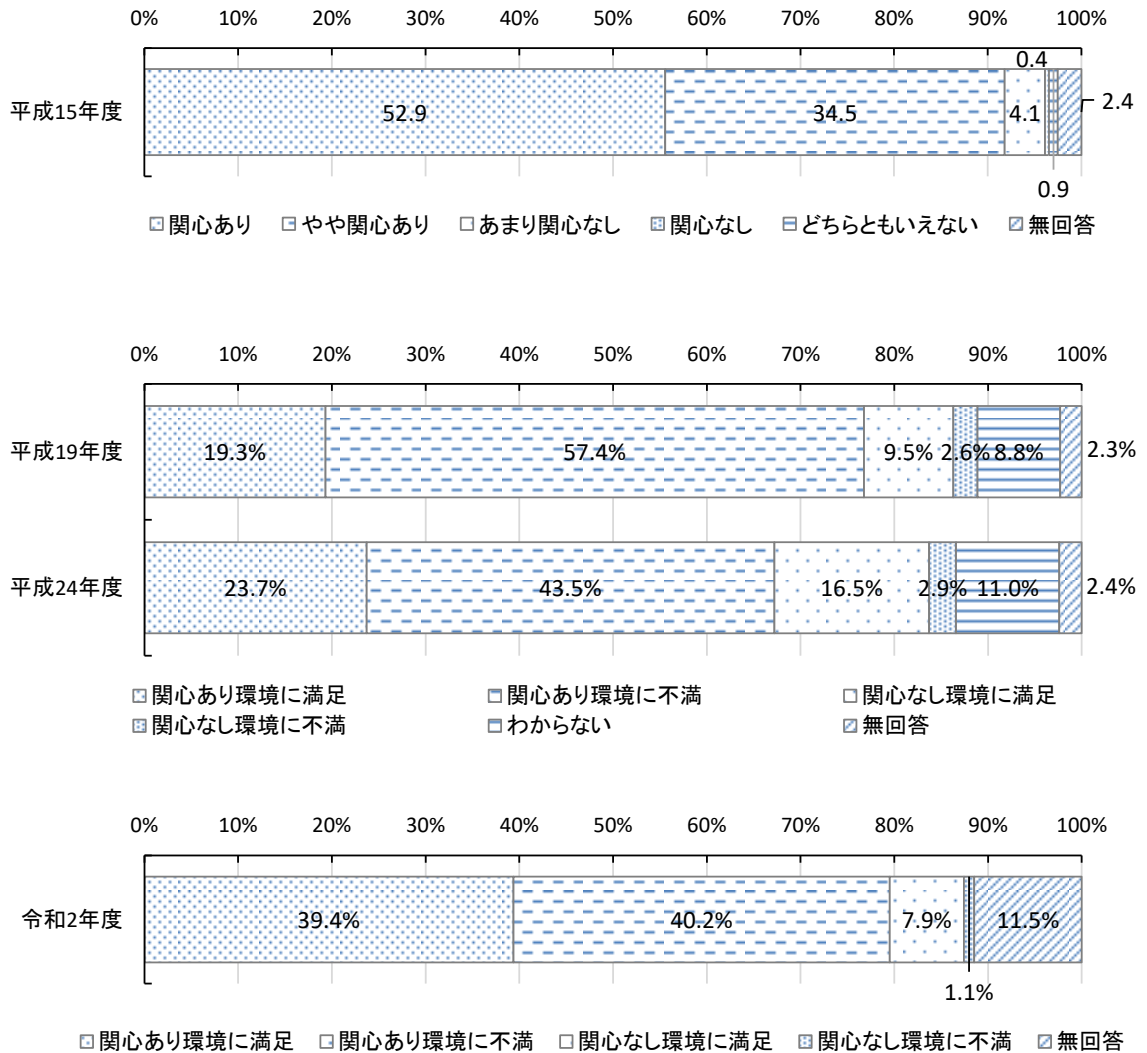
居住地区別にみると、新市街地は環境に満足している人が多く、集落は少ない結果でした。性別では明確な傾向は見られませんでした。



【経年変化】

環境問題に関心のない人の割合は、平成19年度は12.1%、平成24年度は19.4%でした。令和2年度は9.0%となり、環境への関心が増加している傾向が見られました。

環境に満足している人の割合は、令和2年度は47.3%で、平成24年度(40.2%)を上回りました。



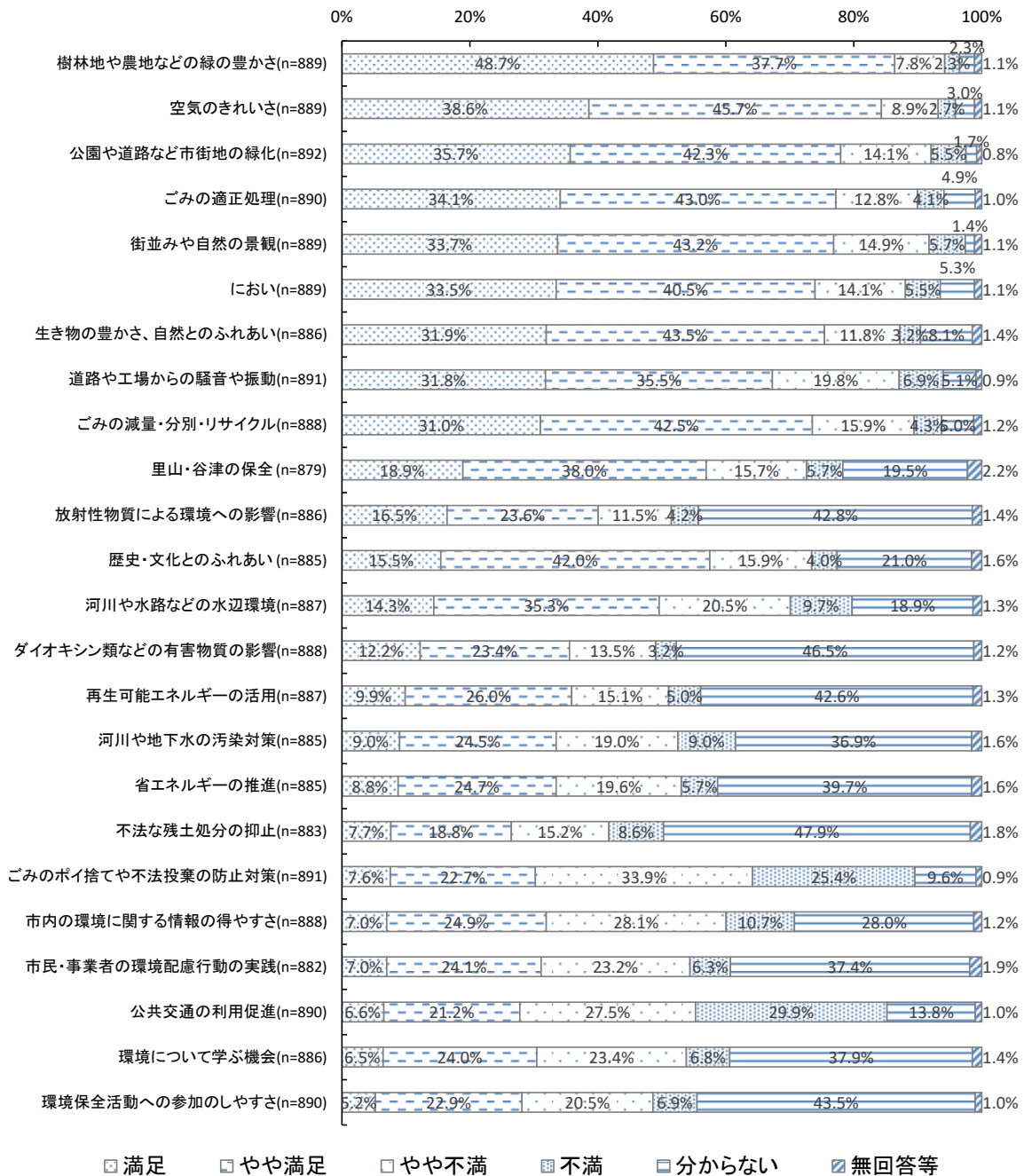
問2 環境への満足度、環境の保全、対策の重要度について

あなたの市内の環境に関する満足度、またその環境を保全、対策をすることがどの程度重要と思われるかについてお聞きします。

以下の環境に関する満足度について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 満足 | 4. 不満 |
| 2. やや満足 | 5. わからない |
| 3. やや不満 | |

- ・市民の48.7%が「樹林地や農地などの緑の豊かさ」に満足しています。次いで「空気のきれいさ」(38.6%)、「公園や道路など市街地の緑化」(35.7%)の満足度が高い結果となりました。
- ・一方で、市民の不満割合は、「公共交通の利用促進」(29.9%)、「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」(25.4%)で高くなりました。

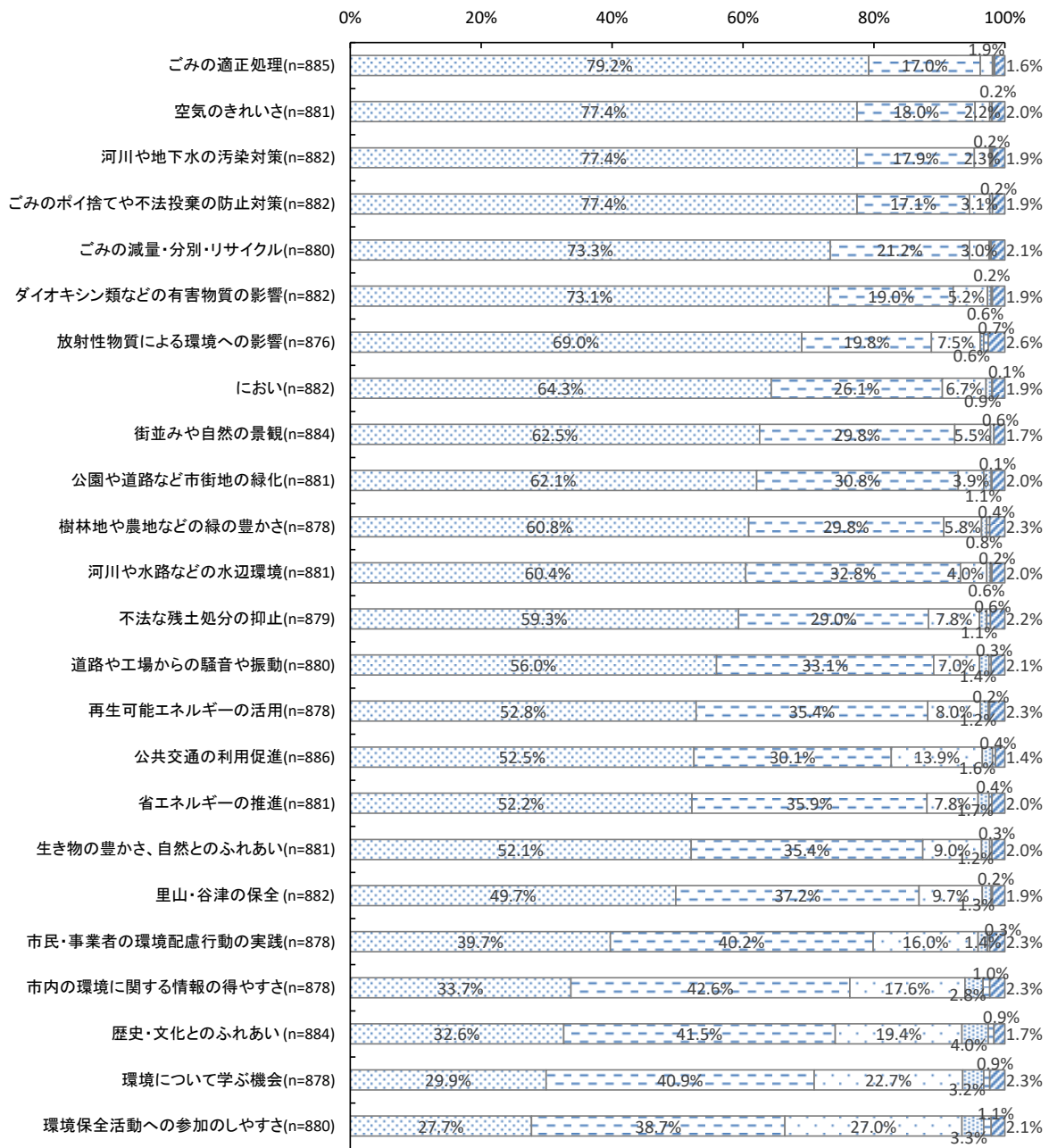


あなたの市内の環境に関する満足度、またその環境を保全、対策をすることがどの程度重要と思われるかについてお聞きします。

以下の環境に関する重要度について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 重要 | 4. あまり重要ではない |
| 2. やや重要 | 5. 重要ではない |
| 3. どちらともいえない | |

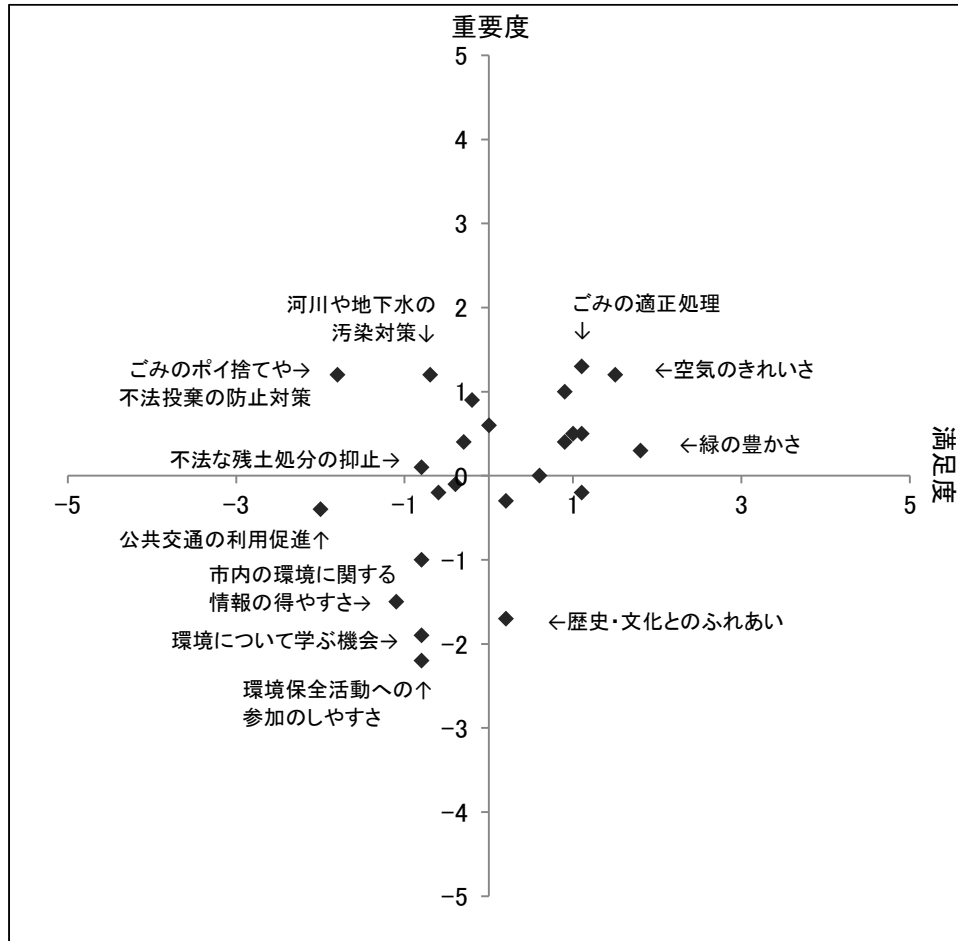
- ・市民の7割以上が、「ごみの適正処理」「空気のきれいさ」「河川や地下水の汚染対策」「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」「ごみの減量・分別・リサイクル」「ダイオキシン類などの有害物質の影響」を重要と回答しました。
- ・一方で、「市民・事業者の環境配慮行動の実践」、「市内の環境に関する情報の得やすさ」、「歴史・文化とのふれあい」、「環境について学ぶ機会」、「環境保全活動への参加のしやすさ」を重要とした割合は4割以下でした。



□重要 □やや重要 □どちらともいえない □あまり重要ではない □重要ではない □無回答等

【環境に関する満足度、重要度のポートフォリオ】

- 「ごみの適正処理」「空気のきれいさ」「緑の豊かさ」等は、満足度と重要度がともに高い結果となりました。引き続き、現状維持に努める必要があると考えられます。
- 一方、「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」「河川や地下水の汚染対策」「不法な残土処分の抑止」等は、重要度が高く、満足度が低い結果となりました。市民の満足度を高める施策が求められています。
- 「公共交通の利用促進」「市内の環境に関する情報の得やすさ」「環境について学ぶ機会」「環境保全活動への参加のしやすさ」等は、満足度は低いものの、重要度も低い結果となりました。優先度は高くないものの、必要に応じて満足度や重要度を高める取組が求められます。



標準化得点

No	項目	満足度	重要度	No	項目	満足度	重要度
1	樹林地や農地などの緑の豊かさ	1.8	0.3	13	河川や水路などの水辺環境	-0.3	0.4
2	ごみの適正処理	1.1	1.3	14	歴史・文化とのふれあい	0.2	-1.7
3	ごみの減量・分別・リサイクル	0.9	1.0	15	里山・谷津の保全	0.2	-0.3
4	放射性物質による環境への影響	0.0	0.6	16	ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策	-1.8	1.2
5	道路や工場からの騒音や振動	0.6	0.0	17	河川や地下水の汚染対策	-0.7	1.2
6	におい	0.9	0.4	18	省エネルギーの推進	-0.6	-0.2
7	空気のきれいさ	1.5	1.2	19	不法な残土処分の抑止	-0.8	0.1
8	公園や道路など市街地の緑化	1.1	0.5	20	環境について学ぶ機会	-0.8	-1.9
9	街並みや自然の景観	1.0	0.5	21	市内の環境に関する情報の得やすさ	-1.1	-1.5
10	生き物の豊かさ、自然とのふれあい	1.1	-0.2	22	市民・事業者の環境配慮行動の実践	-0.8	-1.0
11	ダイオキシン類などの有害物質の影響	-0.2	0.9	23	公共交通の利用促進	-2.0	-0.4
12	再生可能エネルギーの活用	-0.4	-0.1	24	環境保全活動への参加のしやすさ	-0.8	-2.2

問3 自由意見

あなたが市内で「残したい環境」と思うものをご自由にご記入ください。
記述式

- ・「残したい環境」としては、公園や里山や緑地など、身近な自然とのふれあいに関する項目が多くあげられました。
- ・また、街並みや景観、結縁寺や木下など歴史を感じられる場所を残したいという意見もありました。

回答数 475

場所	回答数	残したい理由
花の丘公園	24	<ul style="list-style-type: none"> ・広い緑地で、大人も子どもも遊べる場所だから。 ・都市と田舎の融合が千葉 NT の魅力だから。 ・自然も豊かで綺麗でとてもいい場所だと思うから。 ・ホテルや野鳥とも触れあえる。
草深	23	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な生物が生息しており自然と触れ合う良い環境のため。 ・子供たちが自然や生き物と触れ合える貴重な財産だと思います。 ・希少なホンドギツネの消息がみられるから。
印旛沼	11	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で自然に親しむ最大の環境である。 ・日本国内でも有数の鳥の種類の多さ。
結縁寺	8	<ul style="list-style-type: none"> ・昔のままの景色が残っている。 ・里山 100 選になっているからその名に恥じない為。
牧の原	6	<ul style="list-style-type: none"> ・メタセコイアの並木路はとても素晴らしい景色です。 ・自然との共存、自然とふれあう機会。
亀成川周辺	5	<ul style="list-style-type: none"> ・過去からの自然環境が今でも残る貴重な場所のため。 ・昔からの生物が生息しているから。
その他の場所	65	<ul style="list-style-type: none"> ・木下貝塚、小林牧場の桜並木、松山下公園、大塚前公園等。
里山	103	<ul style="list-style-type: none"> ・周りを自然に囲まれている環境が気に入って他地区から引越してきました。この環境は是非残して欲しいと思います。 ・自然や公園が多くあり、世代を越えて楽しめる住環境は、日本の中でもそう多くはない。
緑地、森林	66	<ul style="list-style-type: none"> ・緑が多いと気分、気持ち豊かになる気がするから。 ・緑や花の美しい街であってほしい。
公園	61	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から年配の方まで憩いの場として必要。 ・全国的にも広く美しい景観。
田畑・水田	27	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え準備から稲刈りまで四季を感じられるし、稲が育っていく緑がとても綺麗だから。
自然	27	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地や工業により自然が減少しすぎない様にしてほしい。 ・この環境が気に入って住んでいます。 ・豊かな自然が魅力だから。
街並み	13	<ul style="list-style-type: none"> ・当初、景観にひかれて移住したので。 ・街並み、街がきれいだと住んで良かったと感じるので。
歴史	8	<ul style="list-style-type: none"> ・木下などの歴史を感じる場所をきれいにそのままの状態に残せたらいいと思う。
河川	6	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物と自然とのふれあいする場を残してほしいと思います。又、近くの川に白鳥がたくさんいる所がありますが、自然に残して育てていきたいですね。 ・風や水が動く風景は人もいやしていると思う。
ホテル	5	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県では数少ないゲンジボタルの生息地。現在も農薬の散布が控えられているが、継続して欲しい。
その他	17	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした街並み、適度な人口密度による暮らしやすさ。

あなたが市内で「改善したい環境」と思うものをご自由にご記入ください。

記述式

- ・「改善したい環境」としては、道路環境に関するものが最も多く、道路への不法投棄、雑草、街灯の不足、渋滞等があげられました。
- ・自然環境については、管理不足による荒廃、利便性、不法投棄を懸念する意見が見られました。

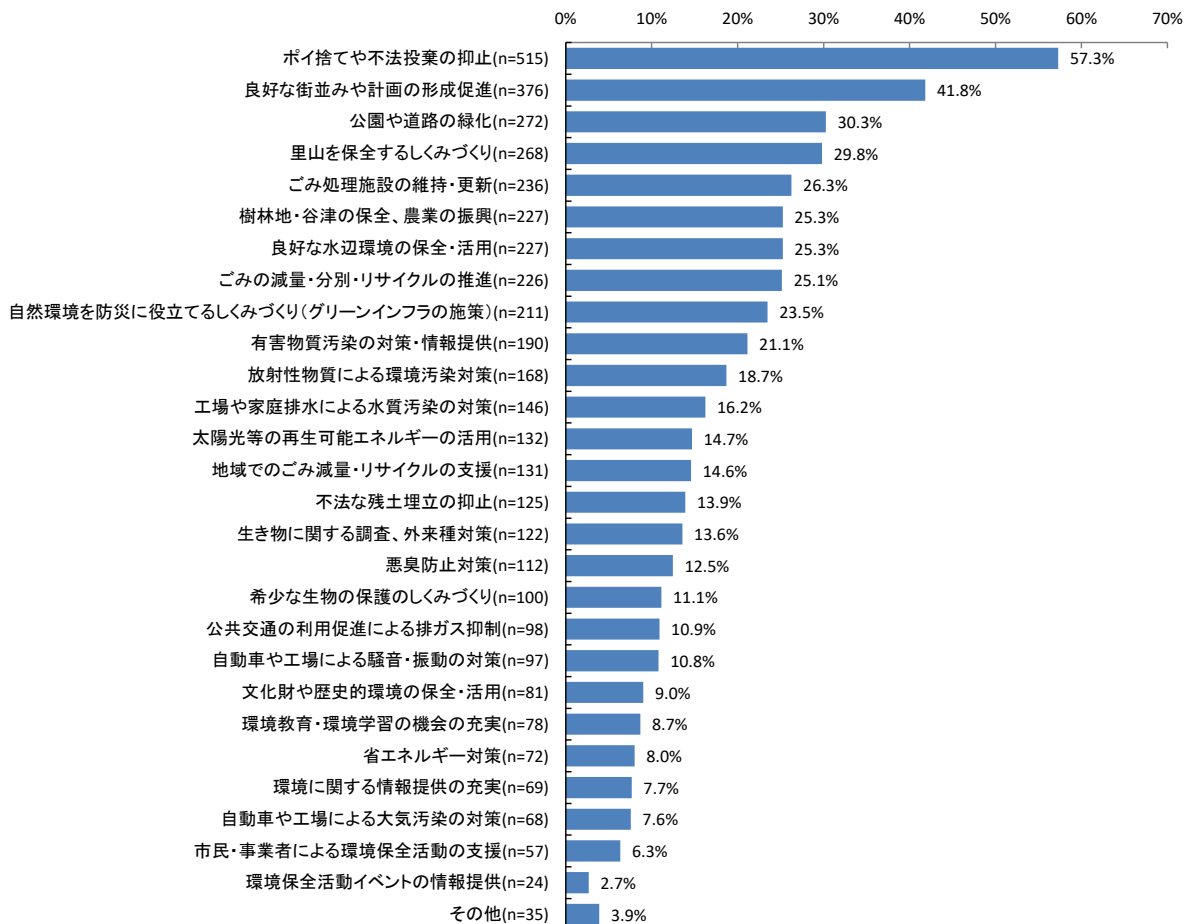
回答数 470

場所	回答数	改善したい理由
464号周辺、道路	137	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ない。 ・大型トラックが多い！渋滞、排気ガス等、土・日・祝の渋滞がすごい。 ・道路脇に不法投棄されたゴミが散乱しているから。 ・印西市は道路の雑草がとにかく多いです。
交通	34	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数が少ない。 ・市内や市外へ移動するための安価な公共交通機関がないと、個人の車の利用が増え大気汚染や騒音問題につながるため。
NT地区	23	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に子供も増えてきたので、不安要素の一つとして。周りはマンション等もあるので、駅の周りをもう少し明るくすれば…と。
印旛沼	16	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一汚いから。
牧の原	11	<ul style="list-style-type: none"> ・平日はともかく土日の車の混雑がスゴイ!!これだけ住宅が建つ計画なら道路の信号の間隔もそれに伴い直ちに変えてほしい!!
木下地区	8	<ul style="list-style-type: none"> ・貝塚として誰もがわかる様な表示と説明表示と、無駄な木の整備。
草深	6	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重だと言われていた環境を守っている気配すら感じない。保護しているのか、諦めたのかすら、市民はわからない。
その他の場所	81	<ul style="list-style-type: none"> ・西の原周辺、小林大門下、利根川、手賀川、東の原、大森坂上など。
森林、里山、農地	30	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄が目立つため。 ・手入れされていない所が多い。 ・耕作放棄地が目立ち始めている。 ・田、あぜ道、川山がきたなすぎる。
街並み・美化・防犯	24	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を残す地域と開発する地域を切り分けて計画してほしい。 ・公共エリアのメンテナンス頻度が少なすぎる。雑草のび放題。
不法投棄	22	<ul style="list-style-type: none"> ・街の発展とともに、自然が多く残る場所へのポイ捨て、不法投棄、ヤード化に伴う荒廃が見られる。 ・トラックからのポイ捨てなど、不法投棄が散見されており、せっかく綺麗な農村風景が台無し。環境汚染問題につながる。
公園	16	<ul style="list-style-type: none"> ・公園がない地域にも作ってほしい。 ・ノーリードで公園で遊ばす人たちがいるので看板で大きく書いて注意してほしい。
公害・水環境	14	<ul style="list-style-type: none"> ・汚い、臭う。 ・洪水被害を避けたい。
ゴミ処理場	11	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての住民が関心を持ち正しいゴミ処理ができるようにしたい。関心のない住民が多い。 ・臭いがひどい時が有る - 特に週末。
開発	19	<ul style="list-style-type: none"> ・一戸建てがあちこちに沢山できていて自然がどんどんなくなっていると思う。お店も沢山できすぎていて昔のが良かった。 ・最近畑などの場所に戸建てが非常多くなっています。これまでは自然あふれる環境だったのに残念で仕方ありません。
その他	9	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、地球規模で環境のことを考えなければならないと思うから。

問4 市が取り組むべき環境施策について

市が取り組むべき環境施策のうち、今後とくに力を入れてほしいと考える施策はなんですか。特にあてはまると思う番号を5つ選んで○で囲んでください

- | | |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 1. ポイ捨てや不法投棄の抑止 | 15. 自動車や工場による大気汚染の対策 |
| 2. 良好な街並みや計画の形成促進 | 16. 省エネルギー対策 |
| 3. 生き物に関する調査、外来種対策 | 17. 自動車や工場による騒音・振動の対策 |
| 4. 里山を保全するしくみづくり | 18. 悪臭防止対策 |
| 5. 有害物質汚染の対策・情報提供 | 19. ごみの減量・分別・リサイクルの推進 |
| 6. 公園や道路の緑化 | 20. 環境教育・環境学習の機会の充実 |
| 7. 樹林地・谷津の保全、農業の振興 | 21. 太陽光等の再生可能エネルギーの活用 |
| 8. ごみ処理施設の維持・更新 | 22. 文化財や歴史的環境の保全・活用 |
| 9. 放射性物質による環境汚染対策 | 23. 環境に関する情報提供の充実 |
| 10. 良好な水辺環境の保全・活用 | 24. 市民・事業者による環境保全活動の支援 |
| 11. 不法な残土埋立の抑止 | 25. 希少な生物の保護のしくみづくり |
| 12. 工場や家庭排水による水質汚染の対策 | 26. 環境保全活動イベントの情報提供 |
| 13. 公共交通の利用促進による排ガス抑制 | 27. 自然環境を防災に役立てるしくみづくり(グリーンインフラの施策) |
| 14. 地域でのごみ減量・リサイクルの支援 | 28. その他 |



《その他の意見》

意見の概要	意見数	主な内容
廃棄物等	7	・ごみ処理施設の移設
公共交通	6	・運賃の見直し(電車) ・公共交通の充実
道路整備	6	・道路中央帯や道路脇植込の草刈 ・車道の舗装
災害対策	4	・大雨などによる道路の冠水、枯れ葉等による排水口の詰り
自然環境	3	・これ以上、自然、土をなくさないでほしい
その他	9	・野焼き禁止 ・受動喫煙をしない環境 ・水辺と親しむボートやカヌーの港施設 ・街路灯や防犯カメラの設置による犯罪の抑制対策

【性別・年齢別・居住区別集計】

		1位	2位	3位
性別	男性(n=384)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (57.6%)	良好な街並みや計画の形成 促進(47.1%)	里山を保全するしくみづくり (35.7%)
	女性(n=448)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (56.9%)	良好な街並みや計画の形成 促進(38.6%)	自然環境を防災に役立てるしくみづくり(グリーンインフラ) (29.9%)
年齢別	10代(n=1)	-	-	-
	20代(n=54)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (59.3%)	良好な街並みや計画の形成 促進(50.0%)	公園や道路の緑化 (37.0%)
	30代(n=137)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (61.3%)	良好な街並みや計画の形成 促進(51.1%)	公園や道路の緑化 (38.7%)
	40代(n=177)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (57.1%)	良好な街並みや計画の形成 促進(49.7%)	公園や道路の緑化 (35.0%)
	50代(n=161)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (53.4%)	良好な街並みや計画の形成 促進(37.3%)	里山を保全するしくみづくり (31.7%)
	60代(n=221)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (57.5%)	里山を保全するしくみづくり (39.4%)	良好な街並みや計画の形成 促進(35.7%)
	70歳以上(n=119)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (55.5%)	良好な街並みや計画の形成 促進(34.5%)	自然環境を防災に役立てるしくみづくり(グリーンインフラ) (33.6%)
居住区別	新市街地(n=590)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (54.4%)	良好な街並みや計画の形成 促進(46.9%)	公園や道路の緑化 (32.5%)
	市街地・集落混在 (n=210)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (62.9%)	良好な水辺環境の保全・活用 (34.8%)	良好な街並みや計画の形成 促進(32.4%)
	集落(n=95)	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (63.2%)	樹林地・谷津の保全、農業の 振興(34.7%)	里山を保全するしくみづくり (30.5%)

【経年変化】

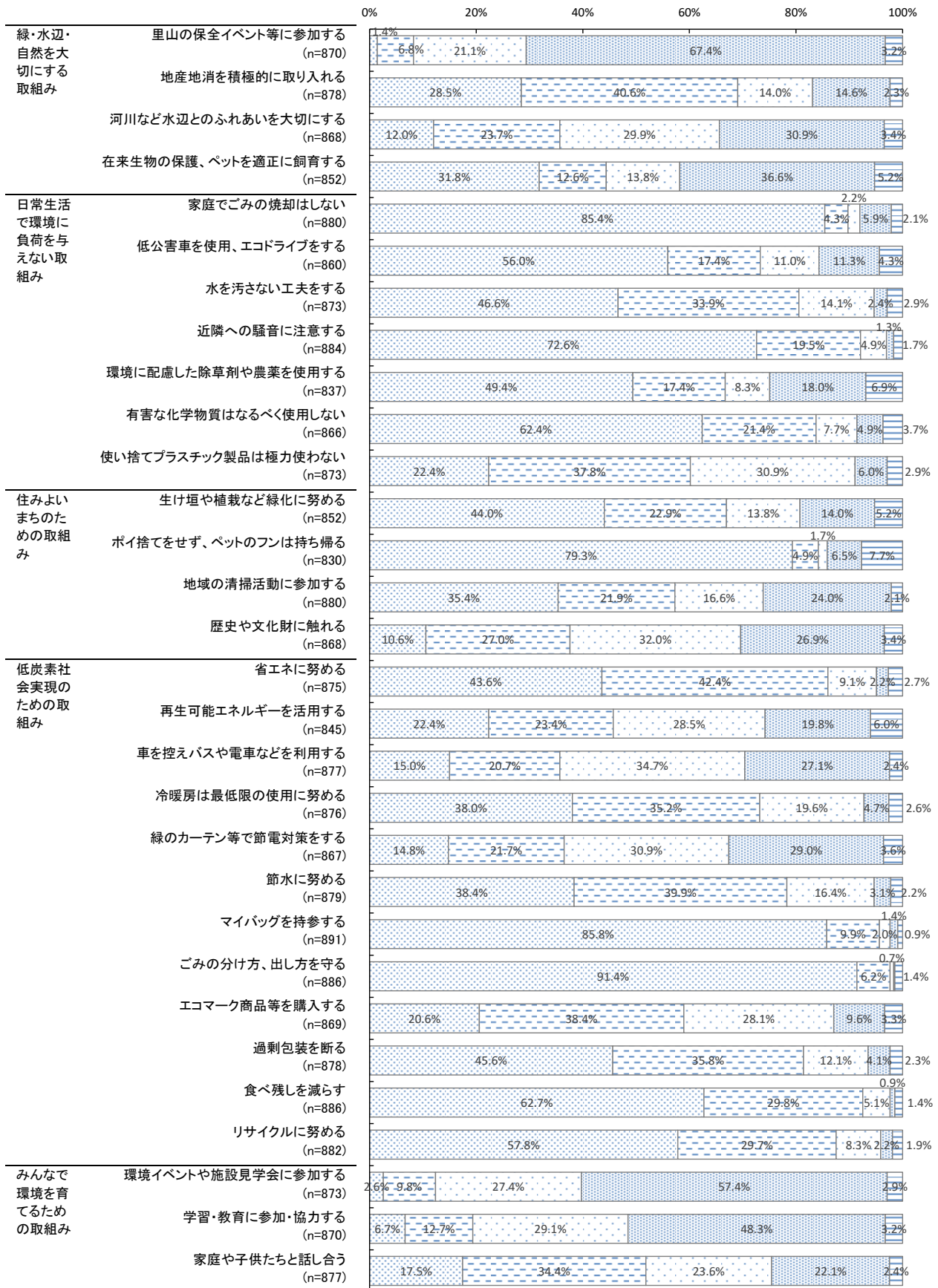
	1位	2位	3位
平成15年度	不法投棄・ポイ捨て (40.9%)	河川水質の浄化 (32.9%)	里山の保全・活用 (25.1%)
平成19年度	不法投棄など廃棄物問題 (40.8%)	歩行喫煙・ポイ捨て (31.2%)	都市開発による自然の減少 (29.4%)
平成24年度	不法投棄など廃棄物問題 (40.2%)	都市開発による自然の減少 (38.2%)	自動車の交通渋滞 (34.5%)
令和2年度	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (57.3%)	良好な街並みや計画の形成促進 (41.8%)	公園や道路の緑化(30.3%)

- ・「ポイ捨てや不法投棄の抑止」が 57.3%で最大でした。次いで、「良好な街並みや計画の形成促進」が 41.8%でした。
- ・一方で、「文化財や歴史的環境の保全・活用」「環境教育・環境学習の機会の充実」「省エネルギー対策」、「環境に関する情報提供の充実」「自動車や工場による大気汚染の対策」「市民・事業者による環境保全活動の支援」「環境保全活動イベントの情報提供」「その他」が選択された割合は 1 割以下でした。
- ・その他は 35 件あり、「廃棄物等」「公共交通」「道路整備」「災害対策」「自然環境」「その他」に関する意見が寄せられました。
- ・全ての性別、年代、居住地区において、ポイ捨てや不法投棄の抑止への関心が高いことが伺えます。
- ・新市街地では、良好な街並みや計画の形成促進や、公園や道路の緑化に関心が高く、一方、集落では、樹林地・谷津の保全、農業の振興や、里山を保全するしくみづくりの関心が高い結果となりました。
- ・年度により設問項目が異なりますが、経年変化では 1 位は全て不法投棄に関する項目でした。

問5 環境行動について

あなたは環境の行動について、普段以下のようなことを行っていますか。あてはまる番号をそれぞれ 1 つ 選んで○で囲んでください。	
1. 実施している	3. あまり実施していない
2. 時々実施している	4. 全く実施していない

- ・環境行動への取組み状況(次頁参照)を見ると、「低公害車を使用、エコドライブをする」「近隣への騒音に注意する」「有害な化学物質はなるべく使用しない」「ポイ捨てをせず、ペットのフンは持ち帰る」「マイバッグを持参する」「ごみの分け方、出し方を守る」「食べ残しを減らす」「リサイクルに努める」の 8 項目で半数以上の方が「実施している」と答えており、日常生活の中で環境を意識した行動が定着していました。
- ・一方、「里山の保全イベント等に参加する」「環境イベントや施設見学会に参加する」の 2 項目で半数以上の方が「全く実施していない」と答えており、引き続き緑・水辺・自然を大切にする取組みと、みんなで環境を育てるための取組みについて、参加促進を図る必要があります。

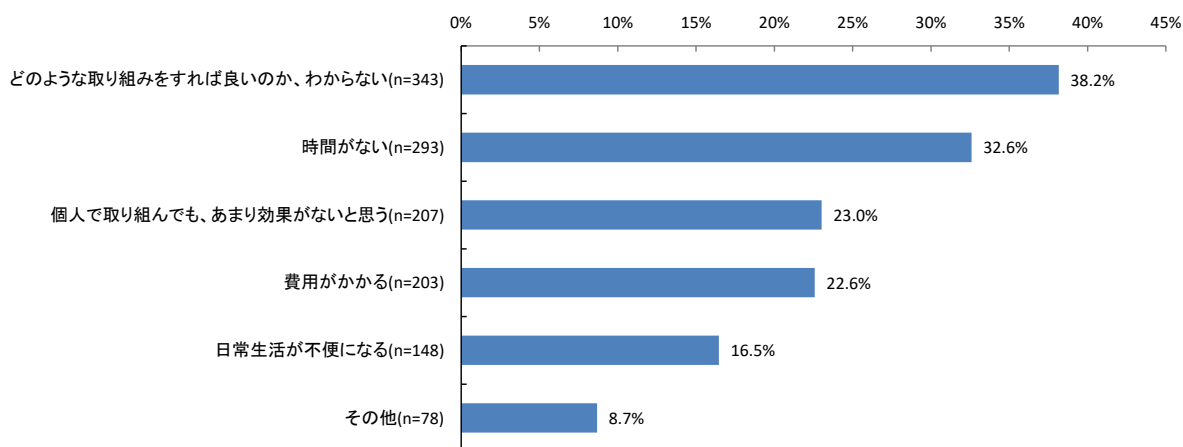


実施している
 時々実施している
 あまり実施していない
 全く実施していない
 無回答等

問6 環境への配慮を行うにあたっての支障について

日常生活の中で環境への配慮を行うにあたって支障となることはありますか。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。	
1. 時間がない	4. 個人で取り組んでも、あまり効果がないと思う
2. 費用がかかる	5. どのような取り組みをすれば良いのか、わからない
3. 日常生活が不便になる	6. その他

- ・「どのような取り組みをすれば良いのか、わからない」が 38.2%で最大でした。次いで、「時間がない」が 32.6%でした。
- ・一方、「日常生活が不便になる」は 16.5%でした。
- ・その他の回答は 33 件あり、情報不足、体力がないなどの意見が寄せられました。
- ・環境への配慮を行うにあたっての支障について、「時間がない」の割合は、男性が女性を上回る傾向がみられました。また、30代～60代では1位が「時間がない」であったのに対し、20代および70歳以上の年代では「どのような取り組みをすれば良いのか、わからない」が1位となりました。
- ・70歳以上の年代は「その他」の支障が「時間がない」を上回り、体力の不足等が支障となると考えられます。



《その他の意見》

意見の概要	意見数	主な内容
情報不足	6	<ul style="list-style-type: none"> ・条例等の規則が周知されていない ・何が問題なのかの提示があつて初めて行動できると思うので自分勝手には動けない
体力がない	3	<ul style="list-style-type: none"> ・体力がない
その他	69	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション居住のため個々でできることが少ない ・近隣住民同士で誘い合えば参加するが個別には行動しづらい ・コロナウイルス

【性別・年齢別・居住区別集計】

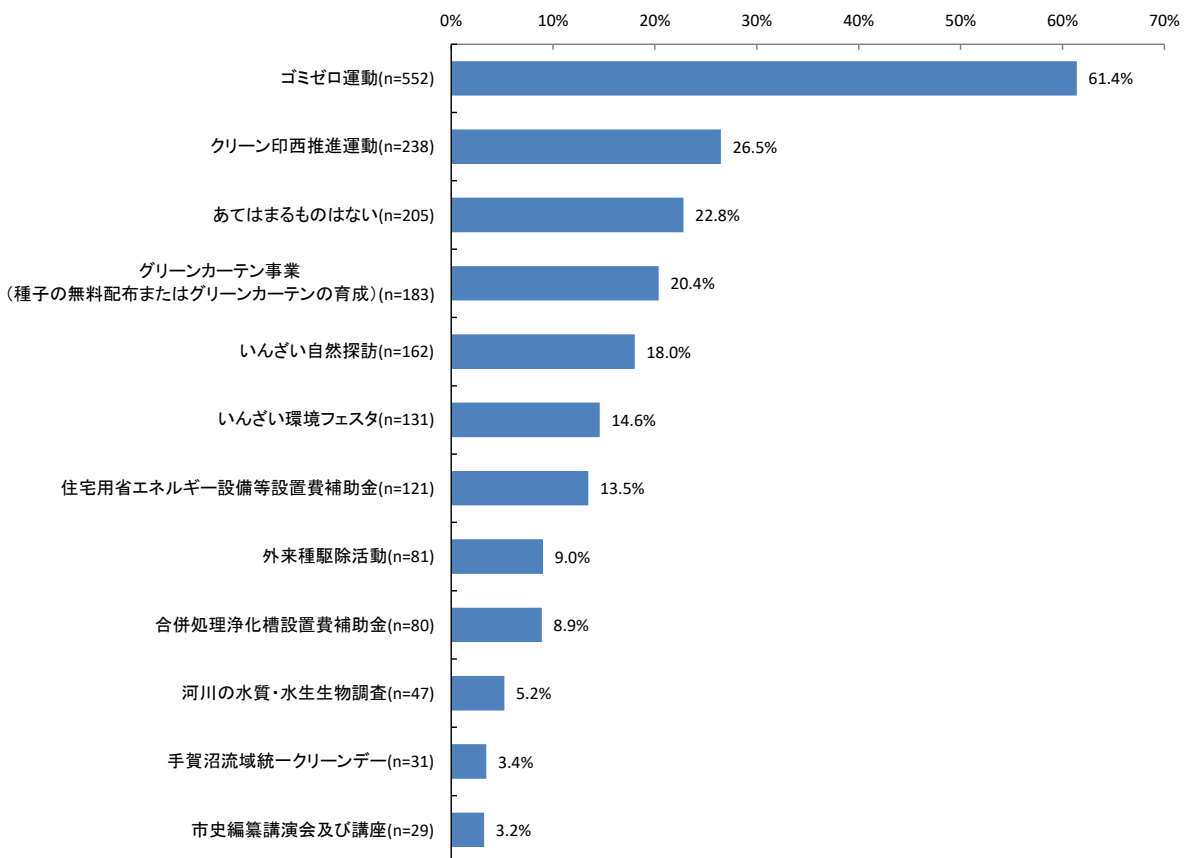
		1 位	2 位	3 位
性別	男性(n=384)	時間がない (36.5%)	どのような取り組みをすれば 良いのか、わからない(34.9%)	費用がかかる (26.0%)
	女性(n=448)	どのような取り組みをすれば 良いのか、わからない(41.5%)	時間がない (32.1%)	個人で取り組んでも、あまり効 果がないと思う(20.8%)
年齢別	10代(n=1)	-	-	-
	20代(n=54)	どのような取り組みをすれば 良いのか、わからない(59.3%)	時間がない (44.4%)	費用がかかる (24.1%)
	30代(n=137)	時間がない (45.3%)	どのような取り組みをすれば 良いのか、わからない(38.7%)	費用がかかる (29.2%)
	40代(n=177)	時間がない (42.4%)	どのような取り組みをすれば 良いのか、わからない(35.6%)	個人で取り組んでも、あまり効 果がないと思う(24.3%)
	50代(n=161)	時間がない (37.9%)	どのような取り組みをすれば 良いのか、わからない(37.9%) (同率 1 位)	費用がかかる (28.6%)
	60代(n=221)	どのような取り組みをすれば 良いのか、わからない(36.2%)	個人で取り組んでも、あまり効 果がないと思う(21.7%)	時間がない (21.3%)
	70歳以上(n=119)	どのような取り組みをすれば 良いのか、わからない(33.6%)	個人で取り組んでも、あまり効 果がないと思う(24.4%)	その他 (15.1%)
居住区別	新市街地(n=590)	どのような取り組みをすれば 良いのか、わからない(37.1%)	時間がない (31.7%)	費用がかかる (21.9%)
	市街地・集落混在 (n=210)	どのような取り組みをすれば 良いのか、わからない(42.9%)	個人で取り組んでも、あまり効 果がないと思う(31.0%)	時間がない (30.5%)
	集落(n=95)	時間がない (43.2%)	どのような取り組みをすれば 良いのか、わからない(33.7%)	費用がかかる (26.3%)

問7 環境事業について

市内で行われている環境事業についてお伺いします。あなたがこの中で参加したことがある、活用したことがある(または知っている)ものについて、あてはまると思う番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

1. ゴミゼロ運動	7. 外来種駆除活動
2. クリーン印西推進運動	8. 市史編纂講演会及び講座
3. 住宅用省エネルギー設備等設置費補助金	9. いんざい環境フェスタ
4. 合併処理浄化槽設置費補助金	10. グリーンカーテン事業(種子の無料配布またはグリーンカーテンの育成)
5. 河川の水質・水生生物調査	11. 手賀沼流域統一クリーンデー
6. いんざい自然探訪	12. あてはまるものはない

- ・「ゴミゼロ運動」が 61.4%で最大でした。次いで、「クリーン印西推進運動」(26.5%)、「あてはまるものはない」(22.8%)の順でした。
- ・「外来種駆除活動」「合併処理浄化槽設置費補助金」「河川の水質・水生生物調査」「手賀沼流域統一クリーンデー」「市史編纂講演会及び講座」は 1 割以下でした。
- ・性別、年齢別、居住地区別に見ると、全ての属性で「ゴミゼロ運動」が 1 位となりました。幅広い世代、地域において、ゴミゼロ運動が定着していることが伺えます。
- ・「合併処理浄化槽設置費補助金」が全体に占める割合は 1 割未満でしたが、集落で 2 位となり地域性が見られました。



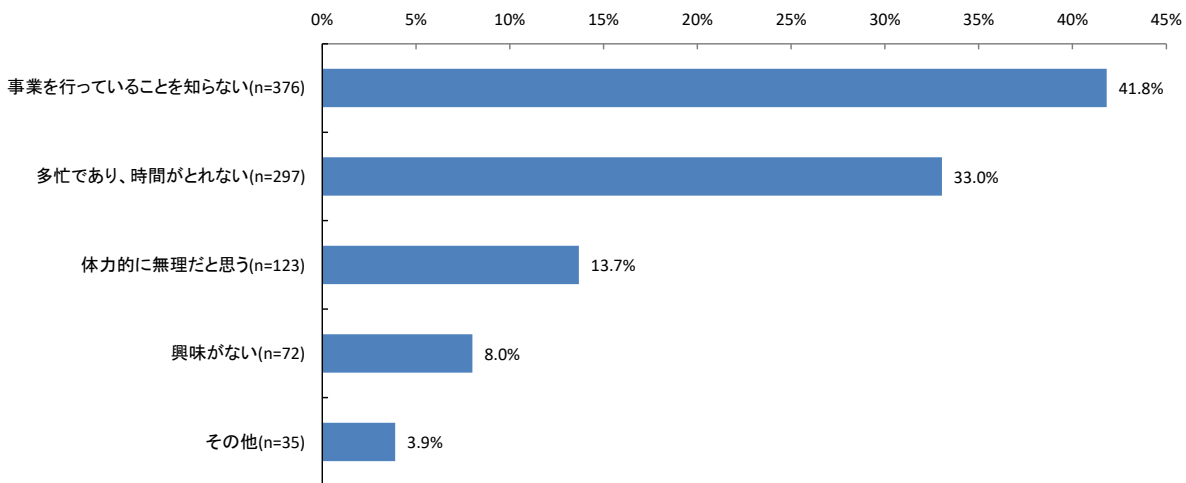
【性別・年齢別・居住区別集計】

		1位	2位	3位
性別	男性(n=384)	ゴミゼロ運動 (57.0%)	あてはまるものはない (28.6%)	クリーン印西推進運動 (23.2%)
	女性(n=448)	ゴミゼロ運動 (63.6%)	クリーン印西推進運動 (28.6%)	グリーンカーテン事業 (26.3%)
年齢別	10代(n=1)	-	-	-
	20代(n=54)	ゴミゼロ運動 (50.0%)	あてはまるものはない (46.3%)	クリーン印西推進運動 (20.4%)
	30代(n=137)	ゴミゼロ運動 (44.5%)	あてはまるものはない (34.3%)	クリーン印西推進運動 (17.5%)
	40代(n=177)	ゴミゼロ運動 (55.4%)	あてはまるものはない (27.7%)	クリーン印西推進運動 (23.2%)
	50代(n=161)	ゴミゼロ運動 (61.5%)	クリーン印西推進運動 (27.3%)	いんざい環境フェスタ (21.7%)
	60代(n=221)	ゴミゼロ運動 (69.2%)	クリーン印西推進運動 (31.2%)	グリーンカーテン事業 (26.3%)
	70歳以上(n=119)	ゴミゼロ運動 (77.3%)	クリーン印西推進運動 (34.5%)	グリーンカーテン事業 (26.3%)
居住区別	新市街地(n=590)	ゴミゼロ運動 (52.5%)	あてはまるものはない (27.8%)	クリーン印西推進運動 (25.8%)
	市街地・集落混在 (n=210)	ゴミゼロ運動 (77.1%)	クリーン印西推進運動 (30.5%)	グリーンカーテン事業 (26.3%)
	集落(n=95)	ゴミゼロ運動 (80.0%)	合併処理浄化槽設置費 補助金(45.3%)	クリーン印西推進運動 (22.1%)

問8 環境事業に参加していない理由について

問7で参加していない(または知っているが参加したことがない)印西市の環境事業について理由をお伺いします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。	
1. 興味がない 2. 多忙であり、時間がとれない 3. 体力的に無理だと思う	4. 事業を行っていることを知らない 5. その他

- ・「事業を行っていることを知らない」は 41.8%で最大でした。次いで、「多忙であり、時間がとれない」が 33.0%でした。
- ・一方、「興味がない」は 8.0%でした。
- ・その他は 35 件あり、情報不足、日程が合わない、きっかけがないなどの意見が寄せられました。
- ・性別、年齢別、居住地区別による明確な傾向はみられませんでした。
- ・環境事業に参加していない市民に対して、環境事業を周知することが求められています。



《その他の意見》

意見の概要	意見数	主な内容
情報不足	9	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ行っているかが知る機会がない ・転居してきて間もなく様々な自治体の活動等を知らない
日程が合わない	8	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心をかきたてられる、参加したいと思う内容、日程でない ・土・日開催を増やしてほしい
きっかけがない	7	<ul style="list-style-type: none"> ・たまに事業のことを知っても知らない人たちのところへ参加するのは勇気がいるし、面倒に思ってしまう ・一人での参加に気が引ける ・参加してもつまらなかったら、と思うと足が動かない ・近隣住民と誘い合えば参加する
その他	11	<ul style="list-style-type: none"> ・人数制限があるものがあり、大家族のため子供 1 人だけつれていくのはむりで、参加できないものがあった ・あまり魅力的に思えない

【性別・年齢別・居住区別集計】

		1 位	2 位	3 位
性別	男性(n=384)	事業を行っていることを知らない (46.9%)	多忙であり、時間がとれない (32.3%)	体力的に無理だと思う (9.6%)
	女性(n=448)	事業を行っていることを知らない (38.6%)	多忙であり、時間がとれない (35.0%)	体力的に無理だと思う (16.1%)
年齢別	10代(n=1)	-	-	-
	20代(n=54)	事業を行っていることを知らない (48.1%)	多忙であり、時間がとれない (35.2%)	興味がない (22.2%)
	30代(n=137)	事業を行っていることを知らない (55.5%)	多忙であり、時間がとれない (47.4%)	興味がない (10.2%)
	40代(n=177)	多忙であり、時間がとれない (44.6%)	事業を行っていることを知らない (42.4%)	体力的に無理だと思う (7.3%)
	50代(n=161)	事業を行っていることを知らない (44.1%)	多忙であり、時間がとれない (37.3%)	興味がない (7.5%)
	60代(n=221)	事業を行っていることを知らない (37.1%)	多忙であり、時間がとれない (20.4%)	体力的に無理だと思う (20.4%) (同率 3 位)
	70歳以上(n=119)	体力的に無理だと思う (37.8%)	事業を行っていることを知らない (29.4%)	多忙であり、時間がとれない (14.3%)
居住区別	新市街地(n=590)	事業を行っていることを知らない (45.1%)	多忙であり、時間がとれない (33.6%)	体力的に無理だと思う (12.9%)
	市街地・集落混在 (n=210)	事業を行っていることを知らない (38.6%)	多忙であり、時間がとれない (30.5%)	体力的に無理だと思う (16.7%)
	集落(n=95)	多忙であり、時間がとれない (36.8%)	事業を行っていることを知らない (29.5%)	体力的に無理だと思う (11.6%)

問9 自由意見

参加してみたい環境事業または自然観察会がありましたら、ご自身のイメージする開催内容や目的、観察会等を通じて知りたいことなどをご自由にお書きください。

記述式

回答数 200

開催内容	回答数	主な内容
ゴミ処理	33	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にゴミがどのように印西市では処理をされているかを見学できる機会があると良いと思う(特に大人だけでなく小学生等の子供対象に)。それを見学することで、今後どうしたらゴミのことを良いか考える機会が増えればゴミを減らせることにつながると思います。 ・ゴミ処理場の見学(どのようにリサイクルされているか知りたいです)・動画や ZOOM など活用し自宅で学べる機会が増えるといいです ・家庭ゴミがどのように処理されるのか、分別やリサイクルの状況、正しい出し方等学機会がほしい。 ・クリーンセンター(ゴミ処理)の見学会 ・ゴミ袋とトングをもって、指定された箇所を歩きながらごみを拾うような、クリーンプロジェクト。民間企業や福祉事業所と提携し、参加者にノベルティを配布するなど、インザイ君が登場するようなイベント化(毎年行われる松山下公園のスポーツフェスのように)すると、子どもたちが積極的に参加し、子どもたちが自分の街に対して環境と福祉の観点から、より愛着をもち、末長く暮らせる街になっていくと考えます。 ・クリーンセンターや北総浄水場の見学がしたいです。資源ゴミの再生方法や下水の処理方法を見てみたいです。 ・子供向けのもの。なぜリサイクルが必要なのか、自然を守る取り組みなどを知りたい。親子で参加できるものが良い。
ホテル	28	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル観察会に参加してみたい。 ・ホテルの観察会。自分が生まれ育った田舎でもホテルはいなくなり、さびしいかぎりです。再び印西市でホテルを見ることができれば引越してきてよかったと思うにちがひありません。
里山	21	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保護活動 ・里山の下草がりや竹やぶの整備(高齢の方の手だすけ) ・里山ジョギング、サイクリングコースの設定、PR ・子どもと里山を散策し環境保全の大切さを学ぶ ・自転車を利用した、里山、水辺、寺社巡りなどは、健康的でかつ環境に負担をかけない等の理由で良い様な気がする。
外来種	8	<ul style="list-style-type: none"> ・外来種駆除活動 ・印旛沼のカミツキガメ駆除 ・在来生物観察会
昆虫	4	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み昆虫観察会など、子どもと参加できるイベントなど。 ・昆虫観察会
星座	4	<ul style="list-style-type: none"> ・星座観察会 ・子どもが小さく、参加したことはないけれども、いずれ参加したいと思う。星の観察会や、生き物についてなど都心では出来ないことをやってほしい。
野鳥	3	<ul style="list-style-type: none"> ・野鳥を見る。草花を教えてくれる。木の生長や名前などを教えてくれる ・野鳥をバードウォッチングすることで、自然に対する認識が深まるように思います。
その他	31	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテン事業太陽光発電の利用状況と今後の推意見通し、印西エコマラソン、印旛沼の生き物や問題点を知る機会やつり大会

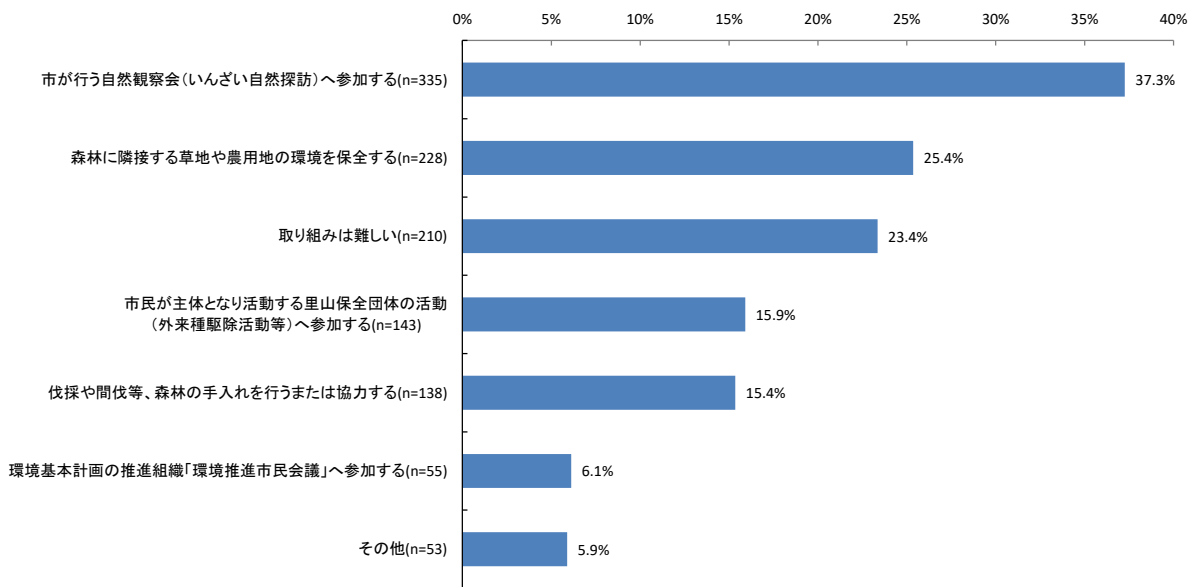
開催内容	回答数	主な内容
勉強会	10	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧種の調査と保護 ・放射能による汚染調査。子どもも参加できる在来種の動植物調査。 ・ゴミを集積してからの処分方法。・印旛沼の生態系について。 ・環境に対して、一人ひとりの行動で何ができるかの講演会 ・オンラインでの専門家の講談・勉強会とか、市役所や学校・施設などの団体が取り組んでいることの報告会のようなものは聞いてみたいと思う ・省エネ、再生エネルギー学習 ・印西市内の環境の現状や計画が学べるイベントが欲しい。
体験活動、ボランティア	7	<ul style="list-style-type: none"> ・一年を通して野菜、米作りのイベント ・環境、イベント参加(貯水池清掃)手賀沼クリーン ・亀成川の清掃や改善活動 ・放置された竹林や林をみかけます。整備のお手伝い等持続してできる事業があればと思います。(竹林が突然資材置き場になったりしています) ・住居近隣公園等の清掃や、草刈りボランティア ・農業体験(無農薬、有機栽培) ・ニュータウン地域と農村部を結び付ける交流事業(休耕地を利用した田植え、稲刈り、草刈り、間伐材の伐採、炭焼き、花木の植付)等、お互いの顔が分かる取組み
自然探訪	5	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な時間ができたら自然探訪に参加したい。 ・いんざい自然探訪。いんざい市に引越しをしてから約4年である為、印西市の自然や里山について詳しい知識がない。子供と共に自然や里山を学び、それらを大切に作る気持ちを醸成していきたい。 ・いんざい自然探訪 印西市の自然をもっと知りたい。 ・印西自然探訪等、歴史的な寺社などのことをよく知りたい。
活動イメージ	22	<ul style="list-style-type: none"> ・中・高生でも興味を持つような企画に親子で参加したい。 ・小さな子供と一緒に参加できる、自然と触れあえるもの。 ・子供と一緒に参加でき、教育的な内容がよい。 ・市内で生きる生物について知る機会があれば知りたい ・誰でも気軽に参加できるような事業にしてもらいたい。いつも決まった方達のような気がするため。 ・自分が住んでいる近くの自然環境の保護・保全の方法・機会を教えてください。
意見	24	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を得られないので、活動をしているのであれば、PRを積極的に行って参加しやすい環境を作って欲しい。 ・参加するしない以前に知らないのです。新聞を購読していないと市の公報をなかなか見ることがありません。回覧板で配ることはできませんか。 ・SNS等に載っていない新しい発見が出来ればと思う ・催しものの体験エピソードが公表されれば参加しやすいかも。 ・役所関係の配布物は表現がかたい読みたいと思わない。参加したいと感じる表現が必要かも(言葉の羅列だけでなく) ・まず活動内容が詳細に解かるビデオがみれると良いと思います。 ・持主、地主さんが手入れをしていない森林などを、市などで手入れが出来ると思う。台風の時期など、電線の被害にもつながるので。 ・個人単位で参加するのではなく、「マンションごと」等の組合などに案内をかければ参加者が増えると思いました。 ・「こんなに良いところがある」ではなく、しっかりと現実をに立ち返り、「こうなってしまった」というネガティブな部分についても、自然観察会の取り入れるべきだと考えます。

問10 里山環境を保全するための取組について

印西市には豊かな里山環境があり、ホタルやキツネなどの貴重な動植物が生息しています。そうした里山環境を保全するために、あなたが取り組めることは何ですか。あてはまる番号全てを○で囲んでください。

- | | |
|---|----------------------------|
| 1. 市が行う自然観察会(いんざい自然探訪)へ参加する | 4. 森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する |
| 2. 市民が主体となり活動する里山保全団体の活動(外来種駆除活動等)へ参加する | 5. 伐採や間伐等、森林の手入れを行うまたは協力する |
| 3. 環境基本計画の推進組織「環境推進市民会議」へ参加する | 6. 取り組みは難しい |
| | 7. その他 |

- ・「市が行う自然観察会(いんざい自然探訪)へ参加する」は37.3%で最大でした。次いで、「森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する」は25.4%でした。
- ・一方、『環境基本計画の推進組織「環境推進市民会議」へ参加する』は6.1%でした。
- ・取り組みは難しいは210件あり、時間がない、体力がない、関心がない、情報不足などの意見が寄せられました。
- ・その他は53件あり、ごみの削減、その他の取り組みについて意見が寄せられました。



《取り組みは難しい理由》

意見の概要	意見数	主な内容
時間がない	69	・仕事が忙しい
体力がない	52	・高齢であるため
関心がない	13	・やれる人がやれば良いと思う
情報不足	9	・どれもどんなことやっているのか知らないため ・具体的な方法がわからない
その他	29	・子どもがいないと参加する機会が少ない ・年齢的に無理(一人参加出来にくい)

《その他の意見》

意見の概要	意見数	主な内容
ゴミの削減	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別に配慮する ・私に日常でできる事をする ・ゴミは少なくし、リサイクルに努める等
その他取り組み	13	<ul style="list-style-type: none"> ・印西市民は市、県外から引越してきた方が増えてきたので、印西の環境を知ってもらうことから始めるべき ・里山があることを知る ・実際に見る体験を子どもたちと一緒にする ・不法行為、違法行為に対する市独自の厳罰化、
その他	28	<ul style="list-style-type: none"> ・里山にホテルやキツネが生息している事を知りませんでした。 ・里山環境を保全するために市が行っている活動自体どのようなものがあるのか知りません。 ・環境保全のために自分が出来る事はしたいと思っている

【性別・年齢別・居住区別集計】

		1位	2位	3位
性別	男性(n=384)	市が行う自然観察会(いんざい自然探訪)へ参加する (37.2%)	森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する (26.0%)	取り組みは難しい (22.1%)
	女性(n=448)	市が行う自然観察会(いんざい自然探訪)へ参加する (38.4%)	森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する (24.6%)	取り組みは難しい (24.3%)
年齢別	10代(n=1)	-	-	-
	20代(n=54)	森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する (37.0%)	取り組みは難しい (33.3%)	伐採や間伐等、森林の手入れを行うまたは協力する (20.4%)
	30代(n=137)	市が行う自然観察会(いんざい自然探訪)へ参加する (40.9%)	森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する (29.9%)	取り組みは難しい (24.1%)
	40代(n=177)	市が行う自然観察会(いんざい自然探訪)へ参加する (39.5%)	森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する (27.7%)	市民が主体となり活動する里山保全団体の活動(外来駆除活動等)へ参加する(22.0%)
	50代(n=161)	市が行う自然観察会(いんざい自然探訪)へ参加する (44.1%)	森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する (28.6%)	伐採や間伐等、森林の手入れを行うまたは協力する (19.3%)
	60代(n=221)	市が行う自然観察会(いんざい自然探訪)へ参加する (39.4%)	取り組みは難しい (24.4%)	森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する (19.0%)
	70歳以上(n=119)	市が行う自然観察会(いんざい自然探訪)へ参加する (30.3%)	取り組みは難しい (26.9%)	森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する (17.6%)
居住区別	新市街地(n=590)	市が行う自然観察会(いんざい自然探訪)へ参加する (42.9%)	森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する (23.7%)	取り組みは難しい (21.9%)
	市街地・集落混在(n=210)	市が行う自然観察会(いんざい自然探訪)へ参加する (30.5%)	取り組みは難しい (27.1%)	森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する (23.8%)
	集落(n=95)	森林に隣接する草地や農用地の環境を保全する (38.9%)	伐採や間伐等、森林の手入れを行うまたは協力する (24.2%)	取り組みは難しい (23.2%)

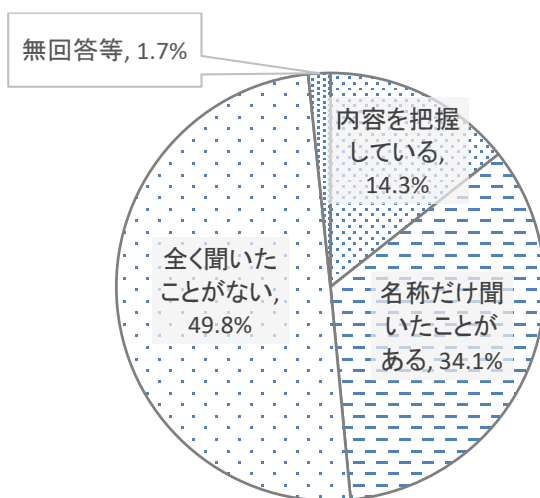
問11 持続可能な開発目標（SDGs）について

平成 27(2015)年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」をご存知ですか。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

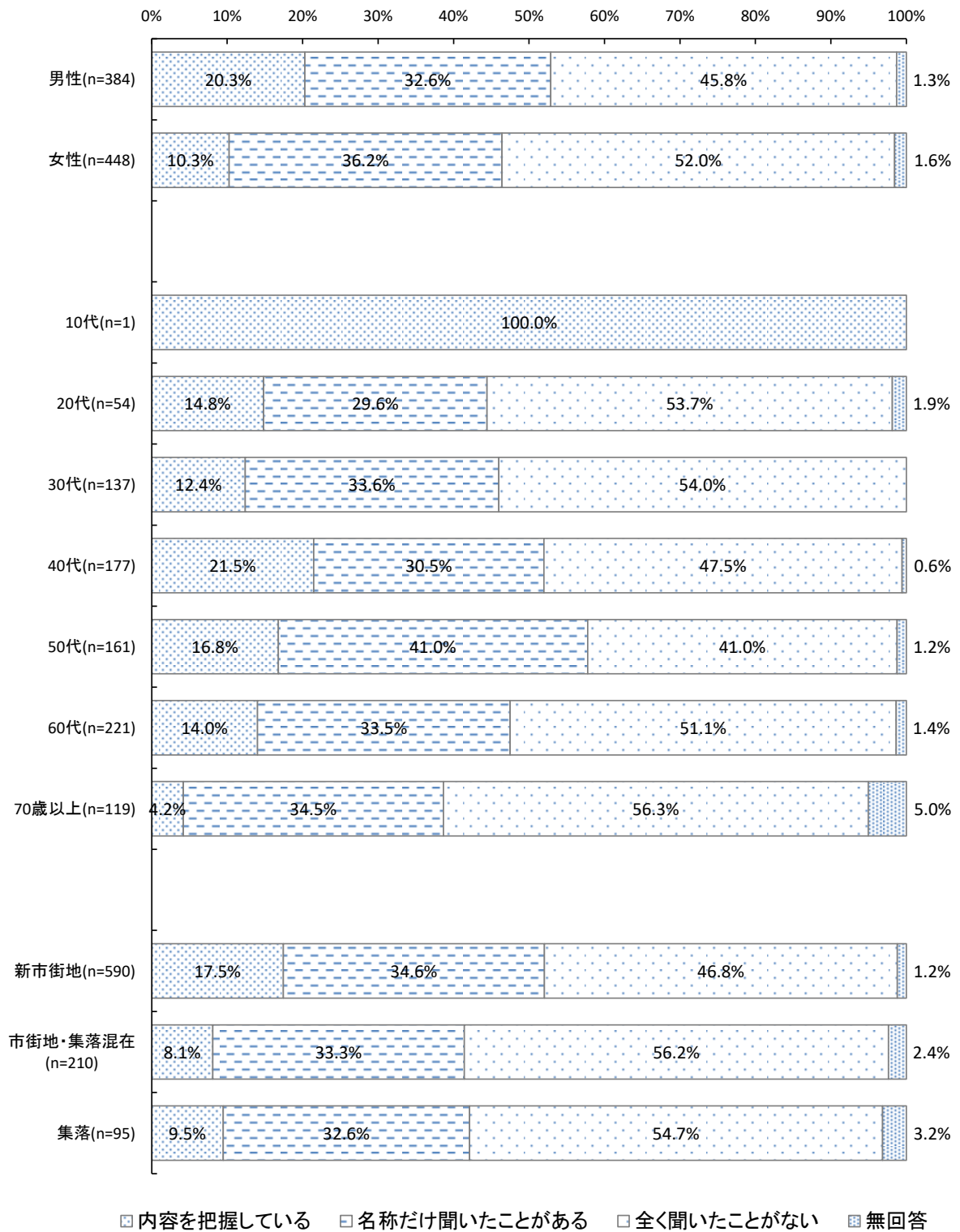
- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 内容を把握している | 3. 全く聞いたことがない |
| 2. 名称だけ聞いたことがある | |

- SDGs について、「全く聞いたことがない」が 49.8%、「名称だけ聞いたことがある」が 34.1%の順でした。
- 「内容を把握している」は 14.3%でした。
- 性別では、男性は「内容を把握している」の割合が 20.3%で、女性(10.3%)より多い結果でした。
- 年齢別では、40代で「内容を把握している」の割合が最も高い結果となりました。
- 居住地区別では、新市街地で「内容を把握している」の割合が最も高く、市街地・集落混在は低い結果となりました。

回答数 884



【性別・年齢別・居住区別集計】

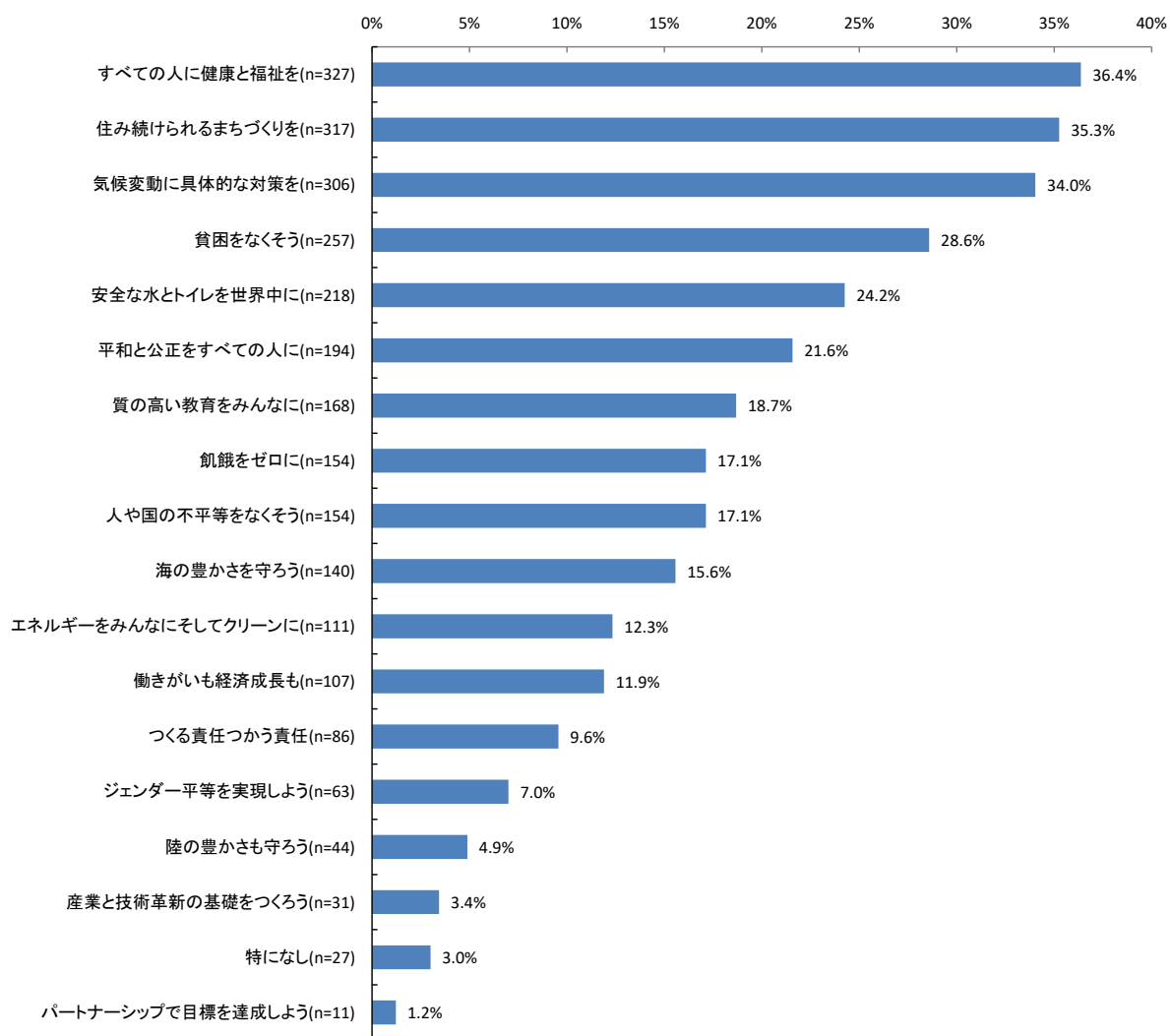


問12 SDGsの目標の中で、関心のあるものについて

SDGsには下記の17の目標が定められていますが、あなたがこの中で関心のあるものはなんですか。特にあてはまると思う番号を3つまで選んで○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 2. 飢餓をゼロに | 11. 住み続けられるまちづくりを |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 12. つくる責任つかう責任 |
| 4. 質の高い教育をみんなに | 13. 気候変動に具体的な対策を |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 6. 安全な水とトイレを世界中に | 15. 陸の豊かさを守ろう |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 8. 働きがいも経済成長も | 17. パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9. 産業と技術革新の基礎をつくらう | 18. 特になし |

- ・「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」「気候変動に具体的な対策を」は3割以上でした。
- ・一方、「つくる責任つかう責任」「ジェンダー平等を実現しよう」「陸の豊かさを守ろう」「産業と技術革新の基礎をつくらう」「パートナーシップで目標を達成しよう」は1割以下でした。



【性別・年齢別・居住区別集計】

		1 位	2 位	3 位
性別	男性(n=384)	住み続けられるまちづくりを (39.8%)	すべての人に健康と福祉を (33.1%)	気候変動に具体的な対策を (32.0%)
	女性(n=448)	すべての人に健康と福祉を (40.0%)	気候変動に具体的な対策を (35.9%)	貧困をなくそう (31.3%)
年齢別	10代(n=1)	-	-	-
	20代(n=54)	すべての人に健康と福祉を (33.3%)	貧困をなくそう (33.3%) (同率 1 位)	住み続けられるまちづくりを (31.5%)
	30代(n=137)	すべての人に健康と福祉を (36.5%)	住み続けられるまちづくりを (33.6%)	質の高い教育をみんなに (29.9%)
	40代(n=177)	すべての人に健康と福祉を (37.9%)	住み続けられるまちづくりを (34.5%)	気候変動に具体的な対策を (32.8%)
	50代(n=161)	すべての人に健康と福祉を (37.9%)	住み続けられるまちづくりを (37.9%) (同率 1 位)	貧困をなくそう (31.1%)
	60代(n=221)	気候変動に具体的な対策を (43.0%)	すべての人に健康と福祉を (32.1%)	住み続けられるまちづくりを (32.1%) (同率 2 位)
	70歳以上(n=119)	すべての人に健康と福祉を (43.7%)	気候変動に具体的な対策を (42.9%)	住み続けられるまちづくりを (39.5%)
居住地区別	新市街地(n=590)	すべての人に健康と福祉を (37.3%)	住み続けられるまちづくりを (35.8%)	気候変動に具体的な対策を (31.5%)
	市街地・集落混在 (n=210)	気候変動に具体的な対策を (39.0%)	住み続けられるまちづくりを (35.7%)	すべての人に健康と福祉を (35.2%)
	集落(n=95)	気候変動に具体的な対策を (38.9%)	すべての人に健康と福祉を (33.7%)	貧困をなくそう (32.6%)

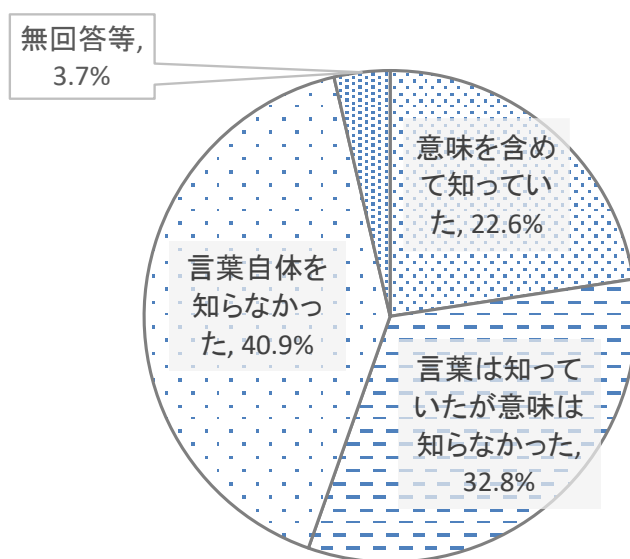
問13 気候変更の影響への「適応」について

気候変動の影響への「適応」についてお尋ねします。あなたはこの「適応」という言葉を知っていましたか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

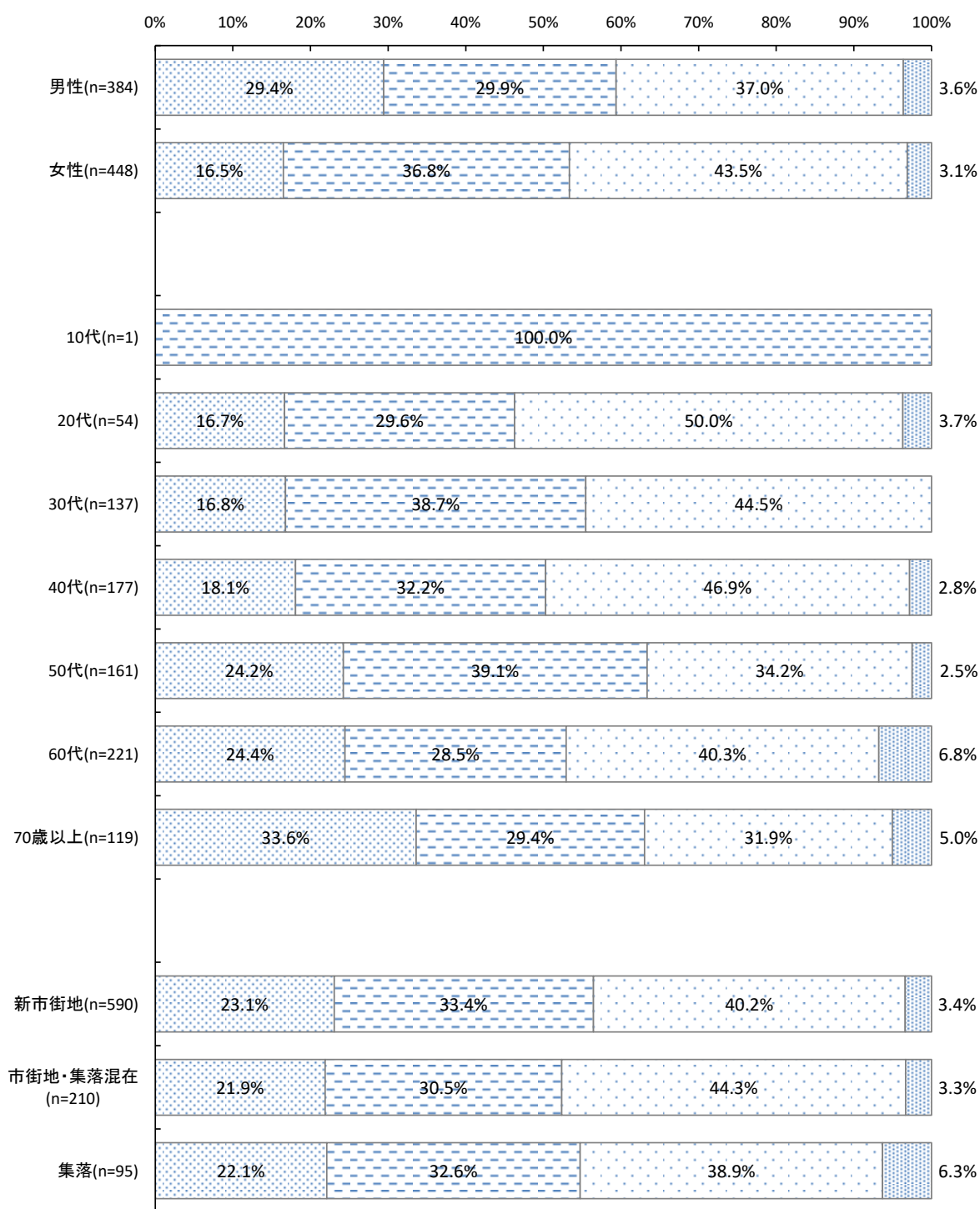
- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 意味を含めて知っていた | 3. 言葉自体を知らなかった |
| 2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった | |

- ・「言葉自体を知らなかった」は 40.9%で最大でした。次いで、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」が 32.8%、「意味を含めて知っていた」が 22.6%でした。
- ・性別では、男性は「意味を含めて知っていた」の割合が 29.4%で、女性(16.5%)より多い結果となりました。
- ・年代が上がるにつれて、適応という言葉を知っている人の割合が多くなる傾向が見られました。
- ・居住地区別では、明確な傾向は見られませんでした。

回答数 866



【性別・年齢別・居住区別集計】



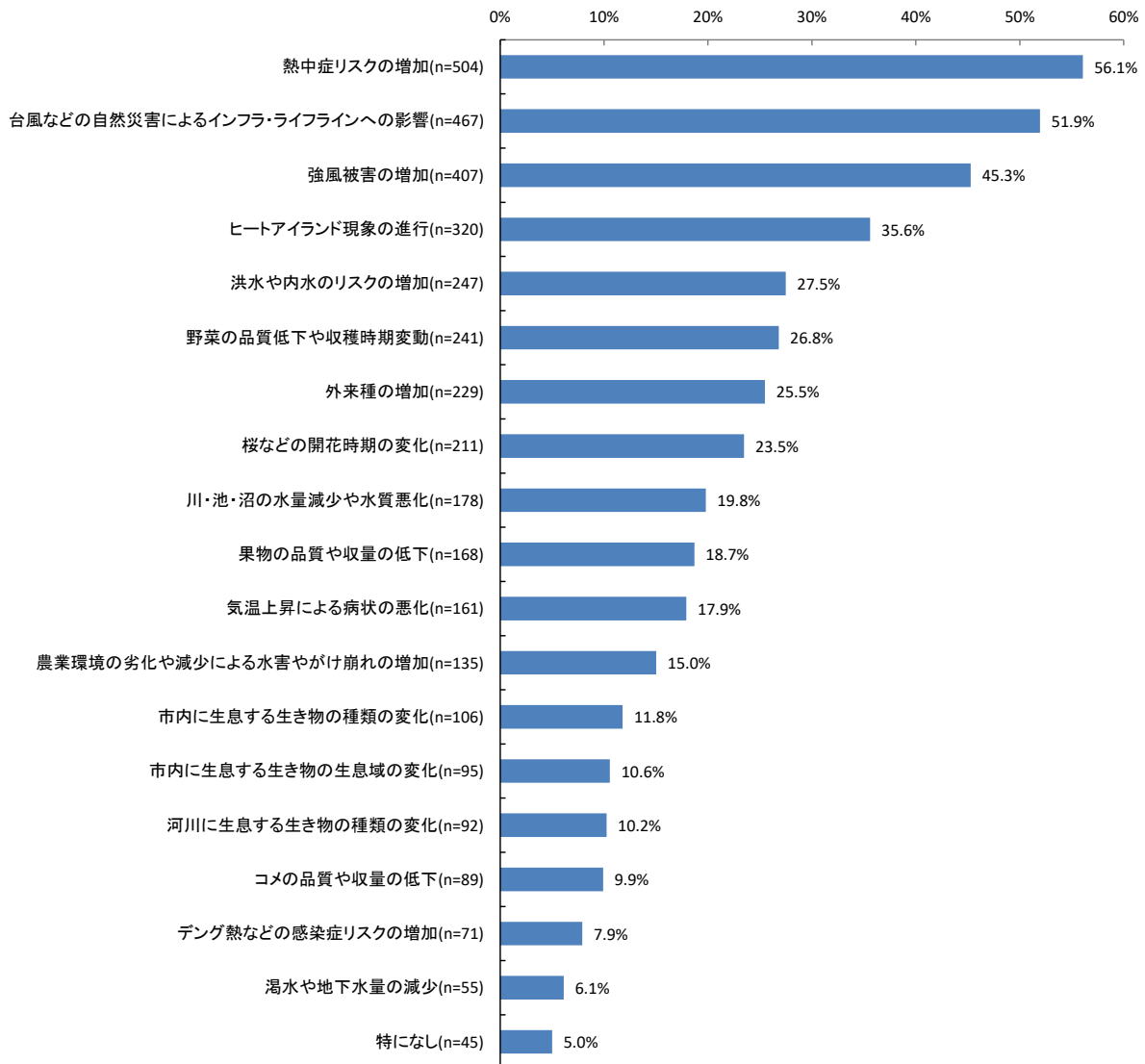
意味を含めて知っていた
 言葉は知っていたが意味は知らなかった
 言葉自体を知らなかった
 無回答

問14 印西市で温暖化の影響を受けていると感じるものについて

印西市で温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. コメの品質や収量の低下 | 11. 洪水や内水のリスクの増加 |
| 2. 果物の品質や収量の低下 | 12. 強風被害の増加 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期変動 | 13. 気温上昇による病状の悪化 |
| 4. 川・池・沼の水量減少や水質悪化 | 14. 熱中症リスクの増加 |
| 5. 湧水や地下水量の減少 | 15. デング熱などの感染症リスクの増加 |
| 6. 市内に生息する生き物の種類の変化 | 16. ヒートアイランド現象の進行 |
| 7. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 17. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 |
| 8. 桜などの開花時期の変化 | 18. 農業環境の劣化や減少による水害やがけ崩れの増加 |
| 9. 市内に生息する生き物の生息域の変化 | 19. 特になし |
| 10. 外来種の増加 | |

- ・「熱中症リスクの増加」は 56.1%で最大でした。次いで、「台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響」が 51.9%、「強風被害の増加」が 45.3%でした。
- ・一方、「コメの品質や収量の低下」「デング熱などの感染症リスクの増加」、「湧水や地下水量の減少」は 1 割以下でした。



【性別・年齢別・居住区別集計】

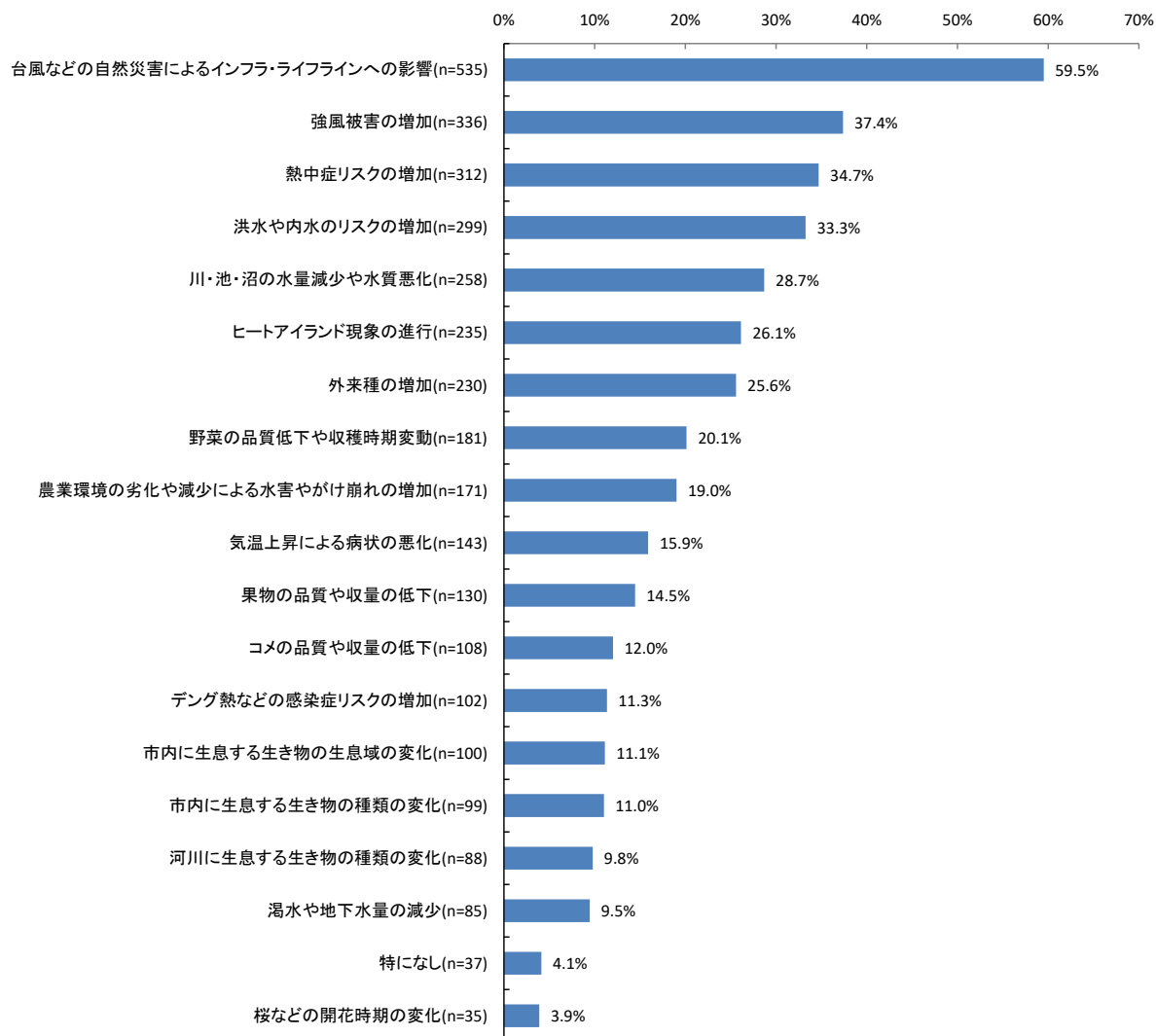
		1 位	2 位	3 位
性別	男性(n=384)	熱中症リスクの増加 (56.5%)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (49.0%)	強風被害の増加 (44.0%)
	女性(n=448)	熱中症リスクの増加 (56.3%)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (52.9%)	強風被害の増加 (46.9%)
年齢別	10代(n=1)	-	-	-
	20代(n=54)	熱中症リスクの増加 (55.6%)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (38.9%)	強風被害の増加 (27.8%)
	30代(n=137)	熱中症リスクの増加 (60.6%)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (39.4%)	強風被害の増加 (34.3%)
	40代(n=177)	熱中症リスクの増加 (58.2%)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (55.4%)	強風被害の増加 (48.0%)
	50代(n=161)	熱中症リスクの増加 (59.6%)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (57.8%)	強風被害の増加 (48.4%)
	60代(n=221)	熱中症リスクの増加 (52.9%)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (52.0%)	強風被害の増加 (49.3%)
	70歳以上(n=119)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (57.1%)	強風被害の増加 (52.9%)	熱中症リスクの増加 (49.6%)
居住区別	新市街地(n=590)	熱中症リスクの増加 (55.6%)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (47.8%)	強風被害の増加 (43.1%)
	市街地・集落混在 (n=210)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (63.8%)	熱中症リスクの増加 (57.1%)	強風被害の増加 (48.1%)
	集落(n=95)	熱中症リスクの増加 (57.9%)	強風被害の増加 (53.7%)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (51.6%)

問15 印西市で重点的に対策していくべき事項について

印西市で重点的に対策していくべき事項についてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. コメの品質や収量の低下 | 11. 洪水や内水のリスクの増加 |
| 2. 果物の品質や収量の低下 | 12. 強風被害の増加 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期変動 | 13. 気温上昇による病状の悪化 |
| 4. 川・池・沼の水量減少や水質悪化 | 14. 熱中症リスクの増加 |
| 5. 湧水や地下水量の減少 | 15. デング熱などの感染症リスクの増加 |
| 6. 市内に生息する生き物の種類の変化 | 16. ヒートアイランド現象の進行 |
| 7. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 17. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 |
| 8. 桜などの開花時期の変化 | 18. 農業環境の劣化や減少による水害やがけ崩れの増加 |
| 9. 市内に生息する生き物の生息域の変化 | 19. 特になし |
| 10. 外来種の増加 | |

- ・「台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響」は 59.5%で最大でした。次いで、「強風被害の増加」(37.4%)、「熱中症リスクの増加」(34.7%)、「洪水や内水のリスクの増加」(33.3%)の順でした。
- ・一方、「河川に生息する生き物の種類の変化」「湧水や地下水量の減少」、「桜などの開花時期の変化」は1割以下でした。



【性別・年齢別・居住区別集計】

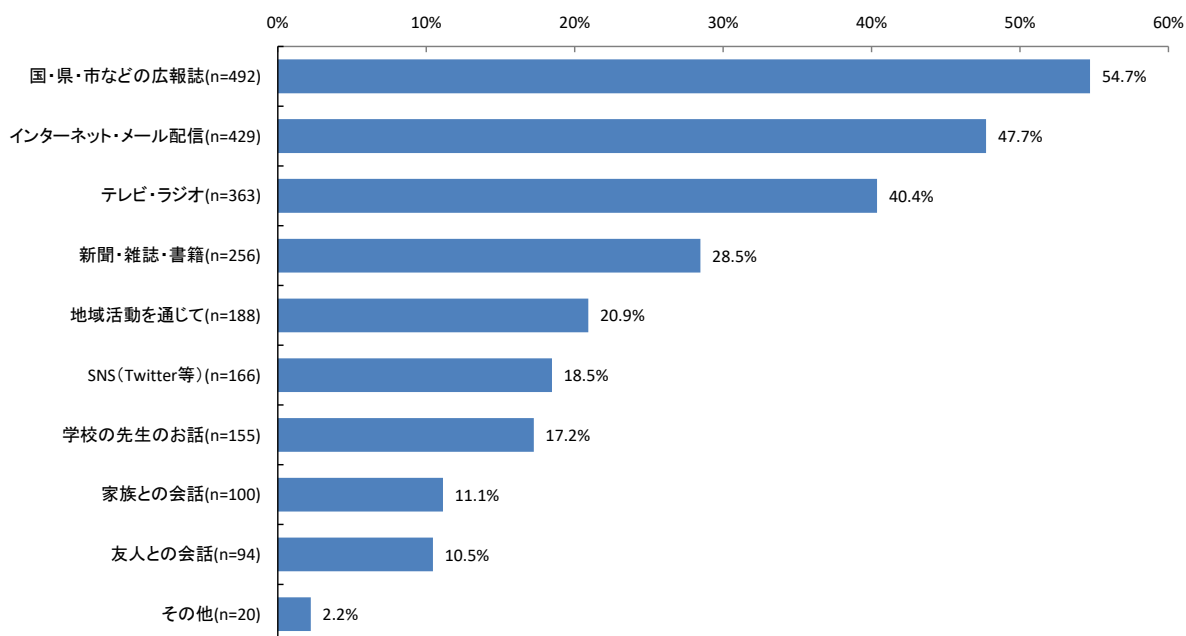
		1 位	2 位	3 位
性別	男性(n=384)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (55.7%)	洪水や内水のリスクの増加 (34.4%)	強風被害の増加 (33.9%)
	女性(n=448)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (62.1%)	強風被害の増加 (41.5%)	熱中症リスクの増加 (37.7%)
年齢別	10代(n=1)	-	-	-
	20代(n=54)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (42.6%)	熱中症リスクの増加 (37.0%)	川・池・沼の水量減少や水質悪化 (29.6%)
	30代(n=137)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (51.8%)	熱中症リスクの増加 (43.8%)	川・池・沼の水量減少や水質悪化 (32.8%)
	40代(n=177)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (62.1%)	強風被害の増加 (43.5%)	洪水や内水のリスクの増加 (36.2%)
	50代(n=161)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (63.4%)	強風被害の増加 (42.9%)	洪水や内水のリスクの増加 (37.9%)
	60代(n=221)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (62.9%)	強風被害の増加 (37.1%)	洪水や内水のリスクの増加 (35.7%)
	70歳以上(n=119)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (58.8%)	熱中症リスクの増加 (37.8%)	強風被害の増加 (34.5%)
居住区別	新市街地(n=590)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (57.8%)	強風被害の増加 (35.8%)	熱中症リスクの増加 (33.7%)
	市街地・集落混在 (n=210)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (65.2%)	洪水や内水のリスクの増加 (45.7%)	熱中症リスクの増加 (40.5%)
	集落(n=95)	台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 (57.9%)	強風被害の増加 (41.1%)	洪水や内水のリスクの増加 (29.5%)

問16 情報提供を行うとわかりやすい媒体について

どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。最も当てはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 学校の先生のお話 | 6. 家族との会話 |
| 2. 地域活動を通じて | 7. テレビ・ラジオ |
| 3. 友人との会話 | 8. インターネット・メール配信 |
| 4. 国・県・市などの広報誌 | 9. SNS(Twitter等) |
| 5. 新聞・雑誌・書籍 | 10. その他(|

- ・「国・県・市などの広報誌」は 54.7%で最大でした。次いで、「インターネット・メール配信」(47.7%)、「テレビ・ラジオ」(40.4%)の順でした。
- ・一方、「SNS(Twitter等)」、「学校の先生のお話」、「家族との会話」、「友人との会話」は2割未満でした。
- ・その他は20件あり、インターネット、情報誌等、ラジオなどに関する意見が寄せられました。
- ・20代で「SNS(Twitter等)」が1位となりました。
- ・性別、居住地区別では、明確な傾向は見られませんでした。



《その他の意見》

意見の概要	意見数	主な内容
インターネット	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ライン ・Youtube ・ネットニュース ・市役所のホームページ ・最近、広報でもインターネットを見ることをすすめているが、60才以上は難しいため止めてほしい
情報誌等	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報誌への掲載 ・地域の回覧版利用 ・大規模ショッピングセンターの掲示板
ラジオ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・防災放送 ・防災無線
その他	7	<ul style="list-style-type: none"> ・市の豊かな自然、関連する活動情報のCD化 ・新聞を購読して無い高齢者、日々仕事に忙しくご近所との交流も無い家庭でも市内の情報がわかる方法があると良い

【性別・年齢別・居住区別集計】

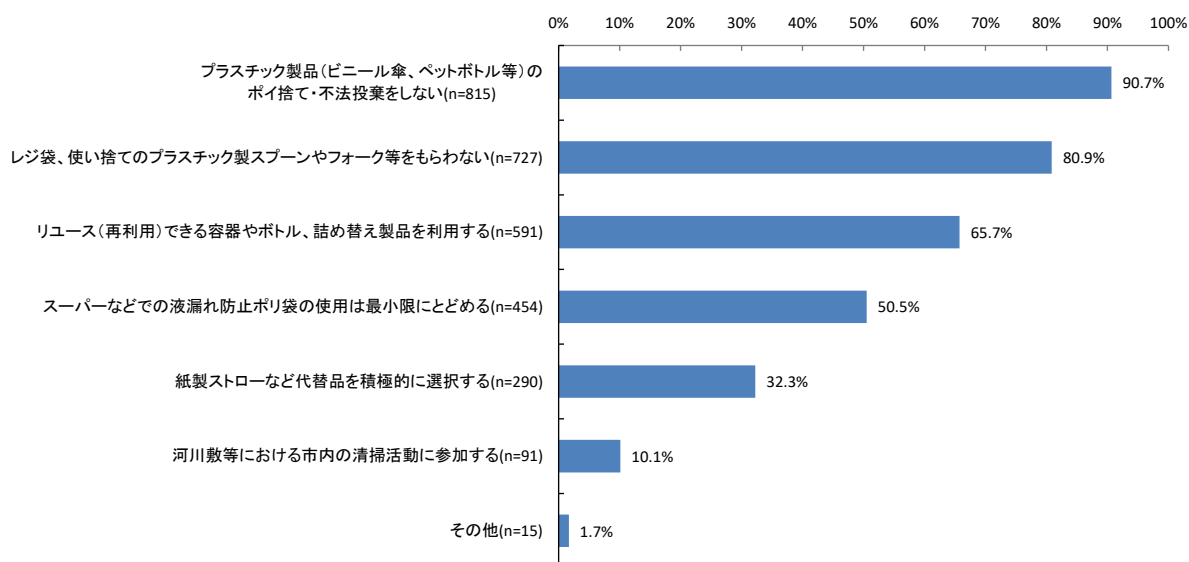
		1位	2位	3位
性別	男性(n=384)	国・県・市などの広報誌 (51.6%)	インターネット・メール配信 (50.3%)	テレビ・ラジオ (39.3%)
	女性(n=448)	国・県・市などの広報誌 (56.3%)	インターネット・メール配信 (46.9%)	テレビ・ラジオ (41.1%)
年齢別	10代(n=1)	-	-	-
	20代(n=54)	SNS(Twitter等) (46.3%)	国・県・市などの広報誌 (44.4%)	インターネット・メール配信 (44.4%) (同率2位)
	30代(n=137)	インターネット・メール配信 (54.0%)	国・県・市などの広報誌 (46.7%)	テレビ・ラジオ (33.6%)
	40代(n=177)	国・県・市などの広報誌 (48.6%)	インターネット・メール配信 (48.0%)	学校の先生のお話 (32.8%)
	50代(n=161)	インターネット・メール配信 (61.5%)	国・県・市などの広報誌 (48.4%)	テレビ・ラジオ (39.1%)
	60代(n=221)	国・県・市などの広報誌 (64.7%)	テレビ・ラジオ (47.1%)	インターネット・メール配信 (46.2%)
	70歳以上(n=119)	国・県・市などの広報誌 (68.9%)	テレビ・ラジオ (51.3%)	新聞・雑誌・書籍 (44.5%)
居住区別	新市街地(n=590)	国・県・市などの広報誌 (54.7%)	インターネット・メール配信 (50.3%)	テレビ・ラジオ (37.3%)
	市街地・集落混在 (n=210)	国・県・市などの広報誌 (56.7%)	テレビ・ラジオ (48.6%)	インターネット・メール配信 (47.6%)
	集落(n=95)	国・県・市などの広報誌 (51.6%)	テレビ・ラジオ (40.0%)	地域活動を通じて (34.7%)

問17 海洋プラスチック問題に関連する取組について

近年は陸から海へ排出されたプラスチックが海洋を汚染し、生態系へも悪影響を及ぼす「海洋プラスチック」が問題となっています。この問題に関連し、あなたが実践できるまたはしている取組をいくつか選んで○で囲んでください。

1. レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもらわない	4. スーパーなどでの液漏れ防止ポリ袋の使用は最小限にとどめる
2. リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する	5. プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない
3. 紙製ストローなど代替品を積極的に選択する	6. 河川敷等における市内の清掃活動に参加する
	7. その他(

- ・「プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない」は 90.7%で最大でした。次いで、「レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもらわない」が 80.9%でした。
- ・一方、「紙製ストローなど代替品を積極的に選択する」は 32.3%、「河川敷等における市内の清掃活動に参加する」は 10.1%でした。
- ・その他は 15 件あり、ごみの分別などの意見が寄せられました。
- ・性別、年代別、居住地区別では、明確な傾向は見られませんでした。



《その他の意見》

意見の概要	意見数	主な内容
ごみの分別	3	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみのすて方を公式サイトで確認し、きちんとプラマークをきれいにしてすてる ・プラゴミ分別を徹底
その他	7	<ul style="list-style-type: none"> ・分解性プラの使用 ・レジ袋の有料化だけでなく、プラスチック製品を作らないように企業努力 ・現状を知らない人へ、危機感を持ってもらえるように話題にしている

【性別・年齢別・居住区別集計】

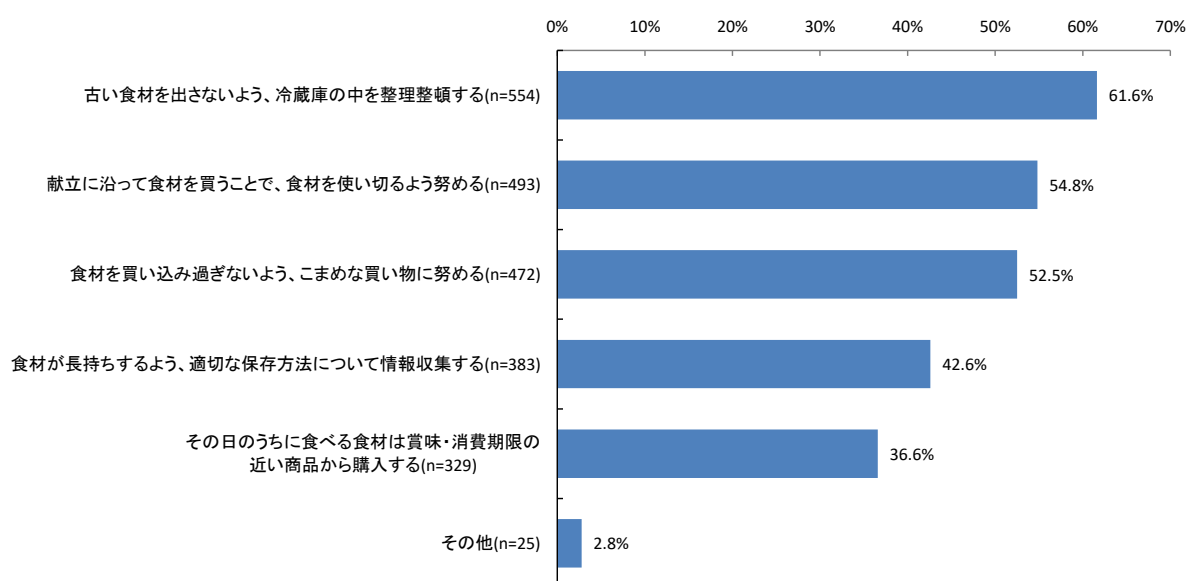
		1位	2位	3位
性別	男性(n=384)	プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない(88.8%)	レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもたらない(75.0%)	リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する(58.1%)
	女性(n=448)	プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない(92.4%)	レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもたらない(85.9%)	リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する(72.8%)
年齢別	10代(n=1)	-	-	-
	20代(n=54)	プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない(85.2%)	レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもたらない(74.1%)	リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する(57.4%)
	30代(n=137)	プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない(86.9%)	レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもたらない(81.0%)	リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する(71.5%)
	40代(n=177)	プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない(92.1%)	レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもたらない(81.4%)	リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する(70.6%)
	50代(n=161)	プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない(92.5%)	レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもたらない(77.6%)	リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する(67.7%)
	60代(n=221)	プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない(91.4%)	レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもたらない(85.1%)	リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する(62.4%)
	70歳以上(n=119)	プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない(92.4%)	レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもたらない(79.0%)	リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する(61.3%)
居住区別	新市街地(n=590)	プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない(90.0%)	レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもたらない(82.5%)	リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する(66.6%)
	市街地・集落混在(n=210)	プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない(92.9%)	レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもたらない(81.4%)	リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する(64.3%)
	集落(n=95)	プラスチック製品(ビニール傘、ペットボトル等)のポイ捨て・不法投棄をしない(89.5%)	レジ袋、使い捨てのプラスチック製スプーンやフォーク等をもたらない(69.5%)	リユース(再利用)できる容器やボトル、詰め替え製品を利用する(64.2%)

問18 食品ロスを減らすための取組について

まだ食べられる食品が捨てられてしまう「食品ロス」について、国では「食品ロスの削減の推進に関する法律」を施行しました。食品ロスを減らすため、ご家庭でできるまたはしている取組をいくつでも選んで○で囲んでください。

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める | 4. 食材が長持ちするよう、適切な保存方法について情報収集する |
| 2. 食材を買い込み過ぎないよう、こまめな買い物に努める | 5. 古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する |
| 3. その日のうちに食べる食材は賞味・消費期限の近い商品から購入する | 6. その他 |

- ・「古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する」は61.6%で最大でした。
- ・一方、「その日のうちに食べる食材は賞味・消費期限の近い商品から購入する」は36.6%でした。
- ・その他は25件あり、残さない、買い込みすぎない、堆肥化などの意見が寄せられました。
- ・性別、年代別、居住地区別では、明確な傾向は見られませんでした。



《その他の意見》

意見の概要	意見数	主な内容
残さない	7	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭外食を問わず完食する ・食べ切れる量を調理する事
買い込みすぎない	7	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ買いをして、なるべく買い物に行かないようにし冷蔵庫にあるものを使い切るようにする ・ほとんど使いきってから買物に行っている ・食べる量しか買わない
堆肥化	2	<ul style="list-style-type: none"> ・生ゴミは庭、畑の生ゴミ穴に捨てる ・土に返す。堆肥に使用する
その他	9	<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫のドアに、白板を付け生鮮食品を書いて、使い切るようにしている ・消費期間の近い物は一次調理をして保存し再調理に変化を付けてロスを出さない工夫をする ・賞味期限はあくまでも目安とする ・食材は保存可能な乾物、冷凍食品にしている ・賞味期限間近な為半額になっている食品は積極的に購入。献立のチェンジもする。

【性別・年齢別・居住区別集計】

		1位	2位	3位
性別	男性(n=384)	古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する (57.6%)	食材を買い込み過ぎないよう、こまめな買い物に努める (53.6%)	献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める (50.0%)
	女性(n=448)	古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する (65.6%)	献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める (59.6%)	食材を買い込み過ぎないよう、こまめな買い物に努める (51.3%)
年齢別	10代(n=1)	-	-	-
	20代(n=54)	古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する (51.9%)	献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める (44.4%)	その日のうちに食べる食材は賞味・消費期限の近い商品から購入する(44.4%)
	30代(n=137)	古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する (62.8%)	その日のうちに食べる食材は賞味・消費期限の近い商品から購入する(51.8%)	献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める (51.1%)
	40代(n=177)	古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する (62.1%)	食材を買い込み過ぎないよう、こまめな買い物に努める (53.7%)	献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める (53.1%)
	50代(n=161)	食材を買い込み過ぎないよう、こまめな買い物に努める (62.7%)	古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する (62.7%) (同率1位)	献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める (54.7%)
	60代(n=221)	献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める (58.8%)	古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する (58.8%) (同率1位)	食材を買い込み過ぎないよう、こまめな買い物に努める (51.1%)
	70歳以上(n=119)	古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する (70.6%)	献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める (62.2%)	食材を買い込み過ぎないよう、こまめな買い物に努める (52.9%)
居住区別	新市街地(n=590)	古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する (61.7%)	献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める (56.1%)	食材を買い込み過ぎないよう、こまめな買い物に努める (53.6%)
	市街地・集落混在(n=210)	古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する (61.0%)	献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める (55.2%)	食材を買い込み過ぎないよう、こまめな買い物に努める (47.6%)
	集落(n=95)	古い食材を出さないよう、冷蔵庫の中を整理整頓する (63.2%)	食材を買い込み過ぎないよう、こまめな買い物に努める (56.8%)	献立に沿って食材を買うことで、食材を使い切るよう努める (47.4%)

問19 自由意見

印西市の環境づくりについてご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。
記述式

回答数 312

No	分類	回答数
1	緑の保全	24
2	水辺の保全	2
3	生きもの	5
4	大気環境	4
5	水質環境	2
6	騒音・振動	2
7	その他生活環境	3
8	有害物質対策	2
9	景観	2
10	環境美化	58
11	緑のまちづくり	25
12	歴史・文化	1
13	その他都市環境	36
14	再生可能エネルギー	2
15	省エネルギー	19
16	廃棄物の適正処理	26
17	ごみの減量化・資源化	3
18	その他地球環境	11
19	環境教育	11
20	環境情報	23
21	環境配慮行動	22
22	その他	29
	合計	312

2.2 事業者意識調査の結果

事業者意識調査結果を以下に示します。

なお、集計結果は、端数処理の関係により、合計が100%とならないことがあります。

問1 事業者の属性について

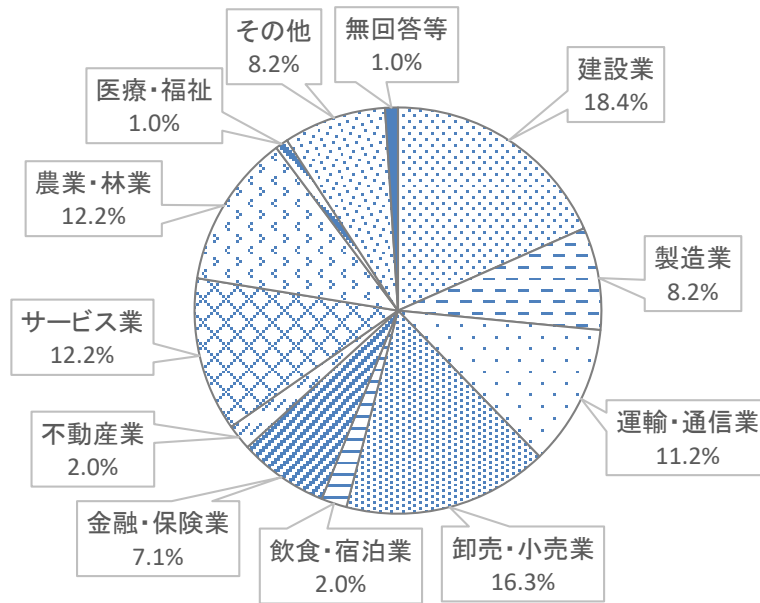
貴事業所の業種についてお尋ねします。

あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 建設業 | 7. 不動産業 |
| 2. 製造業 | 8. サービス業 |
| 3. 運輸・通信業 | 9. 農業・林業 |
| 4. 卸売・小売業 | 10. 医療・福祉 |
| 5. 飲食・宿泊業 | 11. その他 |
| 6. 金融・保険業 | |

・業種は、建設業が18.4%で最も多く、次いで、卸売・小売業(16.3%)、サービス業(12.2%)の順でした。

回答数 97



《その他の業種》

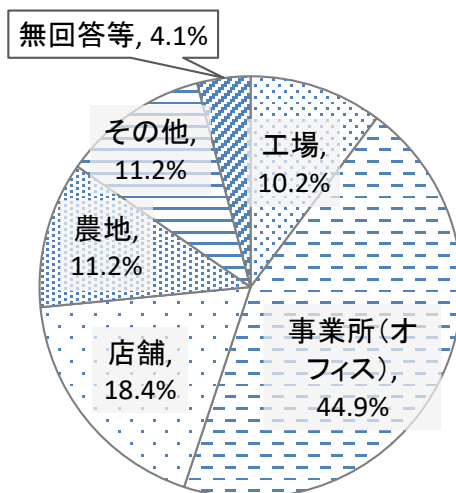
業種	回答数
自動車整備	1
出版業	1
造園業	1
アパート	1
研修所の運営	1
不動産賃貸管理業	1
地質調査	1
データセンター	1

貴事業所の事業所形態についてお尋ねします。
 あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

- | | |
|--------------|--------|
| 1. 工場 | 4. 農地 |
| 2. 事業所(オフィス) | 5. その他 |
| 3. 店舗 | |

・事業所形態は、事業所(オフィス)の回答が多く、全体の44.9%を占めました。

回答数 94



《その他の事業所形態》

事業所形態	回答数
車庫	1
技術研究所	1
物流センター	2
アパート	1
資材置場	1
ガソリンスタンド	1
研究施設	1
倉庫	2
商業施設	1

貴事業所の従業員数についてお尋ねします。

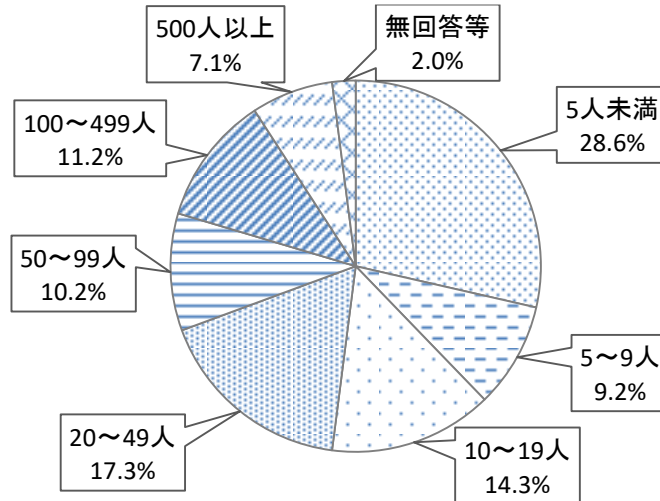
あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

- 1. 5人未満
- 2. 5～9人
- 3. 10～19人
- 4. 20～49人

- 5. 50～99人
- 6. 100～499人
- 7. 500人以上

・従業員数は、5人未満が28.6%で最も多く、次いで、20～49人(17.3%)、10～19人(14.3%)の順でした。

回答数 96



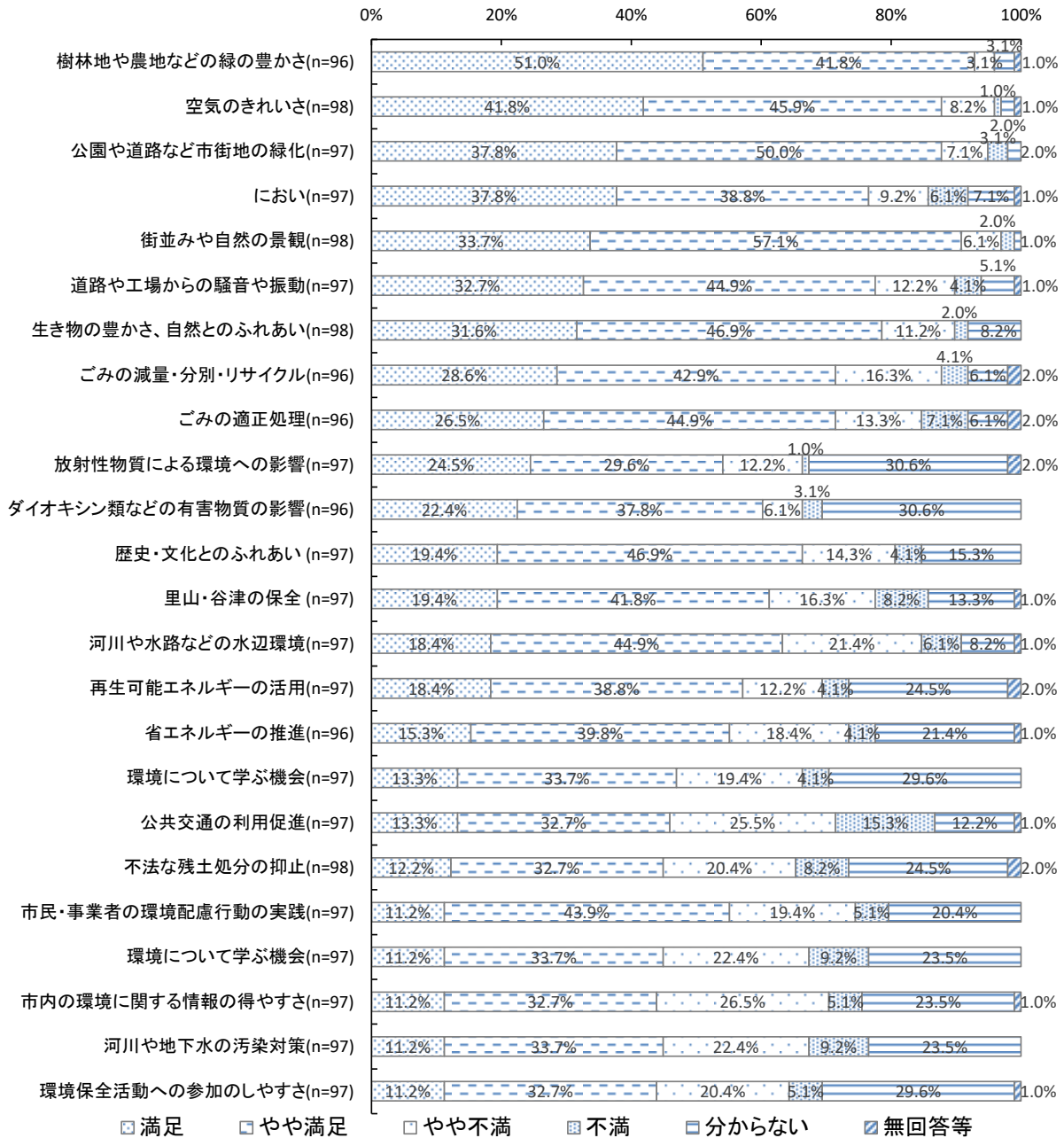
問2 環境への満足度、環境の保全、対策の重要度について

貴事業所における市内の環境に関する満足度、またその環境を保全、対策をすることがどの程度重要と思われるかについてお聞きします。

以下の環境に関する満足度について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 満足 | 4. 不満 |
| 2. やや満足 | 5. わからない |
| 3. やや不満 | |

- ・事業者の4割以上が、「樹林地や農地などの緑の豊かさ」「空気のきれいさ」を満足と回答しました。
- ・一方で、「公共交通の利用促進」を不満とした割合は15.3%でした。

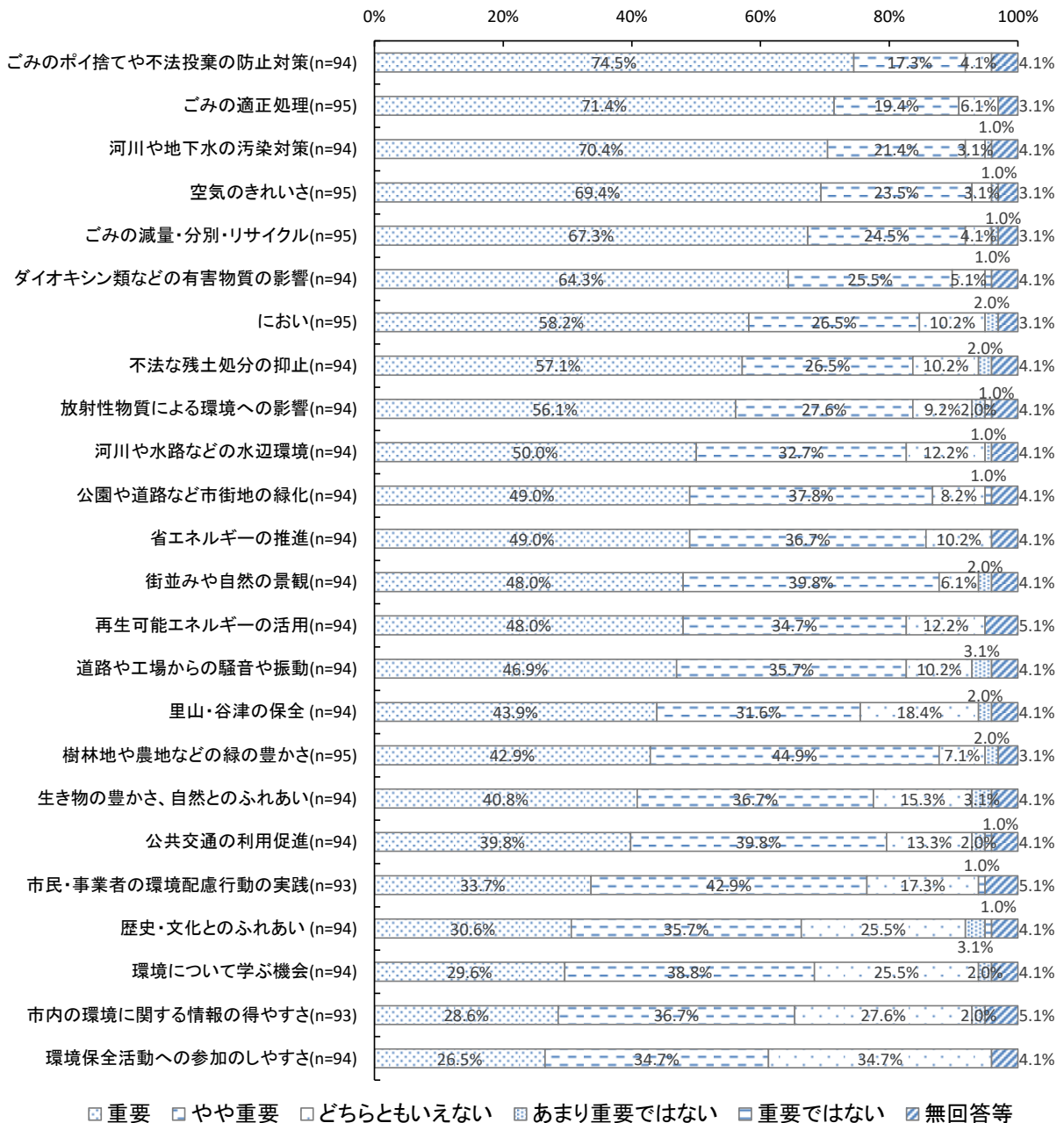


あなたの市内の環境に関する満足度、またその環境を保全、対策をすることがどの程度重要と思われるかについてお聞きします。

以下の環境に関する重要度について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

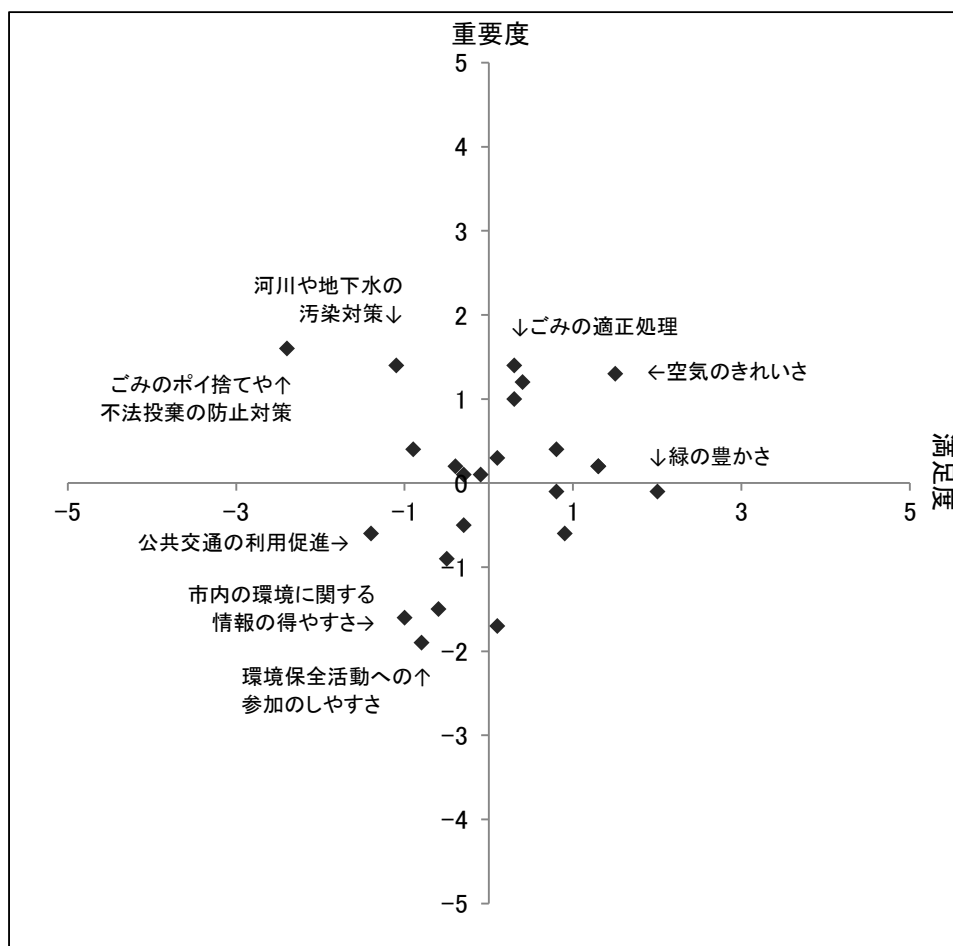
- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 重要 | 4. あまり重要ではない |
| 2. やや重要 | 5. 重要ではない |
| 3. どちらともいえない | |

- ・事業者の7割以上が、「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」「ごみの適正処理」「河川や地下水の汚染対策」を重要と回答しました。
- ・一方で、「環境について学ぶ機会」「市内の環境に関する情報の得やすさ」「環境保全活動への参加のしやすさ」を重要とした割合は3割以下でした。



【環境に関する満足度、重要度のポートフォリオ】

- ・「空気のきれいさ」は満足度と重要度がともに高い結果となりました。引き続き、現状維持に努める必要があると考えられます。
- ・一方、「ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策」「河川や地下水の汚染対策」等は、重要度が高く、満足度が低い結果となりました。事業者の満足度を高める施策が求められています。
- ・「公共交通の利用促進」、「市内の環境に関する情報の得やすさ」、「環境保全活動への参加のしやすさ」等は、満足度は低いものの、重要度も低い結果となりました。優先度は高くないものの、必要に応じて満足度や重要度を高める取組が求められます。



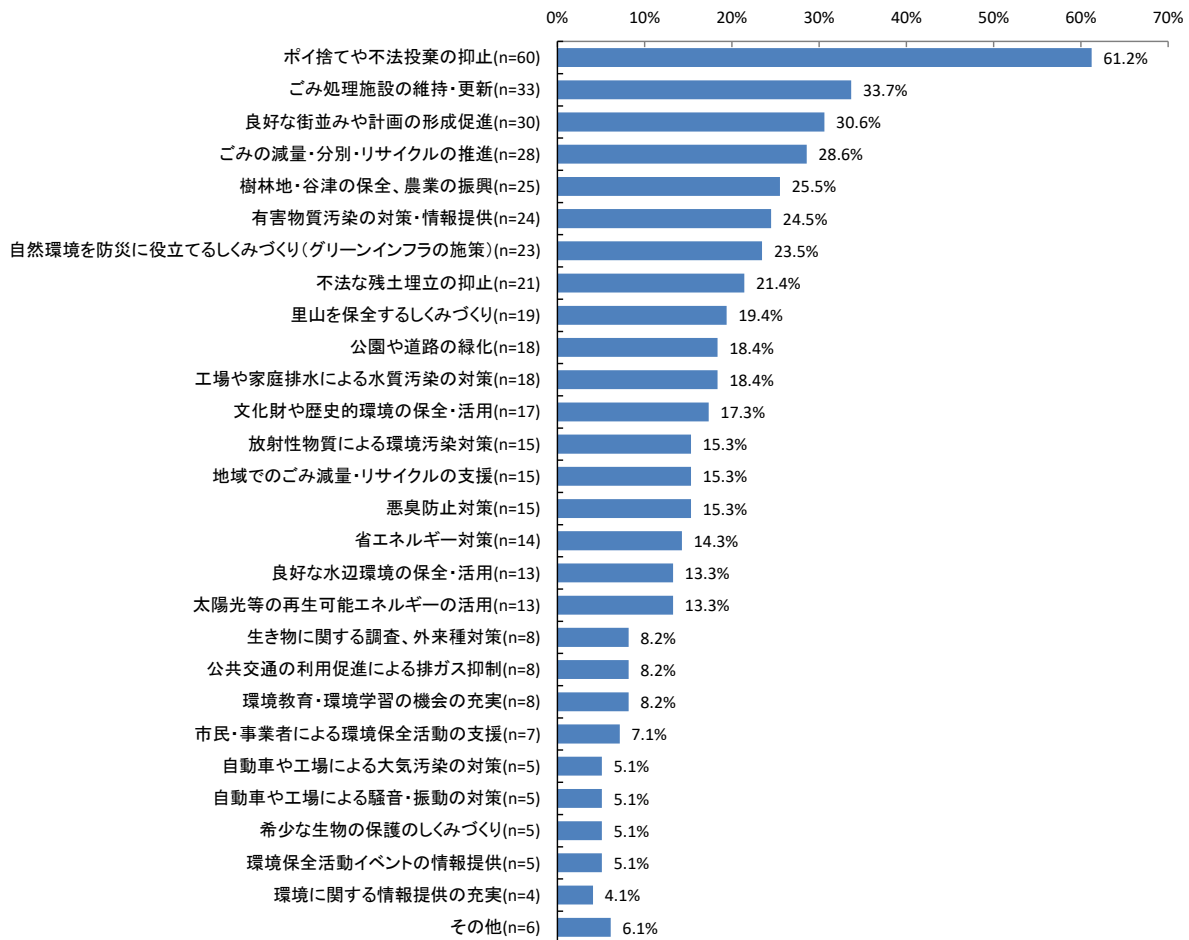
標準化得点

No	項目	満 足 度	重 要 度	No	項目	満 足 度	重 要 度
1	樹林地や農地などの緑の豊かさ	2.0	-0.1	13	河川や水路などの水辺環境	-0.3	0.1
2	ごみの適正処理	0.3	1.4	14	歴史・文化とのふれあい	0.1	-1.7
3	ごみの減量・分別・リサイクル	0.4	1.2	15	里山・谷津の保全	-0.3	-0.5
4	放射性物質による環境への影響	0.1	0.3	16	ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策	-2.4	1.6
5	道路や工場からの騒音や振動	0.8	-0.1	17	河川や地下水の汚染対策	-1.1	1.4
6	におい	0.8	0.4	18	省エネルギーの推進	-0.4	0.2
7	空気のきれいさ	1.5	1.3	19	不法な残土処分の抑止	-0.9	0.4
8	公園や道路など市街地の緑化	1.3	0.2	20	環境について学ぶ機会	-0.6	-1.5
9	街並みや自然の景観	1.3	0.2	21	市内の環境に関する情報の得やすさ	-1.0	-1.6
10	生き物の豊かさ、自然とのふれあい	0.9	-0.6	22	市民・事業者の環境配慮行動の実践	-0.5	-0.9
11	ダイオキシン類などの有害物質の影響	0.3	1.0	23	公共交通の利用促進	-1.4	-0.6
12	再生可能エネルギーの活用	-0.1	0.1	24	環境保全活動への参加のしやすさ	-0.8	-1.9

問3 力を入れて欲しい環境施策について

<p>市が取り組むべき環境施策のうち、今後とくに力を入れてほしいと考える施策はなんですか。特にあてはまると思う番号を5つ選んで○で囲んでください</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. ポイ捨てや不法投棄の抑止 2. 良好な街並みや計画の形成促進 3. 生き物に関する調査、外来種対策 4. 里山を保全するしくみづくり 5. 有害物質汚染の対策・情報提供 6. 公園や道路の緑化 7. 樹林地・谷津の保全、農業の振興 8. ごみ処理施設の維持・更新 9. 放射性物質による環境汚染対策 10. 良好な水辺環境の保全・活用 11. 不法な残土埋立の抑止 12. 工場や家庭排水による水質汚染の対策 13. 公共交通の利用促進による排ガス抑制 14. 地域でのごみ減量・リサイクルの支援 	<ol style="list-style-type: none"> 15. 自動車や工場による大気汚染の対策 16. 省エネルギー対策 17. 自動車や工場による騒音・振動の対策 18. 悪臭防止対策 19. ごみの減量・分別・リサイクルの推進 20. 環境教育・環境学習の機会の充実 21. 太陽光等の再生可能エネルギーの活用 22. 文化財や歴史的環境の保全・活用 23. 環境に関する情報提供の充実 24. 市民・事業者による環境保全活動の支援 25. 希少な生物の保護のしくみづくり 26. 環境保全活動イベントの情報提供 27. 自然環境を防災に役立てるしくみづくり(グリーンインフラの施策) 28. その他

- ・「ポイ捨てや不法投棄の抑止」が選択された割合は61.2%で最大でした。
- ・一方で、「生き物に関する調査、外来種対策」「公共交通の利用促進による排ガス抑制」「環境教育・環境学習の機会の充実」「市民・事業者による環境保全活動の支援」「自動車や工場による大気汚染の対策」「自動車や工場による騒音・振動の対策」「希少な生物の保護のしくみづくり」「環境保全活動イベントの情報提供」「環境に関する情報提供の充実」「その他」は1割以下でした。
- ・その他の意見は6件あり、「マキストープによる煙、悪臭防止対策なんとかしてほしい」、「道路整備」、「農地(休耕地)(耕作放棄地)の活用(自然を生かす)スポーツパーク、野球、サッカー等のグラウンドに使用できる様にする。四国アイランドリーグ(野球)などでは放棄地を活用している(グラウンド整備)」、「清掃」、「畑や空地で草や木の枝等を燃やさない様に指導してほしい」、「公共交通機関の利用しやすさ」という意見が寄せられました。
- ・経年変化では、設問項目が年度により異なっていますが、1位は全て不法投棄に関する項目でした。また、令和2年度は「ごみ処理施設の維持・更新」が2位でした。



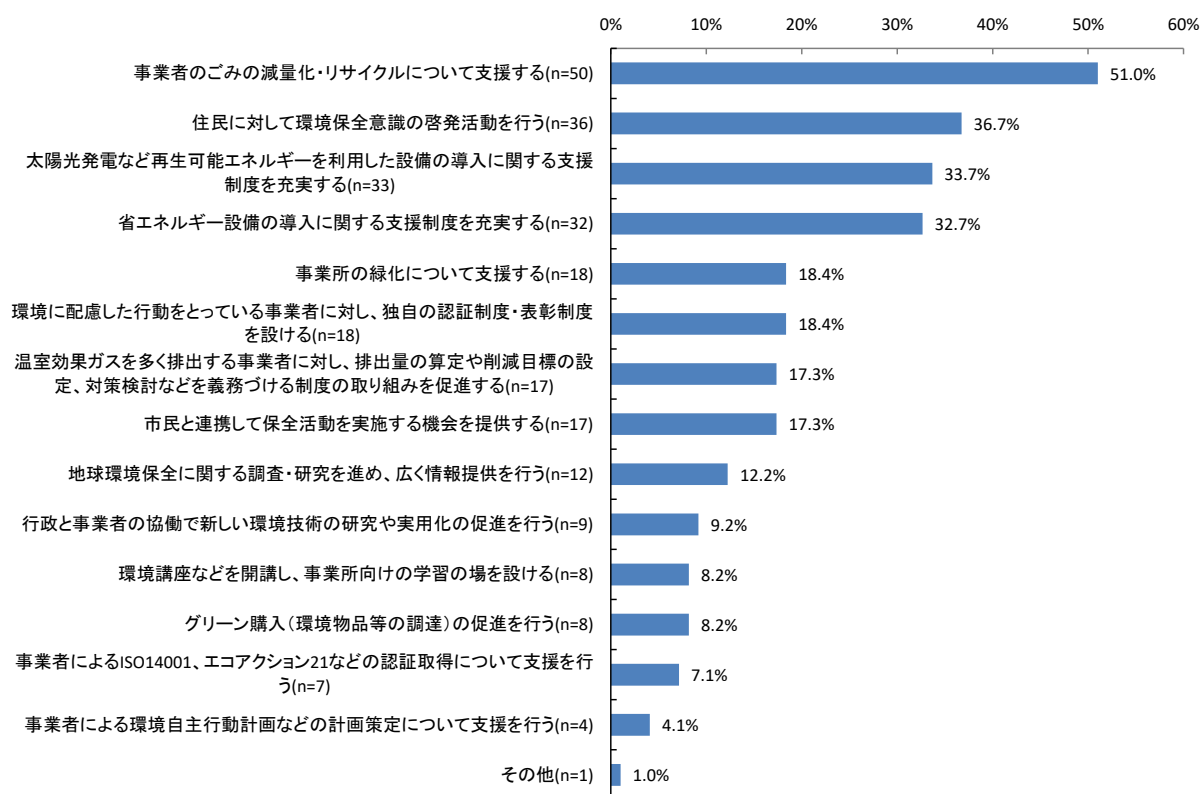
【経年変化】

	1位	2位	3位
平成15年度	不法投棄・ポイ捨て (40.9%)	河川水質の浄化 (32.9%)	里山の保全・活用 (25.1%)
平成19年度	不法投棄など廃棄物問題 (40.8%)	都市開発による自然の減少 (33.8%)	自動車の交通渋滞 (31.2%)
平成24年度	不法投棄など廃棄物問題 (40.2%)	自動車の交通渋滞 (30.4%)	農家の減少・遊休農地増加 (27.5%)
令和2年度	ポイ捨てや不法投棄の抑止 (61.2%)	ごみ処理施設の維持・更新 (33.7%)	良好な街並みや計画の推進 (30.6%)

問4 特に期待する施策について

<p>貴事業所が環境保全対策を進めていくために、行政に特に期待している施策は何ですか。特にあてはまると思う番号を3つまで選んで○で囲んでください。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 住民に対して環境保全意識の啓発活動を行う 2. 環境講座などを開講し、事業所向けの学習の場を設ける 3. 事業者のごみの減量化・リサイクルについて支援する 4. 事業所の緑化について支援する 5. 事業者による環境自主行動計画などの計画策定について支援を行う 6. 事業者による ISO14001、エコアクション 21 などの認証取得について支援を行う 7. 環境に配慮した行動をとっている事業者に対し、独自の認証制度・表彰制度を設ける 8. 温室効果ガスを多く排出する事業者に対し、排出量の算定や削減目標の設定、対策検討などを義務づける制度の取り組みを促進する 	<ol style="list-style-type: none"> 9. 地球環境保全に関する調査・研究を進め、広く情報提供を行う 10. 太陽光発電など再生可能エネルギーを利用した設備の導入に関する支援制度を充実する 11. 省エネルギー設備の導入に関する支援制度を充実する 12. 行政と事業者の協働で新しい環境技術の研究や実用化の促進を行う 13. グリーン購入(環境物品等の調達)の促進を行う 14. 市民と連携して保全活動を実施する機会を提供する 15. その他

- ・事業者の 51.0%が「事業者のごみの減量化・リサイクルについて支援する」を選択しました。次いで、「住民に対して環境保全意識の啓発活動を行う」(36.7%)、「太陽光発電など再生可能エネルギーを利用した設備の導入に関する支援制度を充実する」(33.7%)、「省エネルギー設備の導入に関する支援制度を充実する」(32.7%)の順でした。
- ・一方で、「行政と事業者の協働で新しい環境技術の研究や実用化の促進を行う」「環境講座などを開講し、事業所向けの学習の場を設ける」「グリーン購入(環境物品等の調達)の促進を行う」「事業者による ISO14001、エコアクション 21 などの認証取得について支援を行う」「事業者による環境自主行動計画などの計画策定について支援を行う」「その他」が選択された割合は1割以下でした。
- ・その他の意見は1件あり、「事業者の不法投棄被害に対する支援＝住民による不法投棄の抑制」という意見が寄せられました。

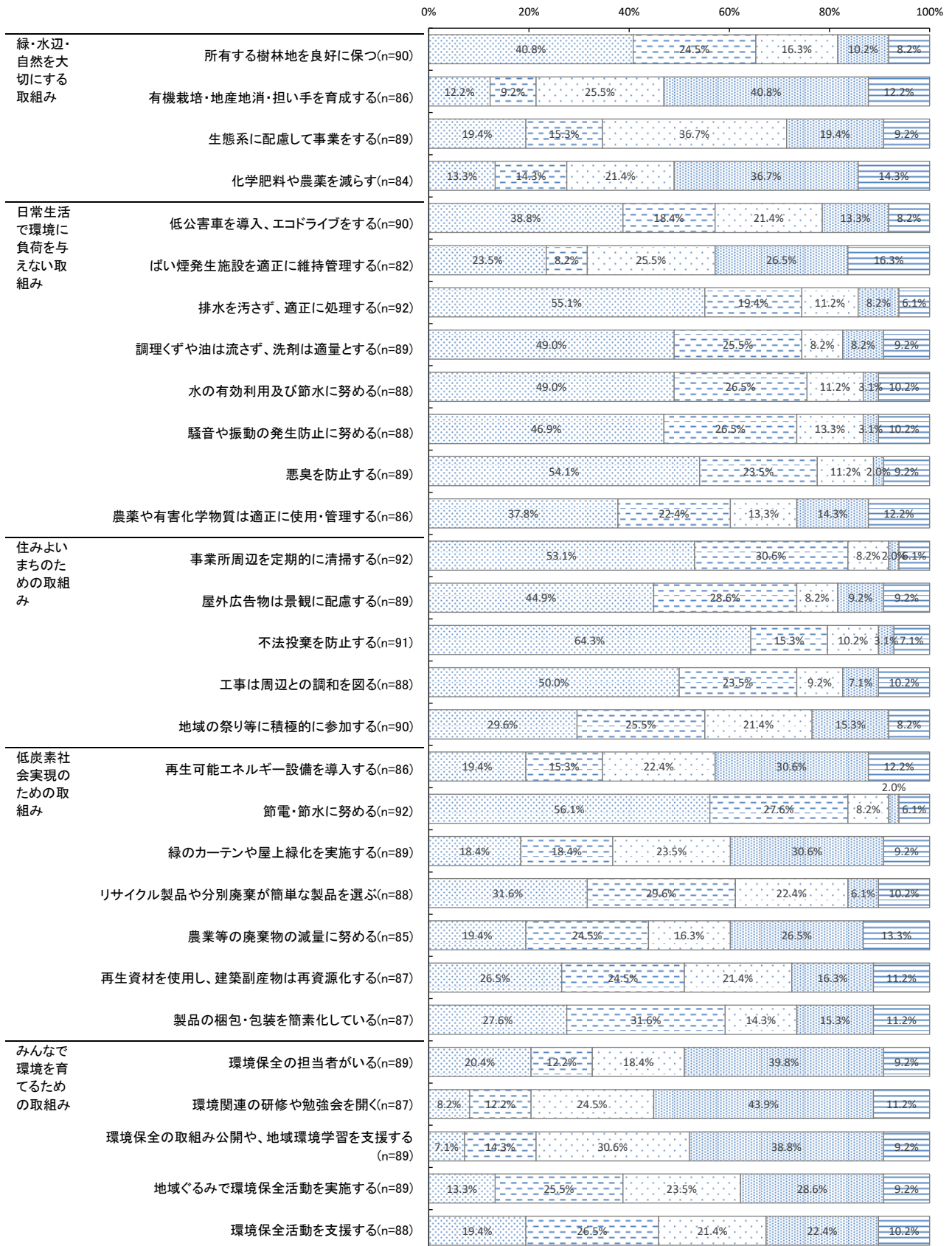


問5 環境行動について

貴事業所では以下のような環境行動を実践していますか。あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

1. 実施している	3. あまり実施していない
2. 時々実施している	4. 全く実施していない

- ・緑・水辺・自然を大切に取る取組のうち、「所有する樹林地を良好に保つ」について、事業者の5割以上が「実施している」「時々実施している」と回答しました。
- ・日常生活で環境に負荷を与えない取組のうち、「ばい煙発生施設を適正に維持管理する」について、「実施している」「時々実施している」と回答する事業者は5割以下でした。その他の取組では、事業者の5割以上が「実施している」「時々実施している」と回答しました。
- ・住みよいまちのための取組では、全ての項目で事業者の5割以上が「実施している」「時々実施している」と回答しました。
- ・低炭素社会実現のための取組のうち、「節電・節水に努める」「リサイクル製品や分別廃棄が簡単な製品を選ぶ」「再生資材を使用し、建築副産物は再資源化」「製品の梱包・包装を簡素化している」について、5割以上の事業者が「実施している」「時々実施している」と回答しました。
- ・みんなで環境を育てるための取組のうち、全ての項目で「実施している」「時々実施している」と回答する事業者は5割以下でした。
- ・緑・水辺・自然を大切に取る取組、低炭素社会実現のための取組、みんなで環境を育てるための取組の実施割合が低いと、引き続き環境行動への参加促進を図っていく必要があります。

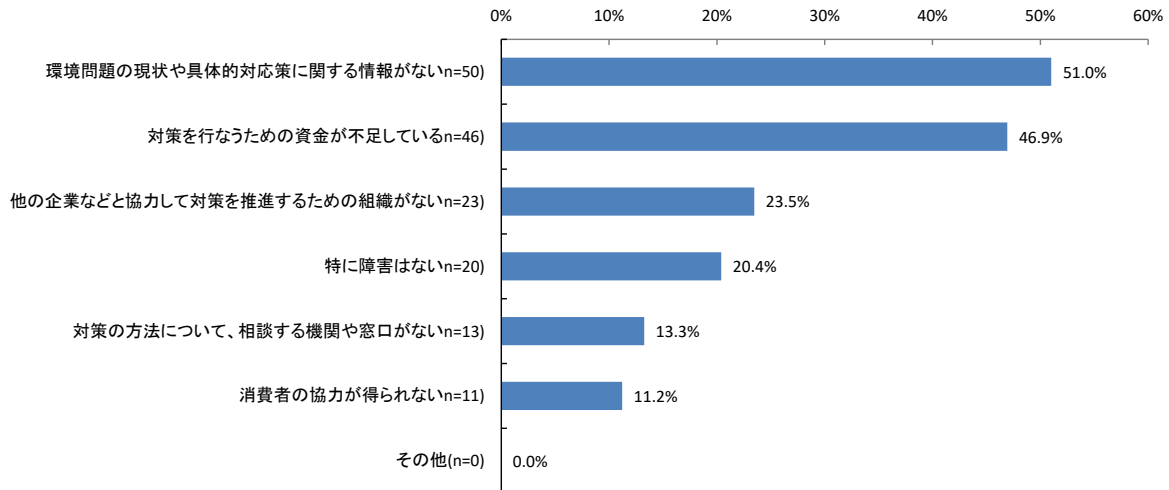


実施している
 時々実施している
 あまり実施していない
 全く実施していない
 無回答等

問6 環境保全対策を進めるうえでの障害について

貴事業所が環境保全対策を進めていくためには、どのようなことが障害になると思われますか。次の中から特に障害となるものを2つまで選んで番号を○で囲んでください。	
1. 環境問題の現状や具体的対応策に関する情報がない 2. 対策を行なうための資金が不足している 3. 他の企業などと協力して対策を推進するための組織がない 4. 対策の方法について、相談する機関や窓口がない	5. 消費者の協力が得られない 6. 特に障害はない 7. その他(

- ・「環境問題の現状や具体的対応策に関する情報がない」が 51.0%と最大でした。次いで、「対策を行なうための資金が不足している」が 46.9%でした。
- ・一方、「対策の方法について、相談する機関や窓口がない」、「消費者の協力が得られない」は 2 割以下でした。

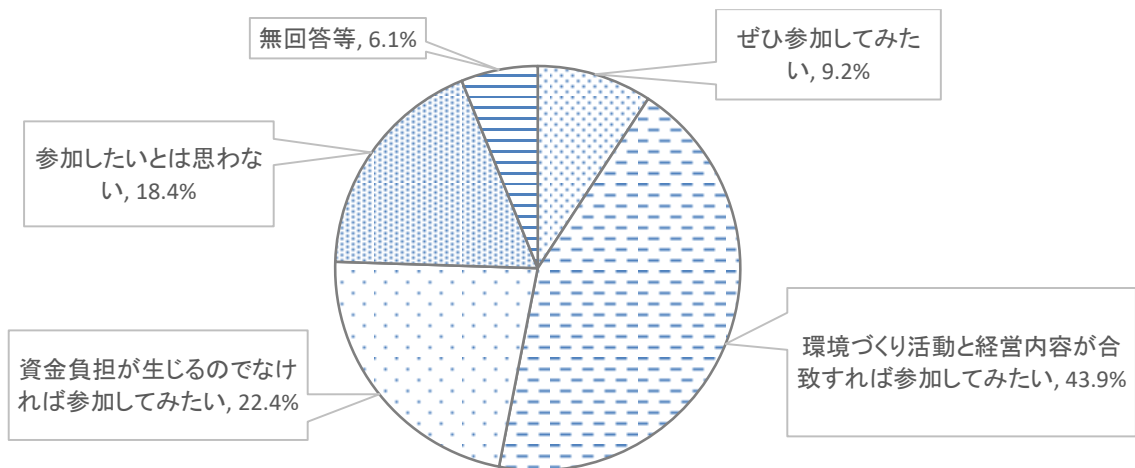


問7 市民・事業者の連携による自主的な環境づくり活動について

市民・事業者の連携による自主的な環境づくり活動へ参加してみたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。	
1. ぜひ参加してみたい 2. 環境づくり活動と経営内容が合致すれば参加してみたい	3. 資金負担が生じるのでなければ参加してみたい 4. 参加したいとは思わない

- ・「環境づくり活動と経営内容が合致すれば参加してみたい」は 43.9%で最大でした。次いで、「資金負担が生じるのでなければ参加してみたい」が 22.4%、「参加したいとは思わない」が 18.4%でした。
- ・「ぜひ参加してみたい」は 9.2%でした。

回答数 92



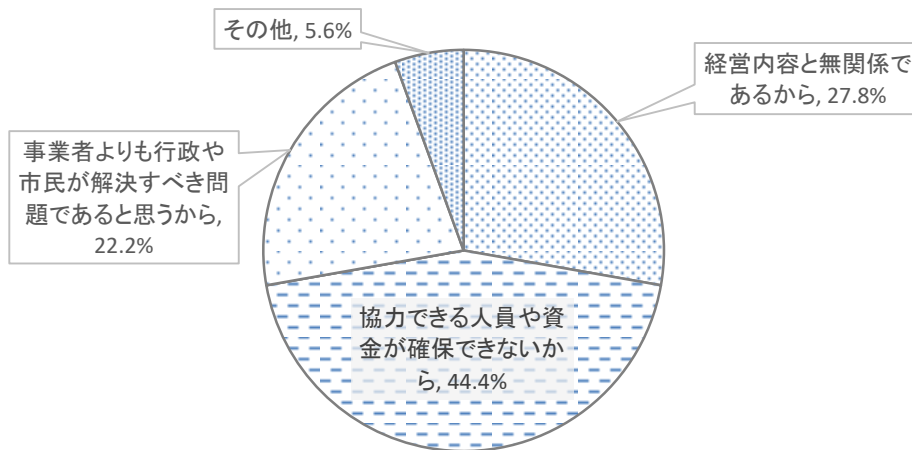
問8 参加したいとは思わない理由について

問7で「参加したいとは思わない」と回答した事業者にお伺いします。それはどのような理由によるものですか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| 1. 経営内容と無関係であるから | 4. 事業者よりも行政や市民が解決すべき問題であると思うから |
| 2. 協力できる人員や資金が確保できないから | 5. その他 |
| 3. 協力しても収益にはつながらないから | |

・「協力できる人員や資金が確保できないから」は 44.4%で最大でした。次いで、「経営内容と無関係であるから」が 27.8%、「事業者よりも行政や市民が解決すべき問題であると思うから」が 22.2%でした。その他は 1 件寄せられ、「委託請負業務であるため」という意見が寄せられました。

回答数 18



問9 持続可能な開発目標

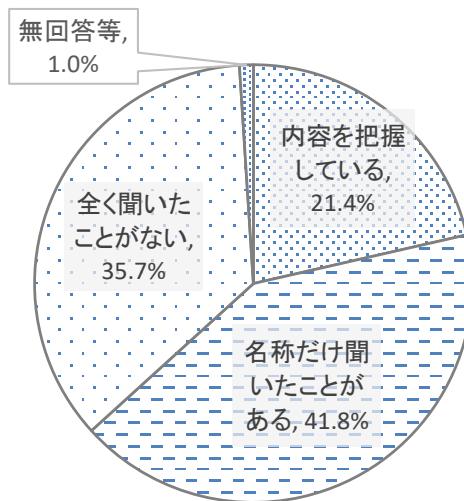
(SDGs) について

平成 27(2015)年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」をご存知ですか。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 内容を把握している | 3. 全く聞いたことがない |
| 2. 名称だけ聞いたことがある | |

・「名称だけ聞いたことがある」は 41.8%で最大でした。次いで、「全く聞いたことがない」が 35.7%、「内容を把握している」が 21.4%でした。

回答数 97

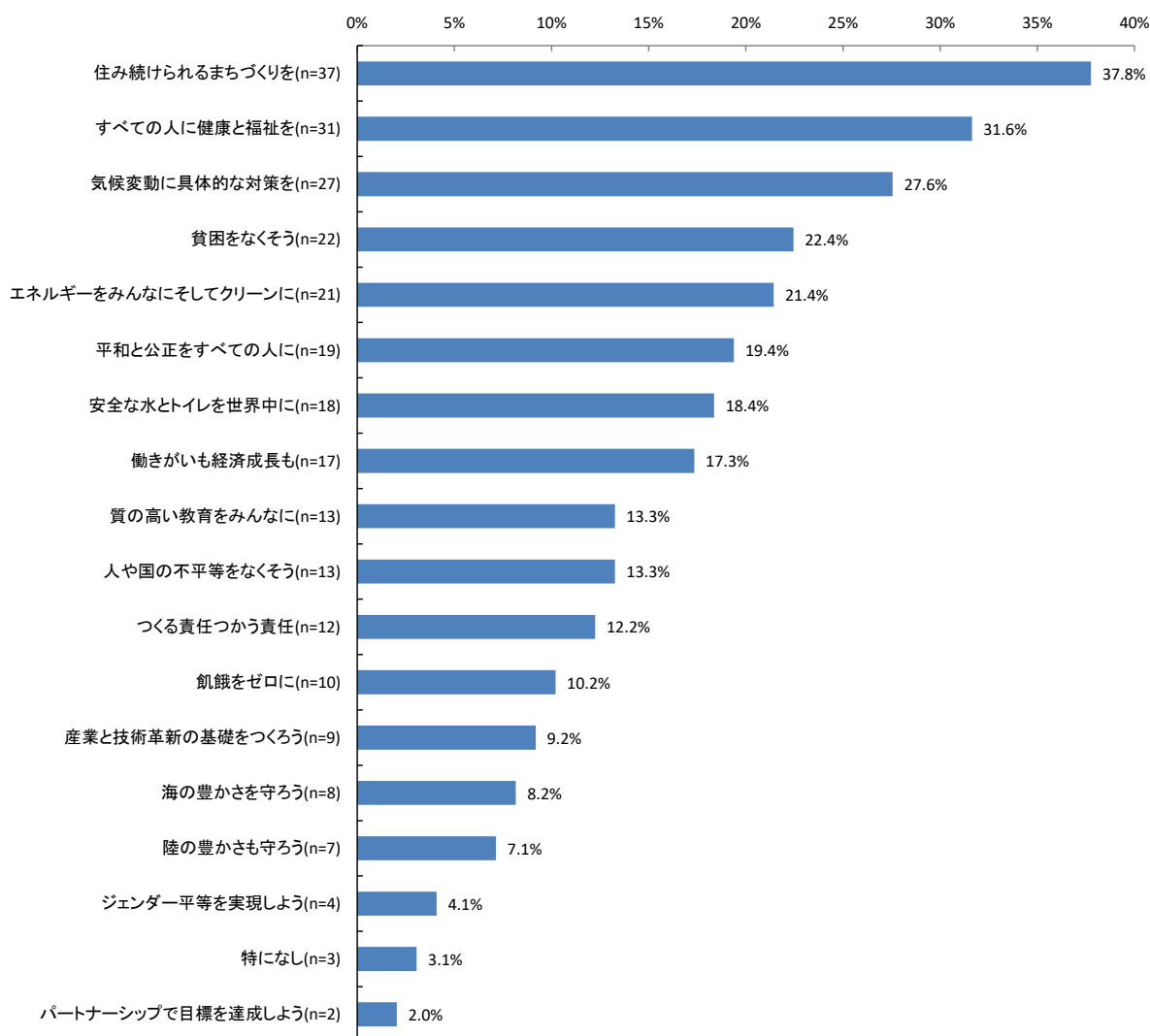


問10 SDGsの目標の中で、関心のあるものについて

SDGsには下記の17の目標が定められていますが、この中で関心のあるものはなんですか。特にあてはまると思う番号を3つまで選んで○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 2. 飢餓をゼロに | 11. 住み続けられるまちづくりを |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 12. つくる責任つかう責任 |
| 4. 質の高い教育をみんなに | 13. 気候変動に具体的な対策を |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 6. 安全な水とトイレを世界中に | 15. 陸の豊かさを守ろう |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 8. 働きがいも経済成長も | 17. パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9. 産業と技術革新の基礎をつくらう | 18. 特になし |

- ・「住み続けられるまちづくりを」が37.8%で最大でした。次いで、「すべての人に健康と福祉を」(31.6%)でした。
- ・一方、「産業と技術革新の基礎をつくらう」、「海の豊かさを守ろう」、「陸の豊かさを守ろう」、「ジェンダー平等を実現しよう」、「パートナーシップで目標を達成しよう」は1割以下でした。



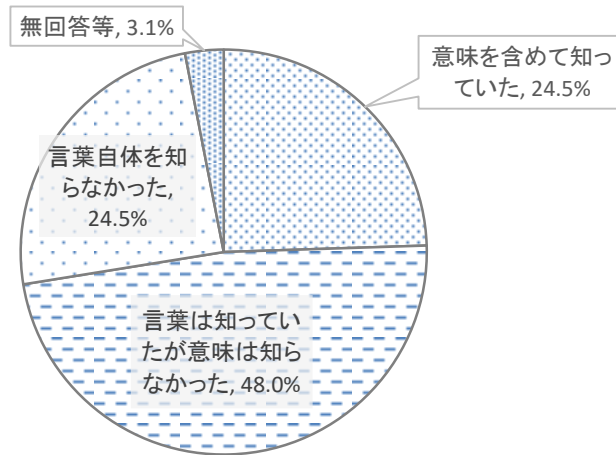
問11 気候変動の影響への「適応」について

気候変動の影響への「適応」についてお尋ねします。この「適応」という言葉を知っていましたか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 意味を含めて知っていた | 3. 言葉自体を知らなかった |
| 2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった | |

・「言葉は知っていたが意味は知らなかった」は48.0%で最大でした。次いで、「意味を含めて知っていた」、「言葉自体を知らなかった」は24.5%でした。

回答数 95

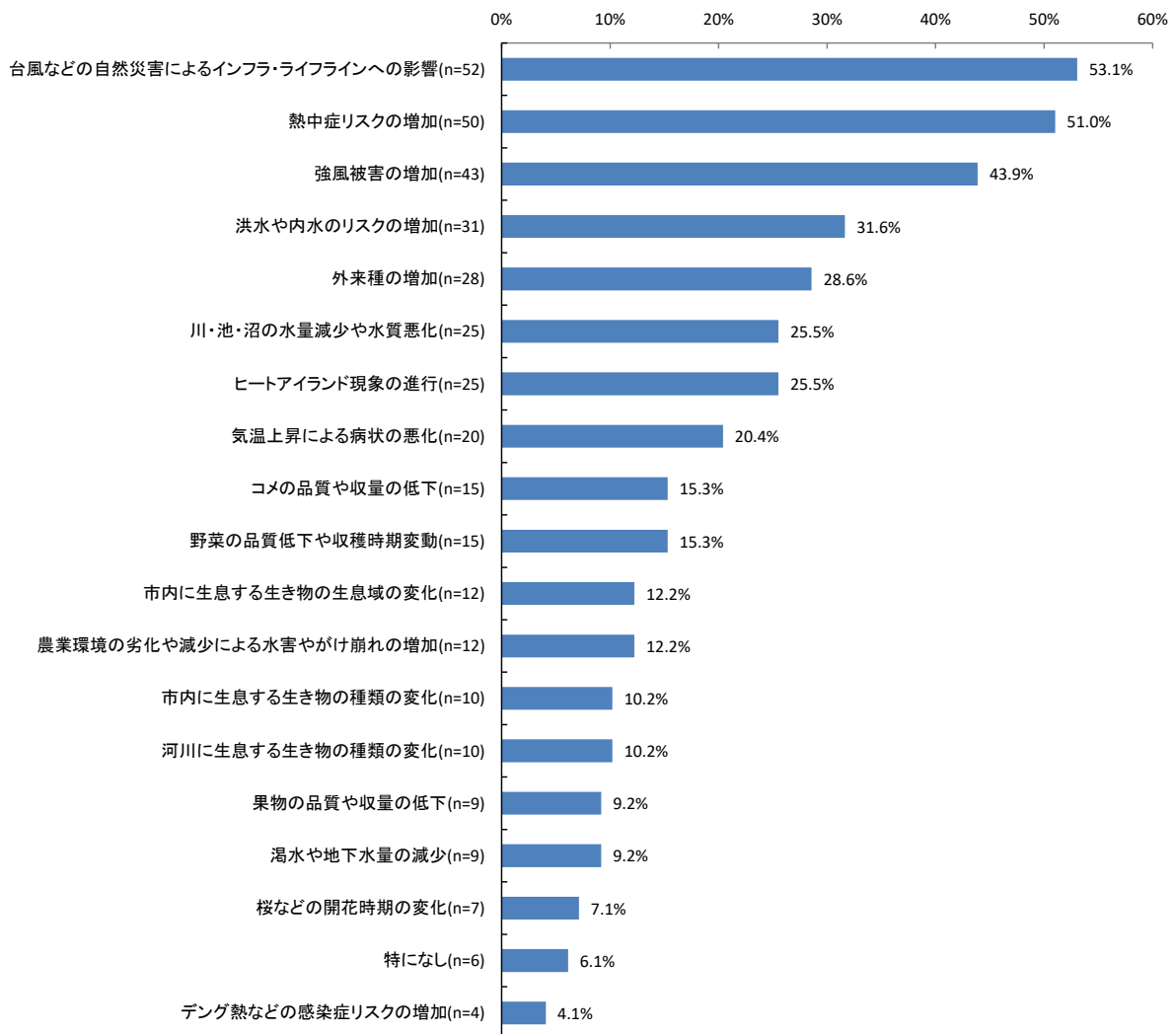


問12 印西市で温暖化の影響を受けていると感じるものについて

印西市で温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. コメの品質や収量の低下 | 11. 洪水や内水のリスクの増加 |
| 2. 果物の品質や収量の低下 | 12. 強風被害の増加 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期変動 | 13. 気温上昇による病状の悪化 |
| 4. 川・池・沼の水量減少や水質悪化 | 14. 熱中症リスクの増加 |
| 5. 湧水や地下水量の減少 | 15. デング熱などの感染症リスクの増加 |
| 6. 市内に生息する生き物の種類の変化 | 16. ヒートアイランド現象の進行 |
| 7. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 17. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 |
| 8. 桜などの開花時期の変化 | 18. 農業環境の劣化や減少による水害やがけ崩れの増加 |
| 9. 市内に生息する生き物の生息域の変化 | 19. 特になし |
| 10. 外来種の増加 | |

- ・「台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響」が 53.1%で最大でした。次いで、「熱中症リスクの増加」(51.0%)、「強風被害の増加」(43.9%)でした。
- ・一方、「果物の品質や収量の低下」「湧水や地下水量の減少」「桜などの開花時期の変化」「デング熱などの感染症リスクの増加」は 1 割以下でした。

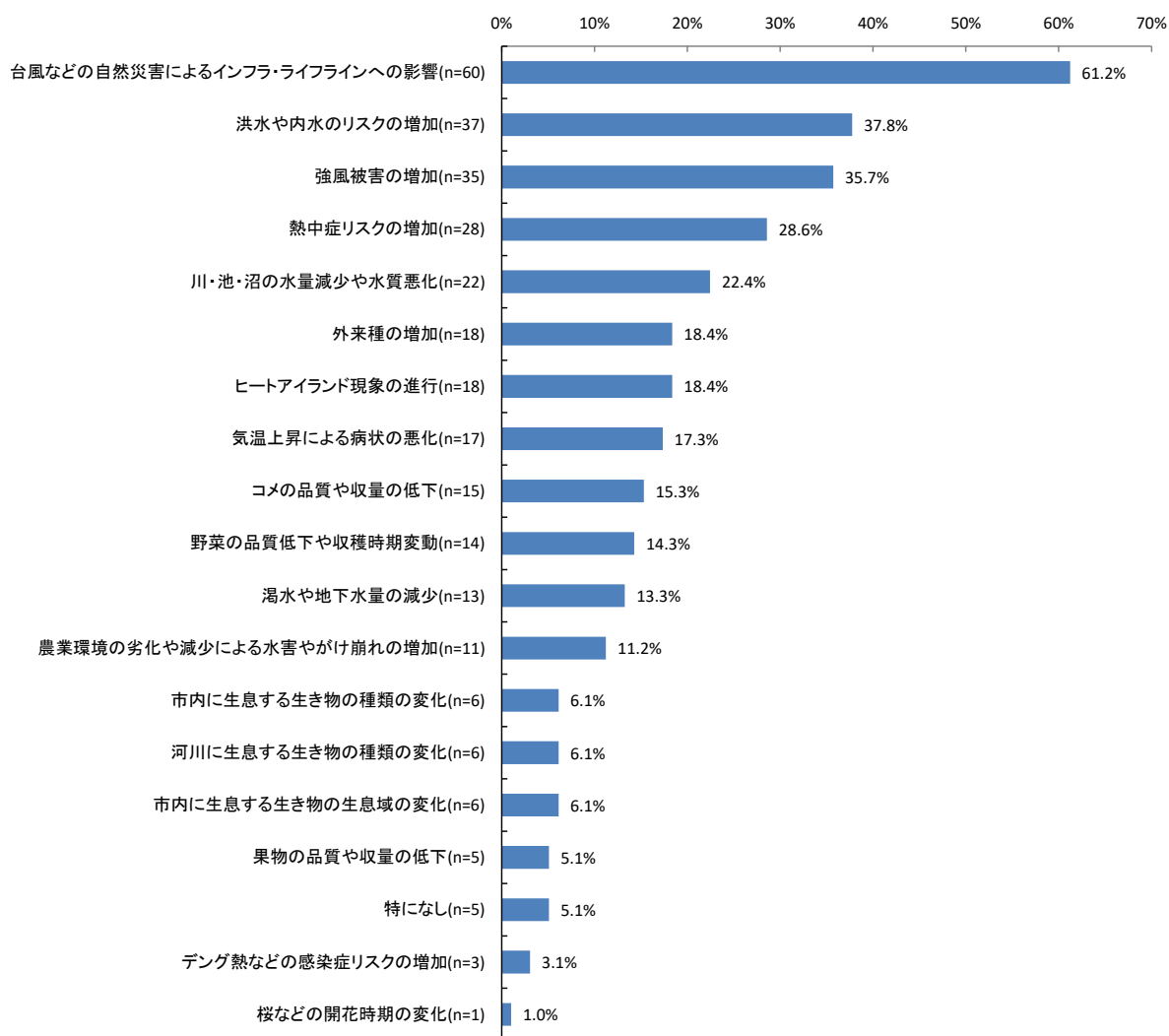


問13 印西市で重点的に対策していくべき事項について

印西市で重点的に対策していくべき事項についてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1. コメの品質や収量の低下 | 11. 洪水や内水のリスクの増加 |
| 2. 果物の品質や収量の低下 | 12. 強風被害の増加 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期変動 | 13. 気温上昇による病状の悪化 |
| 4. 川・池・沼の水量減少や水質悪化 | 14. 熱中症リスクの増加 |
| 5. 湧水や地下水量の減少 | 15. デング熱などの感染症リスクの増加 |
| 6. 市内に生息する生き物の種類の変化 | 16. ヒートアイランド現象の進行 |
| 7. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 17. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 |
| 8. 桜などの開花時期の変化 | 18. 農業環境の劣化や減少による水害やがけ崩れの増加 |
| 9. 市内に生息する生き物の生息域の変化 | 19. 特になし |
| 10. 外来種の増加 | |

- ・「台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響」が61.2%で最大でした。次いで、「洪水や内水のリスクの増加」(37.8%)、「強風被害の増加」(35.7%)の順でした。
- ・一方、「市内に生息する生き物の種類の変化」「河川に生息する生き物の種類の変化」「市内に生息する生き物の生息域の変化」「果物の品質や収量の低下」「デング熱などの感染症リスクの増加」「桜などの開花時期の変化」は1割以下でした。

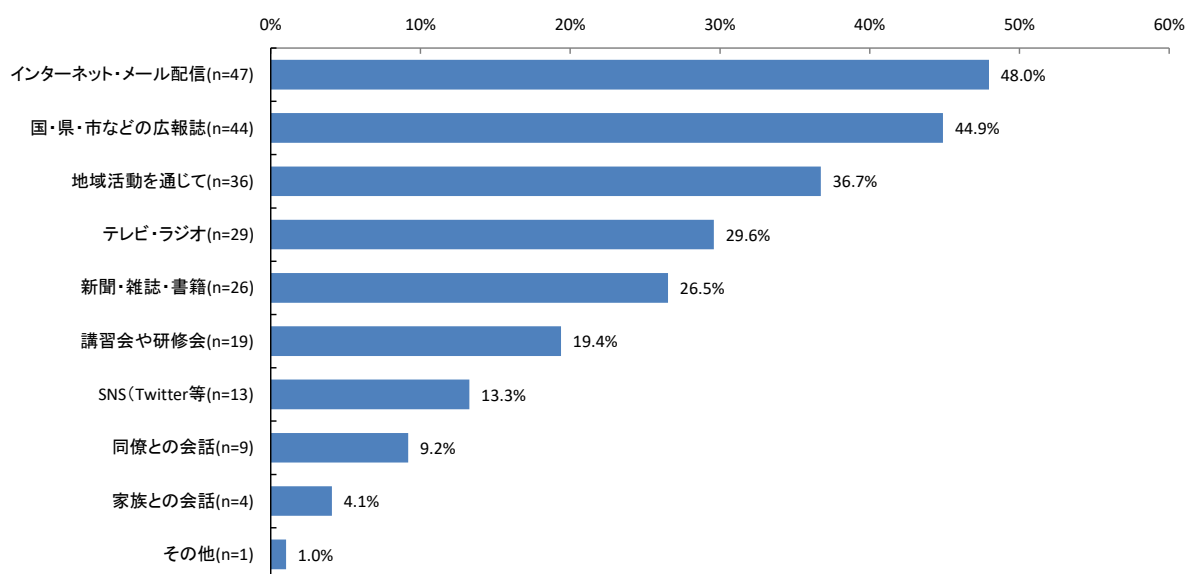


問14 情報提供を行うとわかりやすい媒体について

どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。最もあてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 講習会や研修会 | 6. 家族との会話 |
| 2. 地域活動を通じて | 7. テレビ・ラジオ |
| 3. 同僚との会話 | 8. インターネット・メール配信 |
| 4. 国・県・市などの広報誌 | 9. SNS(Twitter等) |
| 5. 新聞・雑誌・書籍 | 10. その他 |

- ・「インターネット・メール配信」が48.0%で最大でした。次いで、「国・県・市などの広報誌」が44.9%でした。
- ・一方、「同僚との会話」、「家族との会話」、「その他」は1割以下でした。
- ・その他の意見は1件あり、「市職員の現場行動、机の上で話しているだけでは、前に進まない。」という意見が寄せられました。



問15 自由意見

印西市の環境づくりについてご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。
記述式

回答数 18

※回答分は、意見を尊重し原文のまま掲載しています。

主な意見
・やがて必ずやってくる大地震、水害の為に、強い街づくりを急がなくてはなりません。特に水害対策が必要と思います。国営事業にもお願いしたいと思います。
・現在の自然豊かな景観、街づくりを継続して頂きたいと思います。
・近年、目まぐるしく商業化や住宅地や開発が進み、印西市の魅力でもあった豊かな森がどんどん小さくなってしまっていて残念です。
・森林環境税が導入され市民税に年 1000 円を基金に健全は建材整備をするということですので行政も責任を持つということになると思う。私は現在千葉県森林組合の理事(印旛郡の代表)を務めさせて頂いていますが美しい森林の環境づくりに市民の協力を必要としている。
・今夏は非常に暑い日が続いていますが、春から夏の到来まで昼に北総花の兵公園にて毎日昼にウォーキングしています。奥の方へいくと緑が素晴らしい反面、草が非常に多く、風通しが悪いと感じます。定期的に草切りはされていますが、今後も活用したく、引き続き緑化運動のほどよろしく願いいたします。
・幹線道路から一本入ると凸凹がひどい。騒音や振動防止の為に早急に舗装し直して欲しい。
・雑草の処理を強化していただきたい。
・分別しないでゴミを捨てるのが多い。
・川や池のヘドロのにおいがすごくキツイから対策をとってもらいたい。外来種の増加で水辺であそぶ事が出来ない。くじょ等を行ってほしい。
・雑草多いです。
・職員がもっと地域を知り、行動力をもって職務に精励してほしい。※どの業務でも同じように見えるが専門職(エキスパート)がいない。
・①下水道の整備を進めて、小川、用水路の浄化槽排水を無くす様にしてほしい。②水路の雑草の刈込み、保全を進めてほしい。
・印西市も広いので各地域ごとに意見が違うと思うので、エリアを分けて活動および実施してほしいと思います。
・ニュータウンからは少しはずれているので、未だに井戸水です。しかも、検査結果は飲み水としては不合格。飲料水は買っている状態です。早く上水道の整備をお願いしたい(船尾地区)
・放置林等の地主への啓蒙をしてほしい。通学路等。
・八千代に行ける公共交通機関を希望します。
・日本一住良い町。地盤がしっかりしている。464号沿いの景観(町の)は素晴らしいと思います。
・農道の整備をしてほしい。事故が有ってからでは遅い。

資 料 編

1. 市民アンケート調査票
2. 事業者アンケート調査票

環境に関する市民アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市の環境行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

市では、平成 25 年 3 月に策定した「印西市環境基本計画」の計画期間（平成 25 年度～令和 3 年度）の満了を控え、新たな計画の策定を行うこととなりました。

計画の策定にあたりましては、市民や事業者の皆様のご貴重なご意見やご要望をできるだけ計画に反映させていただきたいと考えております。つきましては、その第一歩となる市民アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、本調査の結果につきましては統計的な処理を行い、新たな計画の策定のみを使用いたしますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 2 年 8 月

印西市長 板倉 正直

【ご記入に当たってのお願い】 ※15分程度で回答できます。

1. あて名のご本人がご回答ください。（氏名・住所の記入は不要です。）
2. ボールペンや濃い鉛筆などではっきりとご記入ください。
3. 回答の〇の数は（1つ選んで）などのように指定していますのでそれに合わせて回答してください。

◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和2年9月11日（金）までにご投函ください。

◎返信用封筒に氏名・住所をご記入いただく必要はありません。

【お問い合わせ先】印西市 環境経済部 環境保全課 保全係

電話：0476-33-4491（月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時）

【パソコン・スマートフォンから、インターネットでも回答できます】

・パソコンからは、ブラウザ URL 欄に下記の URL を入力してアクセス

<https://rsch.jp/6ae0ee51fb7efab7/login.php>

・スマートフォンからは、右記の QR コードを読み取ってアクセス

回答の際は、以下の「ID」・「パスワード」を入力してください。

I D :

パスワード:

※「ID」・「パスワード」から個人が特定されることはありません。

※インターネットで回答をしていただきましたら、調査票の返送は必要ありません。

令和2年9月15日（火）までにご回答ください。



問1 あなたご自身のことについてお尋ねします。あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

項目	選択肢			
性別	1. 男性		2. 女性	
年齢	1. 18～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70歳以上	
居住地域	1. NT 中央	小倉台、大塚、牧の木戸、木刈、内野、武西学園台、原山、高花、戸神台、中央北、中央南		
	2. 印西牧の原	東の原、西の原、牧の原、原、滝野		
	3. 木下・大森	木下、竹袋、別所、宗甫、木下東、木下南、平岡、大森、鹿黒、亀成、発作、相嶋、浅間前、鹿黒南		
	4. 小林	小林、小林浅間、小林大門下、小林北		
	5. 永治	浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉		
	6. 船穂	武西、戸神、船尾、松崎、松崎台、結縁寺、多々羅田		
	7. 草深	草深、泉		
	8. 六合	瀬戸、山田、吉高、萩原、松虫、平賀、平賀学園台		
	9. 宗像	岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田、(つくりや台)		
	10. 印旛日本医大	美瀬、若萩、舞姫		
	11. 本郷	中根、荒野、角田、竜腹寺、滝、物木、笠神、(みどり台)		
	12. 埜原	行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、立埜原、甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林		
環境への 関心・満足	1. 関心あり・環境に満足		2. 関心あり・環境に不満	
	3. 関心なし・環境に満足		4. 関心なし・環境に不満	

問2 あなたの市内の環境に関する満足度、またその環境を保全、対策をすることがどの程度重要と思われるかについてお聞きします。

以下の環境に関する満足度について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

○環境への満足度

項目	選択肢				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
1. 樹林地や農地などの緑の豊かさ	1	2	3	4	5
2. ごみの適正処理	1	2	3	4	5
3. ごみの減量・分別・リサイクル	1	2	3	4	5
4. 放射性物質による環境への影響	1	2	3	4	5
5. 道路や工場からの騒音や振動	1	2	3	4	5
6. におい	1	2	3	4	5
7. 空気のきれいさ	1	2	3	4	5
8. 公園や道路など市街地の緑化	1	2	3	4	5
9. 街並みや自然の景観	1	2	3	4	5
10. 生き物の豊かさ、自然とのふれあい	1	2	3	4	5
11. ダイオキシン類などの有害物質の影響	1	2	3	4	5
12. 再生可能エネルギーの活用	1	2	3	4	5
13. 河川や水路などの水辺環境	1	2	3	4	5
14. 歴史・文化とのふれあい	1	2	3	4	5
15. 里山・谷津の保全	1	2	3	4	5
16. ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策	1	2	3	4	5
17. 河川や地下水の汚染対策	1	2	3	4	5
18. 省エネルギーの推進	1	2	3	4	5
19. 不法な残土処分の抑止	1	2	3	4	5
20. 環境について学ぶ機会	1	2	3	4	5
21. 市内の環境に関する情報の得やすさ	1	2	3	4	5
22. 市民・事業者の環境配慮行動の実践	1	2	3	4	5
23. 公共交通の利用促進	1	2	3	4	5
24. 環境保全活動への参加のしやすさ	1	2	3	4	5

以下の環境に関する重要度について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

○環境の保全、対策の重要度

項目	選択肢				
	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり重要 ではない	重要で はない
1. 樹林地や農地などの緑の豊かさ	1	2	3	4	5
2. ごみの適正処理	1	2	3	4	5
3. ごみの減量・分別・リサイクル	1	2	3	4	5
4. 放射性物質による環境への影響	1	2	3	4	5
5. 道路や工場からの騒音や振動	1	2	3	4	5
6. におい	1	2	3	4	5
7. 空気のきれいさ	1	2	3	4	5
8. 公園や道路など市街地の緑化	1	2	3	4	5
9. 街並みや自然の景観	1	2	3	4	5
10. 生き物の豊かさ、自然とのふれあい	1	2	3	4	5
11. ダイオキシン類などの有害物質の影響	1	2	3	4	5
12. 再生可能エネルギーの活用	1	2	3	4	5
13. 河川や水路などの水辺環境	1	2	3	4	5
14. 歴史・文化とのふれあい	1	2	3	4	5
15. 里山・谷津の保全	1	2	3	4	5
16. ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策	1	2	3	4	5
17. 河川や地下水の汚染対策	1	2	3	4	5
18. 省エネルギーの推進	1	2	3	4	5
19. 不法な残土処分の抑止	1	2	3	4	5
20. 環境について学ぶ機会	1	2	3	4	5
21. 市内の環境に関する情報の得やすさ	1	2	3	4	5
22. 市民・事業者の環境配慮行動の実践	1	2	3	4	5
23. 公共交通の利用促進	1	2	3	4	5
24. 環境保全活動への参加のしやすさ	1	2	3	4	5

問3 あなたが市内で「残したい環境」、「改善したい環境」と思うものを自由にご記入ください。

○残したい環境

場所	残したい理由

○改善したい環境

場所	改善したい理由

問4 市が取り組むべき環境施策のうち、今後とくに力を入れてほしいと考える施策はなんですか。特にあてはまると思う番号を5つ選んで○で囲んでください

- | | |
|--|------------------------|
| 1. ボイ捨てや不法投棄の抑止 | 2. 良好な街並みや計画の形成促進 |
| 3. 生き物に関する調査、外来種対策 | 4. 里山を保全するしくみづくり |
| 5. 有害物質汚染の対策・情報提供 | 6. 公園や道路の緑化 |
| 7. 樹林地・谷津の保全、農業の振興 | 8. ごみ処理施設の維持・更新 |
| 9. 放射性物質による環境汚染対策 | 10. 良好な水辺環境の保全・活用 |
| 11. 不法な残土埋立の抑止 | 12. 工場や家庭排水による水質汚染の対策 |
| 13. 公共交通の利用促進による排ガス抑制 | 14. 地域でのごみ減量・リサイクルの支援 |
| 15. 自動車や工場による大気汚染の対策 | 16. 省エネルギー対策 |
| 17. 自動車や工場による騒音・振動の対策 | 18. 悪臭防止対策 |
| 19. ごみの減量・分別・リサイクルの推進 | 20. 環境教育・環境学習の機会の充実 |
| 21. 太陽光等の再生可能エネルギーの活用 | 22. 文化財や歴史的環境の保全・活用 |
| 23. 環境に関する情報提供の充実 | 24. 市民・事業者による環境保全活動の支援 |
| 25. 希少な生物の保護のしくみづくり | 26. 環境保全活動イベントの情報提供 |
| 27. 自然環境を防災に役立てるしくみづくり（グリーンインフラ ^{※1} の施策） | |
| 28. その他（ | ） |

※1 グリーンインフラとは

生物の生息環境の提供、良好な景観形成、気温上昇抑制、地下への雨水浸透など、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるものです。

国ではグリーンインフラの取組により、「国土の適切な管理」、「安全・安心で持続可能な国土」、「人口減少・高齢化等に対応した持続可能な地域社会の形成」といった課題解決を目指しています。

問5 あなたは環境の行動について、普段以下のようなことを行っていますか。あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

項目	選択肢				
	実施している	時々実施している	あまり実施していない	全く実施していない	
緑・水辺・自然を大切に する取組	1. 里山の保全イベント等に参加する	1	2	3	4
	2. 地産地消を積極的に取り入れる	1	2	3	4
	3. 河川など水辺とのふれあいを大切に する	1	2	3	4
	4. 在来生物の保護、ペットを適正に飼育する	1	2	3	4
日常生活で環境に負荷を与えない取組	5. 家庭でごみの焼却はしない	1	2	3	4
	6. 低公害車を使用、エコドライブをする	1	2	3	4
	7. 水を汚さない工夫をする	1	2	3	4
	8. 近隣への騒音に注意する	1	2	3	4
	9. 環境に配慮した除草剤や農薬を使用する	1	2	3	4
	10. 有害な化学物質はなるべく使用しない	1	2	3	4
住みよいまちのための取組	11. 使い捨てプラスチック製品は極力使わない	1	2	3	4
	12. 生け垣や植栽など緑化に努める	1	2	3	4
	13. ボイ捨てをせず、ペットのフンは持ち帰る	1	2	3	4
	14. 地域の清掃活動に参加する	1	2	3	4
低炭素社会実現のための取組	15. 歴史や文化財に触れる	1	2	3	4
	16. 省エネに努める	1	2	3	4
	17. 再生可能エネルギーを活用する	1	2	3	4
	18. 車を控えバスや電車などを利用する	1	2	3	4
	19. 冷暖房は最低限の使用に努める	1	2	3	4
	20. 緑のカーテン等で節電対策をする	1	2	3	4
	21. 節水に努める	1	2	3	4
	22. マイバッグを持参する	1	2	3	4
	23. ごみの分け方、出し方を守る	1	2	3	4
	24. エコマーク商品等を購入する	1	2	3	4
	25. 過剰包装を断る	1	2	3	4
みんなで環境を育てるための取組	26. 食べ残しを減らす	1	2	3	4
	27. リサイクルに努める	1	2	3	4
	28. 環境イベントや施設見学会に参加する	1	2	3	4
	29. 学習・教育に参加・協力する	1	2	3	4
	30. 家庭や子供たちと話し合う	1	2	3	4

問 11 平成 27 (2015) 年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (SDGs) ※1」をご存知ですか。
最もあてはまる番号を 1 つ選んで○で囲んでください。

1. 内容を把握している
2. 名称だけ聞いたことがある
3. 全く聞いたことがない

※1 : 「持続可能な開発目標 (SDGs)」とは

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、平成 27 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された平成 28 年から令和 12 年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための 17 のゴールと 169 のターゲットから構成されており、それらは相互に関係しているため、1 つの行動によって複数の課題の解決を目指すという特徴を持っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



問 12 SDGsには下記の17の目標が定められていますが、あなたがこの中で関心のあるものはなんですか。特にあてはまると思う番号を3つまで選んで○で囲んでください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 2. 飢餓をゼロに |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 4. 質の高い教育をみんなに |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 6. 安全な水とトイレを世界中に |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8. 働きがいも経済成長も |
| 9. 産業と技術革新の基礎をつくろう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 11. 住み続けられるまちづくりを | 12. つくる責任つかう責任 |
| 13. 気候変動に具体的な対策を | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 15. 陸の豊かさも守ろう | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 17. パートナースhipで目標を達成しよう | 18. 特になし |

問 13 気候変動の影響への「適応^{※2}」についてお尋ねします。あなたはこの「適応」という言葉を知っていましたか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

1. 意味を含めて知っていた
2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった
3. 言葉自体を知らなかった

※2：「適応」とは

温室効果ガスの増加によって、気候変動（地球温暖化や降雨パターンの変化など）が進んでおり、その結果として、猛暑による熱中症や集中豪雨による浸水被害の増加など、様々な影響が出てきています。このようなすでに起こりつつある気候変動による影響に備えること（たとえば、「浸水に備えてハザードマップなどで避難経路、避難先を確認しておく」など）を「適応」と言います。

緩和とは？ 適応とは？

人間社会や自然の生態系が危機に陥らないためには、実効性の高い温室効果ガス排出削減の取組を行っていく必要があります。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力が必要です。	緩和を実施しても気候変動の影響が避けられない場合、その影響に対処し、被害を回避・軽減していくことが適応です。
--	--

問 14 印西市で温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. コメの品質や収量の低下 | 2. 果物の品質や収量の低下 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期変動 | 4. 川・池・沼の水量減少や水質悪化 |
| 5. 湧水や地下水量の減少 | 6. 市内に生息する生き物の種類の変化 |
| 7. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 8. 桜などの開花時期の変化 |
| 9. 市内に生息する生き物の生息域の変化 | 10. 外来種の増加 |
| 11. 洪水や内水のリスクの増加 | 12. 強風被害の増加 |
| 13. 気温上昇による病状の悪化 | 14. 熱中症リスクの増加 |
| 15. デング熱などの感染症リスクの増加 | 16. ヒートアイランド現象の進行 |
| 17. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 | |
| 18. 農業環境の劣化や減少による水害やがけ崩れの増加 | 19. 特になし |

問 15 印西市で重点的に対策していくべき事項についてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. コメの品質や収量の低下 | 2. 果物の品質や収量の低下 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期変動 | 4. 川・池・沼の水量減少や水質悪化 |
| 5. 湧水や地下水量の減少 | 6. 市内に生息する生き物の種類の変化 |
| 7. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 8. 桜などの開花時期の変化 |
| 9. 市内に生息する生き物の生息域の変化 | 10. 外来種の増加 |
| 11. 洪水や内水のリスクの増加 | 12. 強風被害の増加 |
| 13. 気温上昇による病状の悪化 | 14. 熱中症リスクの増加 |
| 15. デング熱などの感染症リスクの増加 | 16. ヒートアイランド現象の進行 |
| 17. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 | |
| 18. 農業環境の劣化や減少による水害やがけ崩れの増加 | 19. 特になし |

問 16 どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。最も当てはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

- | | | |
|--------------------|------------------|-----------|
| 1. 学校の先生のお話 | 2. 地域活動を通じて | 3. 友人との会話 |
| 4. 国・県・市などの広報誌 | 5. 新聞・雑誌・書籍 | 6. 家族との会話 |
| 7. テレビ・ラジオ | 8. インターネット・メール配信 | |
| 9. SNS (Twitter 等) | 10. その他 () | |

環境に関する事業者アンケート調査 ご協力のお願い

事業者の皆様には、日頃より市の環境行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

市では、平成 25 年 3 月に策定した「印西市環境基本計画」の計画期間（平成 25 年度～令和 3 年度）の満了を控え、新たな計画の策定を行うこととなりました。

計画の策定にあたりましては、市民や事業者の皆様の貴重なご意見やご要望をできるだけ計画に反映させていただきたいと考えております。つきましては、その第一歩となる事業者アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、本調査は無記名で、調査結果につきましては統計的な処理を行い、皆様の意見を新たな環境基本計画への反映のみに使用いたしますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

大変お手数ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 2 年 8 月

印西市長 板倉 正直

【ご記入に当たってのお願い】

1. 本アンケート調査は 15 分程度で回答できます。
2. 宛名の事業所の方がご回答ください。
注 1：支社や出先事務所等に本調査票が届いた場合、本社や会社全体ではなく、貴事業所のこととしてご回答願います。
注 2：無記名ですので、事業所名・住所の記入の必要はありません。
3. 次の要領でご回答ください。
 - アンケート調査票に直接ご記入ください。
 - ボールペンや濃い鉛筆などではっきりとご記入ください。
 - 選択回答の場合は、あらかじめ設けてある選択肢の中から選んで番号に○印をつけてください。
 - 回答の○の数は（1つ選んで）（3つまで選んで）などのように指定していますのでそれに合わせてください。
 - 質問は、1 ページから順に最後までお答えください。

◎ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和 2 年 9 月 11 日（金）までにご投函ください。

◎返信用封筒に事業者名・住所をご記入いただく必要はありません。

◎ご返送いただいた調査票は、調査終了後に市が責任をもって廃棄いたします。

【お問い合わせ先】 印西市 環境経済部 環境保全課 保全係

電話：0476-33-4491 （月曜日～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時）

問1 貴事業所についてお尋ねします。あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

項目	選択肢			
業種	1. 建設業	2. 製造業	3. 運輸・通信業	4. 卸売・小売業
	5. 飲食・宿泊業	6. 金融・保険業	7. 不動産業	8. サービス業
	9. 農業・林業	10. 医療・福祉	11. その他()	
事業所形態(主なものを1つ)	1. 工場	2. 事業所(オフィス)	3. 店舗	
	4. 農地	5. その他()		
従業員数 (パートタイムなどを含む)	1. 5人未満	2. 5~9人	3. 10~19人	
	4. 20~49人	5. 50~99人	6. 100~499人	
	7. 500人以上			

問2 貴事業所における市内の環境に関する満足度、またその環境を保全、対策をすることがどの程度重要と思われるかについてお聞きします。

以下の環境に関する満足度について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

○環境への満足度

項目	選択肢				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
1. 樹林地や農地などの緑の豊かさ	1	2	3	4	5
2. ごみの適正処理	1	2	3	4	5
3. ごみの減量・分別・リサイクル	1	2	3	4	5
4. 放射性物質による環境への影響	1	2	3	4	5
5. 道路や工場からの騒音や振動	1	2	3	4	5
6. におい	1	2	3	4	5
7. 空気のきれいさ	1	2	3	4	5
8. 公園や道路など市街地の緑化	1	2	3	4	5
9. 街並みや自然の景観	1	2	3	4	5
10. 生き物の豊かさ、自然とのふれあい	1	2	3	4	5
11. ダイオキシン類などの有害物質の影響	1	2	3	4	5
12. 再生可能エネルギーの活用	1	2	3	4	5
13. 河川や水路などの水辺環境	1	2	3	4	5
14. 歴史・文化とのふれあい	1	2	3	4	5
15. 里山・谷津の保全	1	2	3	4	5
16. ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策	1	2	3	4	5
17. 河川や地下水の汚染対策	1	2	3	4	5
18. 省エネルギーの推進	1	2	3	4	5
19. 不法な残土処分の抑止	1	2	3	4	5
20. 環境について学ぶ機会	1	2	3	4	5
21. 市内の環境に関する情報の得やすさ	1	2	3	4	5
22. 市民・事業者の環境配慮行動の実践	1	2	3	4	5
23. 公共交通の利用促進	1	2	3	4	5
24. 環境保全活動への参加のしやすさ	1	2	3	4	5

以下の環境に関する重要度について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

○環境の保全、対策の重要度

項目	選択肢				
	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
1. 樹林地や農地などの緑の豊かさ	1	2	3	4	5
2. ごみの適正処理	1	2	3	4	5
3. ごみの減量・分別・リサイクル	1	2	3	4	5
4. 放射性物質による環境への影響	1	2	3	4	5
5. 道路や工場からの騒音や振動	1	2	3	4	5
6. におい	1	2	3	4	5
7. 空気のきれいさ	1	2	3	4	5
8. 公園や道路など市街地の緑化	1	2	3	4	5
9. 街並みや自然の景観	1	2	3	4	5
10. 生き物の豊かさ、自然とのふれあい	1	2	3	4	5
11. ダイオキシン類などの有害物質の影響	1	2	3	4	5
12. 再生可能エネルギーの活用	1	2	3	4	5
13. 河川や水路などの水辺環境	1	2	3	4	5
14. 歴史・文化とのふれあい	1	2	3	4	5
15. 里山・谷津の保全	1	2	3	4	5
16. ごみのポイ捨てや不法投棄の防止対策	1	2	3	4	5
17. 河川や地下水の汚染対策	1	2	3	4	5
18. 省エネルギーの推進	1	2	3	4	5
19. 不法な残土処分の抑止	1	2	3	4	5
20. 環境について学ぶ機会	1	2	3	4	5
21. 市内の環境に関する情報の得やすさ	1	2	3	4	5
22. 市民・事業者の環境配慮行動の実践	1	2	3	4	5
23. 公共交通の利用促進	1	2	3	4	5
24. 環境保全活動への参加のしやすさ	1	2	3	4	5

問3 市が取り組むべき環境施策のうち、今後とくに力を入れてほしいと考える施策はなんですか。
特にあてはまると思う番号を5つ選んで○で囲んでください

- | | |
|--|------------------------|
| 1. ポイ捨てや不法投棄の抑止 | 2. 良好な街並みや計画の形成促進 |
| 3. 生き物に関する調査、外来種対策 | 4. 里山を保全するしくみづくり |
| 5. 有害物質汚染の対策・情報提供 | 6. 公園や道路の緑化 |
| 7. 樹林地・谷津の保全、農業の振興 | 8. ごみ処理施設の維持・更新 |
| 9. 放射性物質による環境汚染対策 | 10. 良好な水辺環境の保全・活用 |
| 11. 不法な残土埋立の抑止 | 12. 工場や家庭排水による水質汚染の対策 |
| 13. 公共交通の利用促進による排ガス抑制 | 14. 地域でのごみ減量・リサイクルの支援 |
| 15. 自動車や工場による大気汚染の対策 | 16. 省エネルギー対策 |
| 17. 自動車や工場による騒音・振動の対策 | 18. 悪臭防止対策 |
| 19. ごみの減量・分別・リサイクルの推進 | 20. 環境教育・環境学習の機会の充実 |
| 21. 太陽光等の再生可能エネルギーの活用 | 22. 文化財や歴史的環境の保全・活用 |
| 23. 環境に関する情報提供の充実 | 24. 市民・事業者による環境保全活動の支援 |
| 25. 希少な生物の保護のしくみづくり | 26. 環境保全活動イベントの情報提供 |
| 27. 自然環境を防災に役立てるしくみづくり（グリーンインフラ ^{※1} の施策） | |
| 28. その他（ | ） |

※1 グリーンインフラとは

生物の生息環境の提供、良好な景観形成、気温上昇抑制、地下への雨水浸透など、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるものです。

国ではグリーンインフラの取組により、「国土の適切な管理」、「安全・安心で持続可能な国土」、「人口減少・高齢化等に対応した持続可能な地域社会の形成」といった課題解決を目指しています。

問4 貴事業所が環境保全対策を進めていくために、行政に特に期待している施策は何ですか。特にあてはまると思う番号を3つまで選んで○で囲んでください。

1. 住民に対して環境保全意識の啓発活動を行う
2. 環境講座などを開講し、事業所向けの学習の場を設ける
3. 事業者のごみの減量化・リサイクルについて支援する
4. 事業所の緑化について支援する
5. 事業者による環境自主行動計画などの計画策定について支援を行う
6. 事業者によるISO14001、エコアクション21などの認証取得について支援を行う
7. 環境に配慮した行動をとっている事業者に対し、独自の認証制度・表彰制度を設ける
8. 温室効果ガスを多く排出する事業者に対し、排出量の算定や削減目標の設定、対策検討などを義務づける制度の取り組みを促進する
9. 地球環境保全に関する調査・研究を進め、広く情報提供を行う
10. 太陽光発電など再生可能エネルギーを利用した設備の導入に関する支援制度を充実する
11. 省エネルギー設備の導入に関する支援制度を充実する
12. 行政と事業者の協働で新しい環境技術の研究や実用化の促進を行う
13. グリーン購入（環境物品等の調達）の促進を行う
14. 市民と連携して保全活動を実施する機会を提供する
15. その他（）

問5 貴事業所では以下のような環境行動を実践していますか。あてはまる番号をそれぞれ1つ選んで○で囲んでください。

項目	選択肢				
	実施している	時々実施している	あまり実施していない	全く実施していない	
緑・水辺・自然を大切に する取組み	1. 所有する樹林地を良好に保つ	1	2	3	4
	2. 有機栽培・地産地消・担い手を育成する	1	2	3	4
	3. 生態系に配慮して事業をする	1	2	3	4
	4. 化学肥料や農薬を減らす	1	2	3	4
日常生活で 環境に負荷 を与えない 取組み処理	5. 低公害車を導入、エコドライブをする	1	2	3	4
	6. ばい煙発生施設を適正に維持管理する	1	2	3	4
	7. 排水を汚さず、適正に処理する	1	2	3	4
	8. 調理くずや油は流さず、洗剤は適量とする	1	2	3	4
	9. 水の有効利用及び節水に努める	1	2	3	4
	10. 騒音や振動の発生防止に努める	1	2	3	4
	11. 悪臭を防止する	1	2	3	4
住みよいま ちのための 取組み	12. 農薬や有害化学物質は適正に使用・管理する	1	2	3	4
	13. 事業所周辺を定期的に清掃する	1	2	3	4
	14. 屋外広告物は景観に配慮する	1	2	3	4
	15. 不法投棄を防止する	1	2	3	4
	16. 工事は周辺との調和を図る	1	2	3	4
低炭素社会 実現のため の取組み	17. 地域の祭り等に積極的に参加する	1	2	3	4
	18. 再生可能エネルギー設備を導入する	1	2	3	4
	19. 節電・節水に努める	1	2	3	4
	20. 緑のカーテンや屋上緑化を実施する	1	2	3	4
	21. リサイクル製品や分別廃棄が簡単な製品を選ぶ	1	2	3	4
	22. 農業等の廃棄物の減量に努める	1	2	3	4
	23. 再生資材を使用し、建築副産物は再資源化する	1	2	3	4
みんなで環 境を育てる ための取組 み	24. 製品の梱包・包装を簡素化している	1	2	3	4
	25. 環境保全の担当者がある	1	2	3	4
	26. 環境関連の研修や勉強会を開く	1	2	3	4
	27. 環境保全の取組み公開や、地域環境学習を支援する	1	2	3	4
	28. 地域ぐるみで環境保全活動を実施する	1	2	3	4
29. 環境保全活動を支援する	1	2	3	4	

問6 貴事業所が環境保全対策を進めていくためには、どのようなことが障害になるとお考えですか。
次の中から特に障害となるものを2つまで選んで番号を○で囲んでください。

1. 環境問題の現状や具体的対応策に関する情報がない
2. 対策を行なうための資金が不足している
3. 他の企業などと協力して対策を推進するための組織がない
4. 対策の方法について、相談する機関や窓口がない
5. 消費者の協力が得られない
6. 特に障害はない
7. その他 ()

問7 市民・事業者の連携による自主的な環境づくり活動へ参加してみたいとお考えですか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

1. ぜひ参加してみたい
2. 環境づくり活動と経営内容が合致すれば参加してみたい
3. 資金負担が生じるのでなければ参加してみたい
4. 参加したいとは思わない

問8 問7で「参加したいとは思わない」と回答した事業者にお伺いします。それはどのような理由によるものですか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

1. 経営内容と無関係であるから
2. 協力できる人員や資金が確保できないから
3. 協力しても収益にはつながらないから
4. 事業者よりも行政や市民が解決すべき問題であると思うから
5. その他 ()

問9 平成 27（2015）年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）※1」をご存知ですか。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

1. 内容を把握している
2. 名称だけ聞いたことがある
3. 全く聞いたことがない

※1：「持続可能な開発目標（SDGs）」とは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、平成 27 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された平成 28 年から令和 12 年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための 17 のゴールと 169 のターゲットから構成されており、それらは相互に関係しているため、1つの行動によって複数の課題の解決を目指すという特徴を持っています。



問10 SDGsには下記の17の目標が定められていますが、この中で関心のあるものはなんですか。特にあてはまると思う番号を3つまで選んで○で囲んでください。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 貧困をなくそう | 2. 飢餓をゼロに |
| 3. すべての人に健康と福祉を | 4. 質の高い教育をみんなに |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう | 6. 安全な水とトイレを世界中に |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8. 働きがいも経済成長も |
| 9. 産業と技術革新の基礎をつくろう | 10. 人や国の不平等をなくそう |
| 11. 住み続けられるまちづくりを | 12. つくる責任つかう責任 |
| 13. 気候変動に具体的な対策を | 14. 海の豊かさを守ろう |
| 15. 陸の豊かさも守ろう | 16. 平和と公正をすべての人に |
| 17. パートナーシップで目標を達成しよう | 18. 特になし |

問 11 気候変動の影響への「適応※2」についてお尋ねします。この「適応」という言葉を知っていましたか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

1. 意味を含めて知っていた
2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった
3. 言葉自体を知らなかった

※2：「適応」とは

温室効果ガスの増加によって、気候変動（地球温暖化や降雨パターンの変化など）が進んでおり、その結果として、猛暑による熱中症や集中豪雨による浸水被害の増加など、様々な影響が出てきています。このようなすでに起こりつつある気候変動による影響に備えること（たとえば、「浸水に備えてハザードマップなどで避難経路、避難先を確認しておく」など）を「適応」と言います。



問 12 伊西市で温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. コメの品質や収量の低下 | 2. 果物の品質や収量の低下 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期変動 | 4. 川・池・沼の水量減少や水質悪化 |
| 5. 湧水や地下水量の減少 | 6. 市内に生息する生き物の種類の変化 |
| 7. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 8. 桜などの開花時期の変化 |
| 9. 市内に生息する生き物の生息域の変化 | 10. 外来種の増加 |
| 11. 洪水や内水のリスクの増加 | 12. 強風被害の増加 |
| 13. 気温上昇による病状の悪化 | 14. 熱中症リスクの増加 |
| 15. デング熱などの感染症リスクの増加 | 16. ヒートアイランド現象の進行 |
| 17. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 | |
| 18. 農業環境の劣化や減少による水害やげ崩れの増加 | 19. 特になし |

問 13 伊西市で重点的に対策していくべき事項についてお尋ねします。あてはまる番号をいくつで

も選んで○で囲んでください。

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. コメの品質や収量の低下 | 2. 果物の品質や収量の低下 |
| 3. 野菜の品質低下や収穫時期変動 | 4. 川・池・沼の水量減少や水質悪化 |
| 5. 湧水や地下水量の減少 | 6. 市内に生息する生き物の種類の変化 |
| 7. 河川に生息する生き物の種類の変化 | 8. 桜などの開花時期の変化 |
| 9. 市内に生息する生き物の生息域の変化 | 10. 外来種の増加 |
| 11. 洪水や内水のリスクの増加 | 12. 強風被害の増加 |
| 13. 気温上昇による病状の悪化 | 14. 熱中症リスクの増加 |
| 15. デング熱などの感染症リスクの増加 | 16. ヒートアイランド現象の進行 |
| 17. 台風などの自然災害によるインフラ・ライフラインへの影響 | |
| 18. 農業環境の劣化や減少による水害やがけ崩れの増加 | 19. 特になし |

問14 どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。最もあてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

- | | | |
|--------------------|------------------|-----------|
| 1. 講習会や研修会 | 2. 地域活動を通じて | 3. 同僚との会話 |
| 4. 国・県・市などの広報誌 | 5. 新聞・雑誌・書籍 | 6. 家族との会話 |
| 7. テレビ・ラジオ | 8. インターネット・メール配信 | |
| 9. SNS (Twitter 等) | 10. その他 () | |

問15 印西市の環境づくりについてご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

※ 記入漏れがないかももう一度お確かめのうえ、回答用紙を返信用封筒に入れ、**9月11日(金)** までにご投函くださいますようお願いいたします。